別記様式第32号

県営第二上益城中央地区
(塔の本工区・堤の本工区・樺迫工区・有水工区)
変更土地改良事業計画書

［ 区画整理 ］

上益城郡御船町
熊本県県央広域本部

目　　次

第１章　目　　的 …… 3
第２章　地域及び地積 …… 3
　第1節　地域の所在 …… 3
　第2節　地　積 …… 3
第３章　現　　況 …… 4
　第1節　土地状況 …… 4
　　1. 地形及び侵食の程度 …… 4
　　2. 土地所有の状況 …… 4
　第2節　水利状況 …… 5
　　1. 用水状況 …… 5
　　2. 排水状況 …… 7
　第3節　道路状況 …… 9
　　1. 道路概況 …… 9
　　2. 改修を要する道路一覧表 …… 9
　第4節　地域農業の状況 …… 10
　第5節　地域環境の状況 …… 11
第４章　一般計画 …… 12
　第1節　事業計画の要旨 …… 12
　第2節　営農計画 …… 13
　第3節　用水計画 …… 14
　　1. 計画かんがい期間及び方式 …… 14
　　2. 計画用水量 …… 14
　　3. 水源計画 …… 15
　第4節　排水計画 …… 16
　　1. 計画排水期間及び方式 …… 16
　　2. 計画排水量 …… 16
　第5節　道路計画 …… 17
　第6節　農用地整備計画 …… 18
　　1. 区画整理 …… 18
　　2. 暗渠排水 …… 18
　　3. 客　土 …… 18
　第7節　老朽ため池改修計画 …… 19
　　1. 洪水吐改修計画 …… 19
　　2. 堤体補強計画 …… 19
　　3. 取水施設改修計画 …… 19
第５章　主要工事計画 …… 20
　第1節　用水施設 …… 20
　　1. 貯 水 池 …… 20
　　2. 頭 首 工 …… 20
　　3. 揚 水 機 …… 21
　　4. 用 水 路 …… 22
　　5. 計画用水系統 …… 22
　第2節　排水施設 …… 23
　　1. 排水水門 …… 23
　　2. 排 水 機 …… 23
　　3. 排 水 路 …… 24
　　4. 計画排水系統 …… 24
　第3節　道路及び索道 …… 25
　　1. 道　路 …… 25
　　2. 路線配置図 …… 25
　第4節　農用地整備施設 …… 26
　　1. 区画整理 …… 26
　　2. 暗渠排水 …… 27
　　3. 客　土 …… 28
　　4. 除　礫 …… 28
　第5節　老朽ため池改修施設 …… 29
　　1. 貯 水 池 …… 29
　　2. 堤体補強施設 …… 29
　第6節　農用地の造成 …… 29
　　1. 地目変換 …… 29
第６章　附帯工事計画 …… 30
第７章　工事の着手及び完了の予定時期 …… 30

目　　次

第８章　環境との調和への配慮 …… 31
第９章　換地計画の概要 …… 32
　第1節　換地計画を作成する上での基本的な考え方 …… 32
　第2節　換地区の設定 …… 32
　　1. 換地区の名称、所在、面積 …… 32
　　2. 換地区を設定する理由 …… 32
　第3節　換地計画樹立の基本方針 …… 33
　　1. 従前の土地の地積の基準 …… 33
　　2. 用途別予定地積 …… 34
　　3. 農用地集団化の方針 …… 35
　　4. 非農用地の換地方法 …… 35
　第4節　土地の評価及び清算の方法 …… 36
　　1. 評価の方法 …… 36
　　2. 清算の方法 …… 36
　第5節　換地計画樹立の年度計画 …… 36
　第6節　換地処分の時期に関する特則 …… 36
第10章　事業費の総額及び内訳 …… 37
第11章　効　　用 …… 38
第12章　関連する事業 …… 38
第13章　施設の管理 …… 39
第14章　現況計画図面 …… 40
　1. 現況平面図 …… 40
　2. 計画平面図 …… 40
　3. 主要構造図 …… 40

第1章　目　　的

（地区の概要）

本町は熊本県の中央寄りに位置し、西部は平坦な水田地帯における水稲や麦などの土地利用型農業が、東部は中山間地域における水稲と露地野菜が中心となった農業が営まれている。

本地区は、塔の本工区、堤の本工区、樺迫工区、有水工区の4工区からなり、いずれも未整備であるため農地の形状は不整形で狭く、水路は用排兼用であるため湿田化しており、農道も狭いことから、効率的な営農や担い手への農地集積が困難な状況である。

このため、農地の基盤整備を実施し、土地の集積を一体的に行うことで、農用地利用の向上を図り、農業生産を担う効率的かつ安定的な経営体を確立する。さらに、本地区の優良農地を将来にわたり適切に維持保全し、地域の農業振興だけでなく集落を含めた本地区の持続的な発展を図る。

（地区の現況・問題点）

地区内の農地は概ね10a程度の区画が大半を占めており、道路の多くは幅員2.5m以下で狭幅かつ未舗装路線も多く、農産物や生産資材の搬入搬出に支障を来している。また、地区内の水路は用排兼用水路で土水路の路線も多く、法面浸食・崩壊等により水路の維持管理に多大な支障を来しているとともに、かんがい時期の地下水上昇による影響で湿田化している地区もある。

こうした生産基盤の整備の遅れから、担い手への農地集積も進まず、高齢化・後継者不足による営農活動の衰退や耕作放棄地の増加が課題となっている。

（問題点を改善するための事業内容・目的）

本地区の農業振興を図るためには、基盤整備（区画整理）を実施し、農業機械の大型化による生産コストの低減や作物生産性の向上、維持管理の軽減を図る必要がある。

また、農業従事者の高齢化等から加速的な衰退が懸念されていることから、区画整理を契機に、農地流動化及び集落営農等の担い手確保の推進、耕作放棄地の抑制等、地域の農業振興を図ることを目的とする。

第2章　地域及び地積

第1節　地域の所在

熊本県上益城郡御船町

第2節　地　　積

令和6年(2024年) 11月現在

(令和1年(2019年)12月現在)　(第1表)

地目 / 市町村名	現況(ha) 田	畑	道・水路	その他	計	計画(ha) 田	畑	道・水路	その他	計
上益城郡御船町	26.3 (25.4)	2.1 (2.2)	1.3 (1.3)		29.7 (28.9)	18.2 (20.3)	1.1 (1.7)	10.2 (6.9)	0.2 ( )	29.7 (28.9)
計	26.3 (25.4)	2.1 (2.2)	1.3 (1.3)		29.7 (28.9)	18.2 (20.3)	1.1 (1.7)	10.2 (6.9)	0.2 ( )	29.7 (28.9)

第3章 現　　況

第1節 土地状況

1. 地形及び浸食の程度

（第2表）

地目	田						畑・その他								受益地標高 (m)		備考
									8°～15°								
傾斜区分	1/1,000 未満	1/1,000～1/100	1/100～1/20	1/20～1/11.5	1/11.5 以上	計	3° 未満	3°～8°	8°～12°	12°～15°	8°～15°	15°～20°	20° 以上	計	最高	最低	
面積(ha)			7.2 (17.6)	17.6 (6.5)	2.1 (1.3)	26.9 (25.4)	2.0 (3.5)							2.0 (3.5)	520.8 (520.8)	258.6 (258.6)	
比率(%)			26.8 (69.3)	65.4 (25.6)	7.8 (5.1)	100 (100)	100 (100)							100 (100)			

2. 土地所有の状況

令和6年(2024年)　11 月現在
(令和1年(2019年)　12 月現在　　)　（第3表）

区分＼所有別	個人有	個人共有	市町村有	県有	国有	計
面積 (ha)	29.7 (28.9)					29.7 (28.9)
受益者数 (人)	75 (84)					75 (84)
筆数 (筆)	330 (504)					330 (504)
権利関係	「所有権」 (「所有権」)					
備考 (所有者数)						

第2節　水利状況

1. 用水状況

塔の本工区：幹線用水路を水源とし既設水路を通じて地区内へ直接灌漑している。また、地区内の用水路は、道路敷き内に暗渠で配管を行っており、その後田越しにより灌漑している。施設の老朽化・経年劣化による漏水が多いことから慢性的な用水不足を来している。

堤の本工区：ため池（金本ため池）を水源としている。ため池からは、地区内を流れる用排水路兼用の水路を通じて、地区内へ直接灌漑を行っている。貯水量が少なく毎年灌漑期になると慢性的な用水不足を来している。

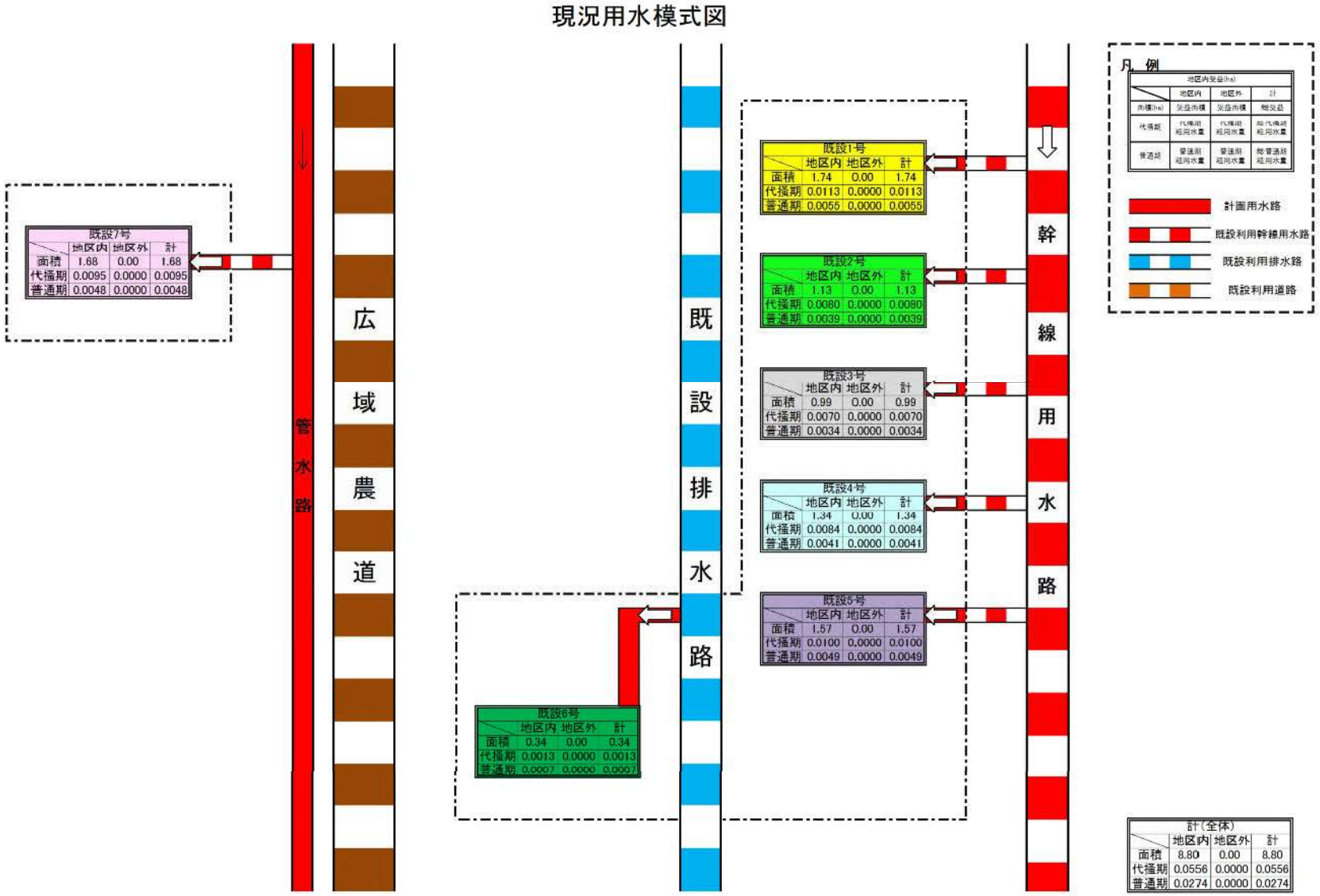
樺迫工区：渓流及び湧水を水源としており、地区内を流れる用排水路兼用の水路を通じて、地区内へ直接灌漑を行っている。しかし、既設用排水路の大半が土水路であり、水管理や施設の維持管理に多大な労力を要している。

有水工区：河川（水越川）及び渓流を水源としている。地区内を流れる用排水路兼用の水路を通じて、地区内へ直接灌漑を行っている。しかし、既設用排水路の大半が土水路であり、水管理や施設の維持管理に多大な労力を要している。

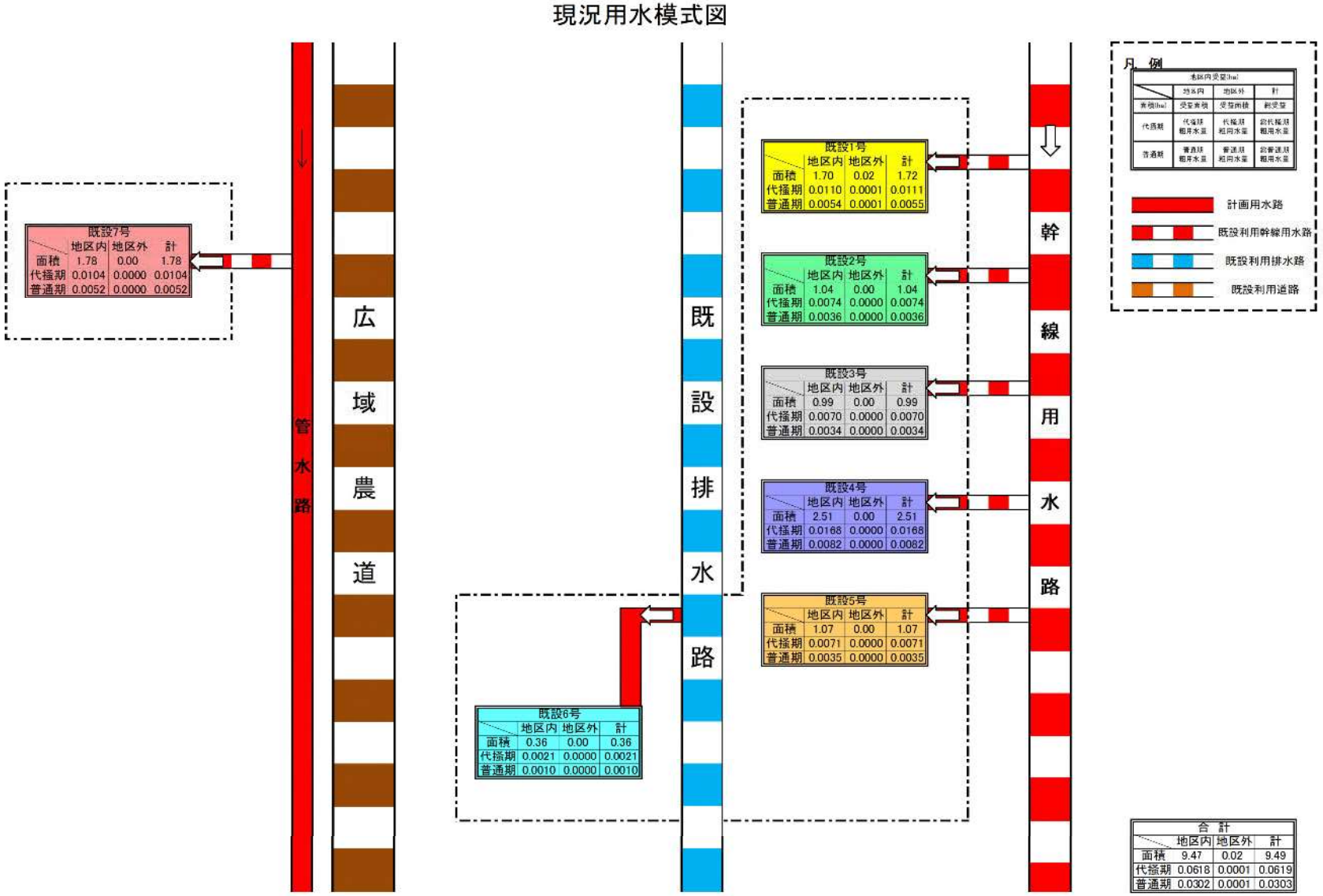
(1)用水系統

(P5-1～P5-8)ページの現況用水系統図を参照

塔の本工区(当初)

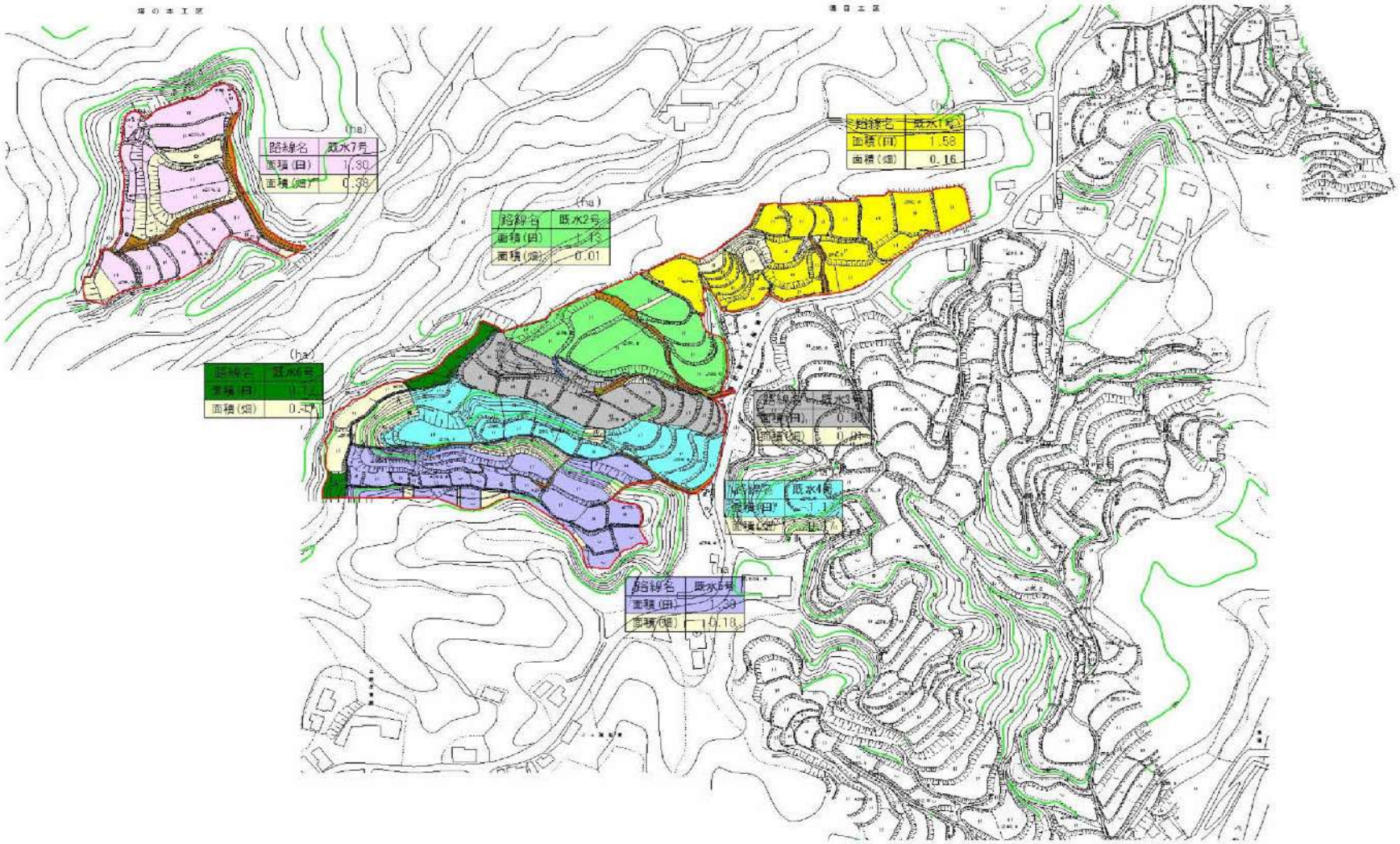

現況用水模式図
既設7号
地区内 地区外 計
面積 1.68 0.00 1.68
代掻期 0.0095 0.0000 0.0095
普通期 0.0048 0.0000 0.0048
管水路
広域農道
既設排水路
既設1号
地区内 地区外 計
面積 1.74 0.00 1.74
代掻期 0.0113 0.0000 0.0113
普通期 0.0055 0.0000 0.0055
既設2号
地区内 地区外 計
面積 1.13 0.00 1.13
代掻期 0.0080 0.0000 0.0080
普通期 0.0039 0.0000 0.0039
既設3号
地区内 地区外 計
面積 0.99 0.00 0.99
代掻期 0.0070 0.0000 0.0070
普通期 0.0034 0.0000 0.0034
既設4号
地区内 地区外 計
面積 1.34 0.00 1.34
代掻期 0.0084 0.0000 0.0084
普通期 0.0041 0.0000 0.0041
既設5号
地区内 地区外 計
面積 1.57 0.00 1.57
代掻期 0.0100 0.0000 0.0100
普通期 0.0049 0.0000 0.0049
既設6号
地区内 地区外 計
面積 0.34 0.00 0.34
代掻期 0.0013 0.0000 0.0013
普通期 0.0007 0.0000 0.0007
幹線用水路
凡 例
計画用水路
既設利用幹線用水路
既設利用排水路
既設利用道路
計(全体)
地区内 地区外 計
面積 8.80 0.00 8.80
代掻期 0.0556 0.0000 0.0556
普通期 0.0274 0.0000 0.0274

塔の本工区(変更)

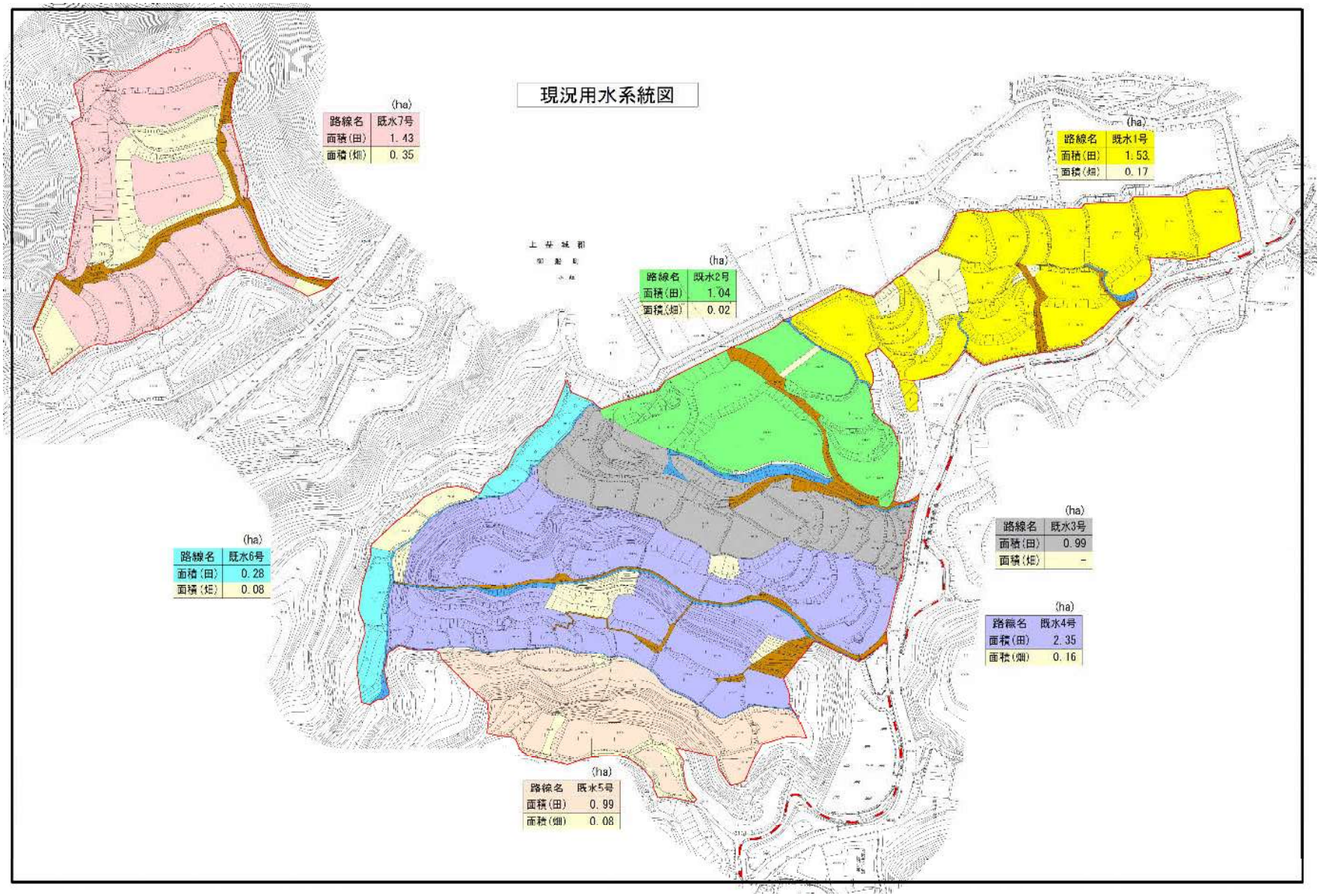

現況用水模式図
凡 例
計画用水路
既設利用幹線用水路
既設利用排水路
既設利用道路
管水路
広域農道
既設排水路
幹線用水路
既設7号
地区内 地区外 計
面積 1.78 0.00 1.78
代掻期 0.0104 0.0000 0.0104
普通期 0.0052 0.0000 0.0052
既設1号
地区内 地区外 計
面積 1.70 0.02 1.72
代掻期 0.0110 0.0001 0.0111
普通期 0.0054 0.0001 0.0055
既設2号
地区内 地区外 計
面積 1.04 0.00 1.04
代掻期 0.0074 0.0000 0.0074
普通期 0.0036 0.0000 0.0036
既設3号
地区内 地区外 計
面積 0.99 0.00 0.99
代掻期 0.0070 0.0000 0.0070
普通期 0.0034 0.0000 0.0034
既設4号
地区内 地区外 計
面積 2.51 0.00 2.51
代掻期 0.0168 0.0000 0.0168
普通期 0.0082 0.0000 0.0082
既設5号
地区内 地区外 計
面積 1.07 0.00 1.07
代掻期 0.0071 0.0000 0.0071
普通期 0.0035 0.0000 0.0035
既設6号
地区内 地区外 計
面積 0.36 0.00 0.36
代掻期 0.0021 0.0000 0.0021
普通期 0.0010 0.0000 0.0010
合 計
地区内 地区外 計
面積 9.47 0.02 9.49
代掻期 0.0618 0.0001 0.0619
普通期 0.0302 0.0001 0.0303

塔の本工区(当初)

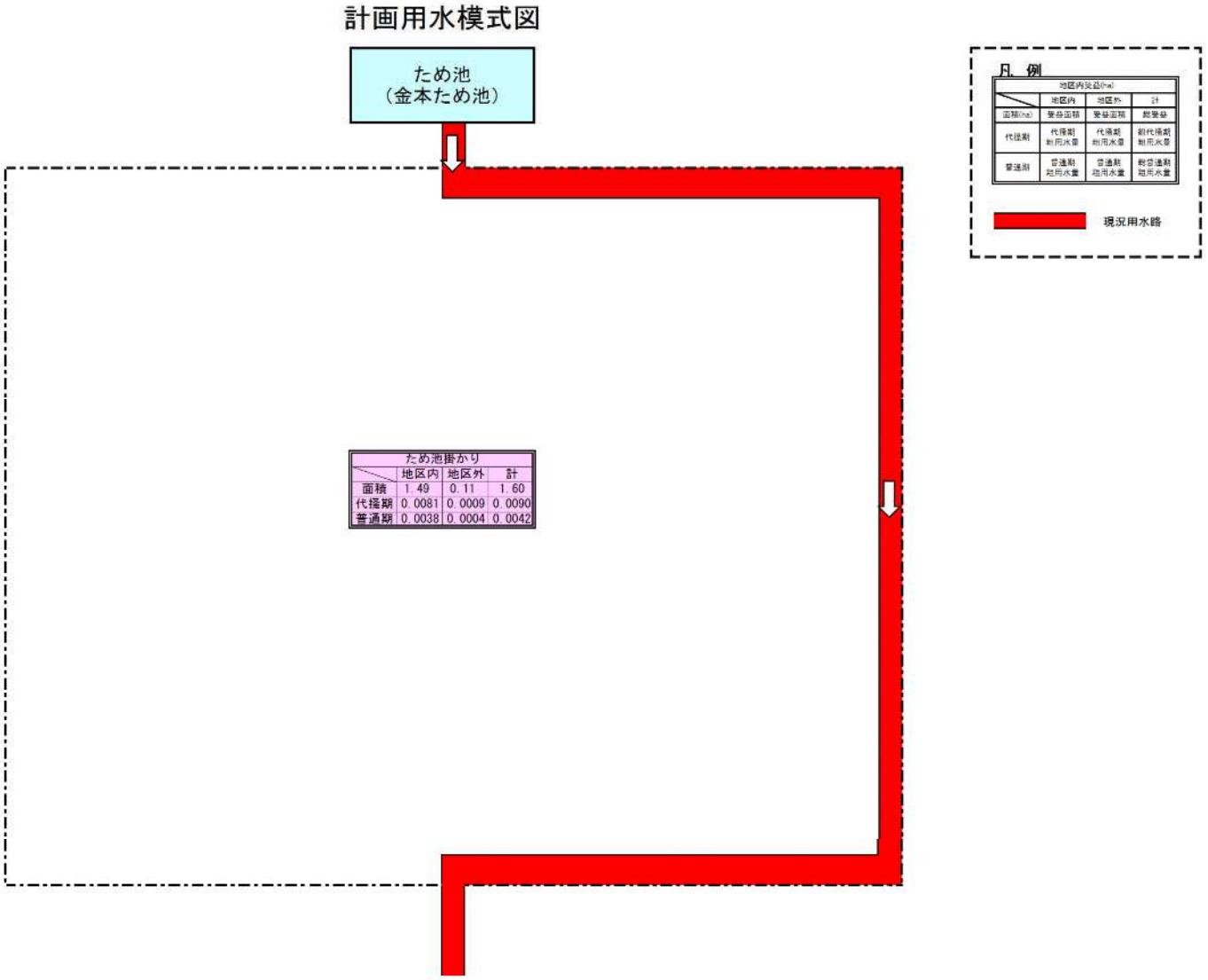
現況用水系統図



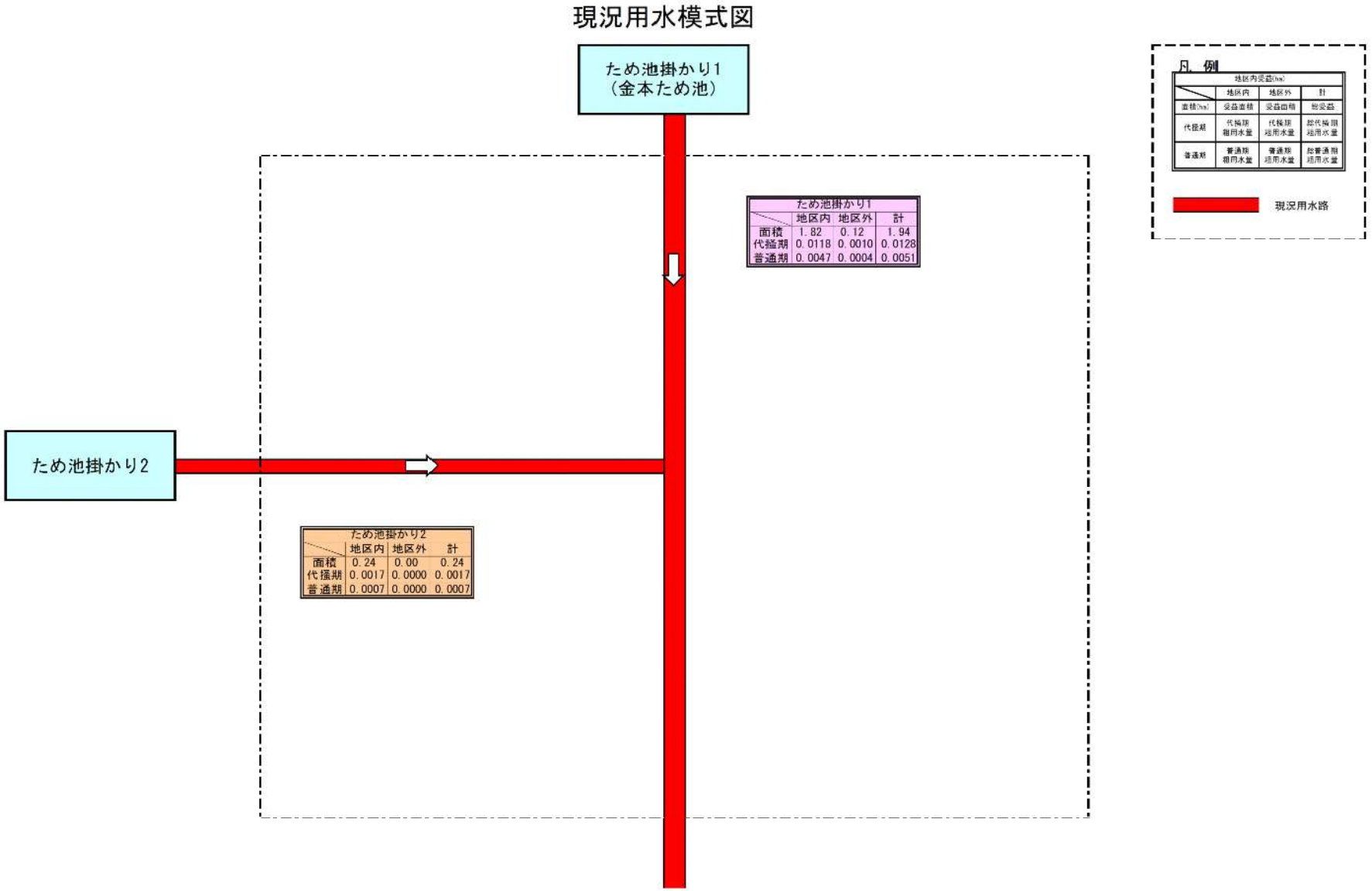
塔の本工区(変更)


現況用水系統図
(ha)
路線名 既水7号
面積(田) 1.43
面積(畑) 0.35
(ha)
路線名 既水1号
面積(田) 1.53
面積(畑) 0.17
(ha)
路線名 既水2号
面積(田) 1.04
面積(畑) 0.02
(ha)
路線名 既水6号
面積(田) 0.28
面積(畑) 0.08
(ha)
路線名 既水3号
面積(田) 0.99
面積(畑) -
(ha)
路線名 既水4号
面積(田) 2.35
面積(畑) 0.16
(ha)
路線名 既水5号
面積(田) 0.99
面積(畑) 0.08

堤の本工区(当初)


計画用水模式図
ため池
（金本ため池）
凡 例
地区内受益(ha)
地区内
地区外
計
面積(ha)
受益面積
受益面積
総受益
代掻期
代掻期
総代掻期
普通期
普通期
総普通期
現況用水路
ため池掛かり
地区内 地区外 計
面積 1.49 0.11 1.60
代掻期 0.0081 0.0009 0.0090
普通期 0.0038 0.0004 0.0042

堤の本工区(変更)



ため池掛かり1

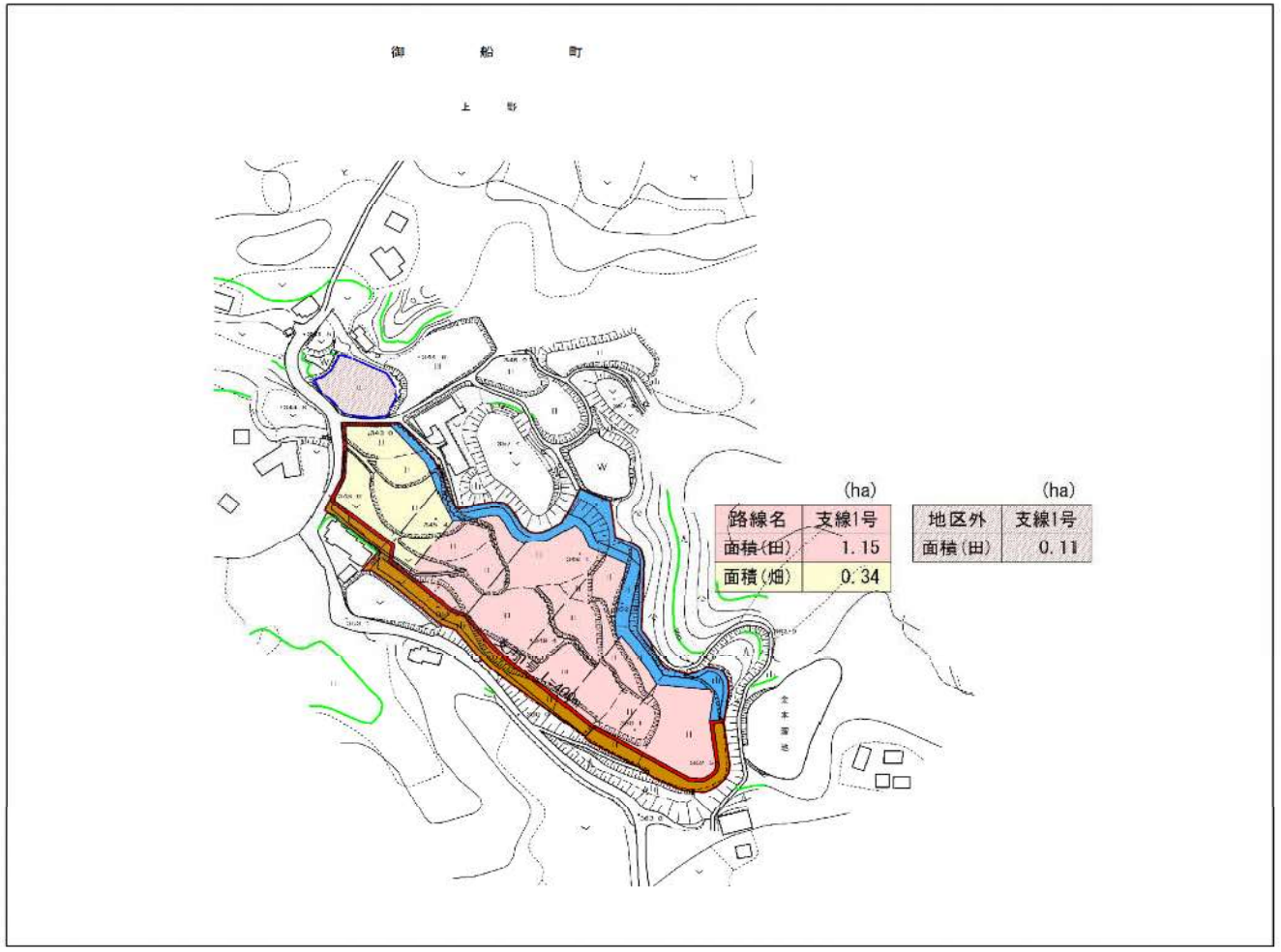
	地区内	地区外	計
面積	1.82	0.12	1.94
代掻期	0.0118	0.0010	0.0128
普通期	0.0047	0.0004	0.0051

ため池掛かり2

	地区内	地区外	計
面積	0.24	0.00	0.24
代掻期	0.0017	0.0000	0.0017
普通期	0.0007	0.0000	0.0007

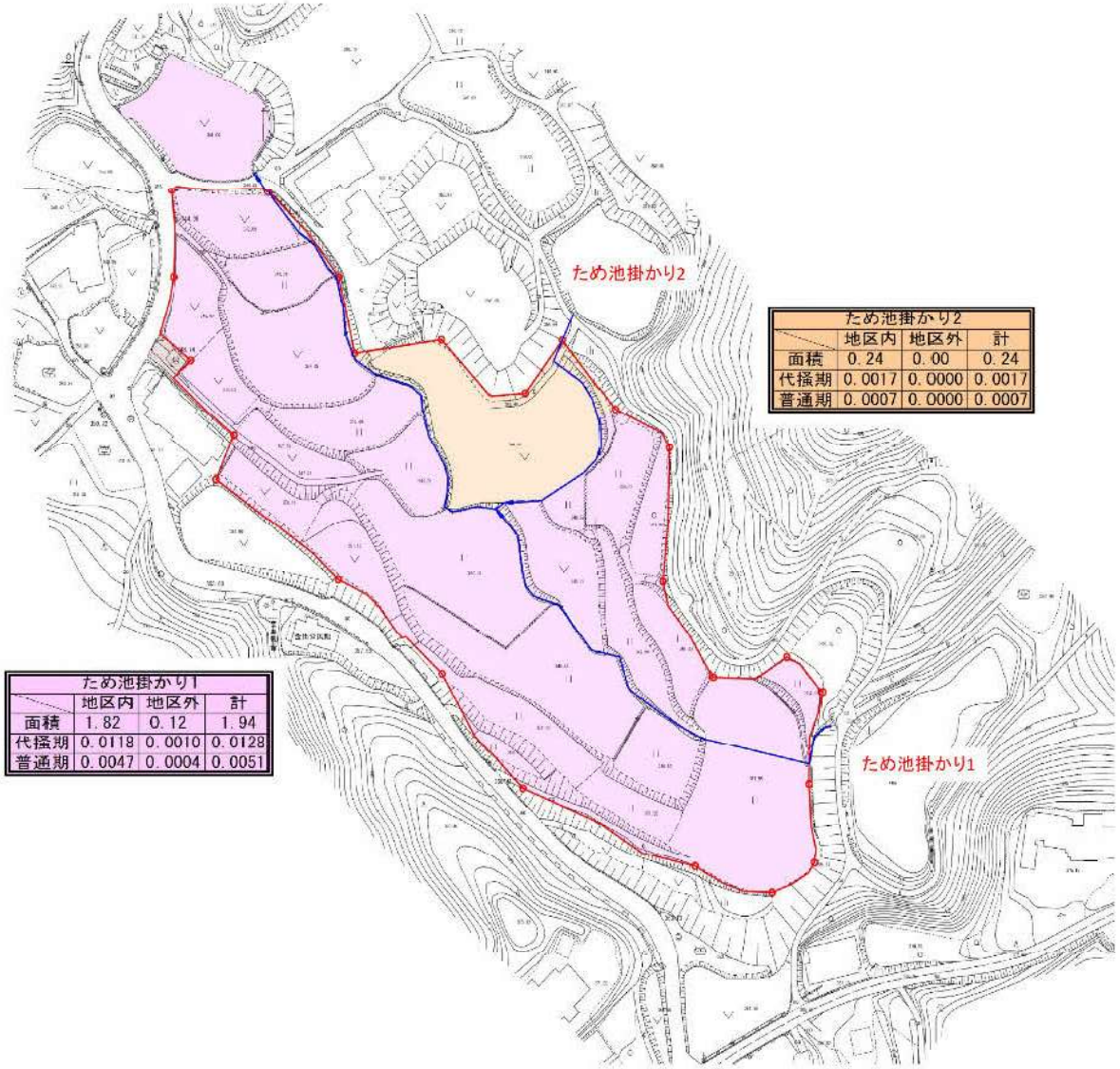
堤の本工区(当初)

計画用水系統図



堤の本工区(変更)

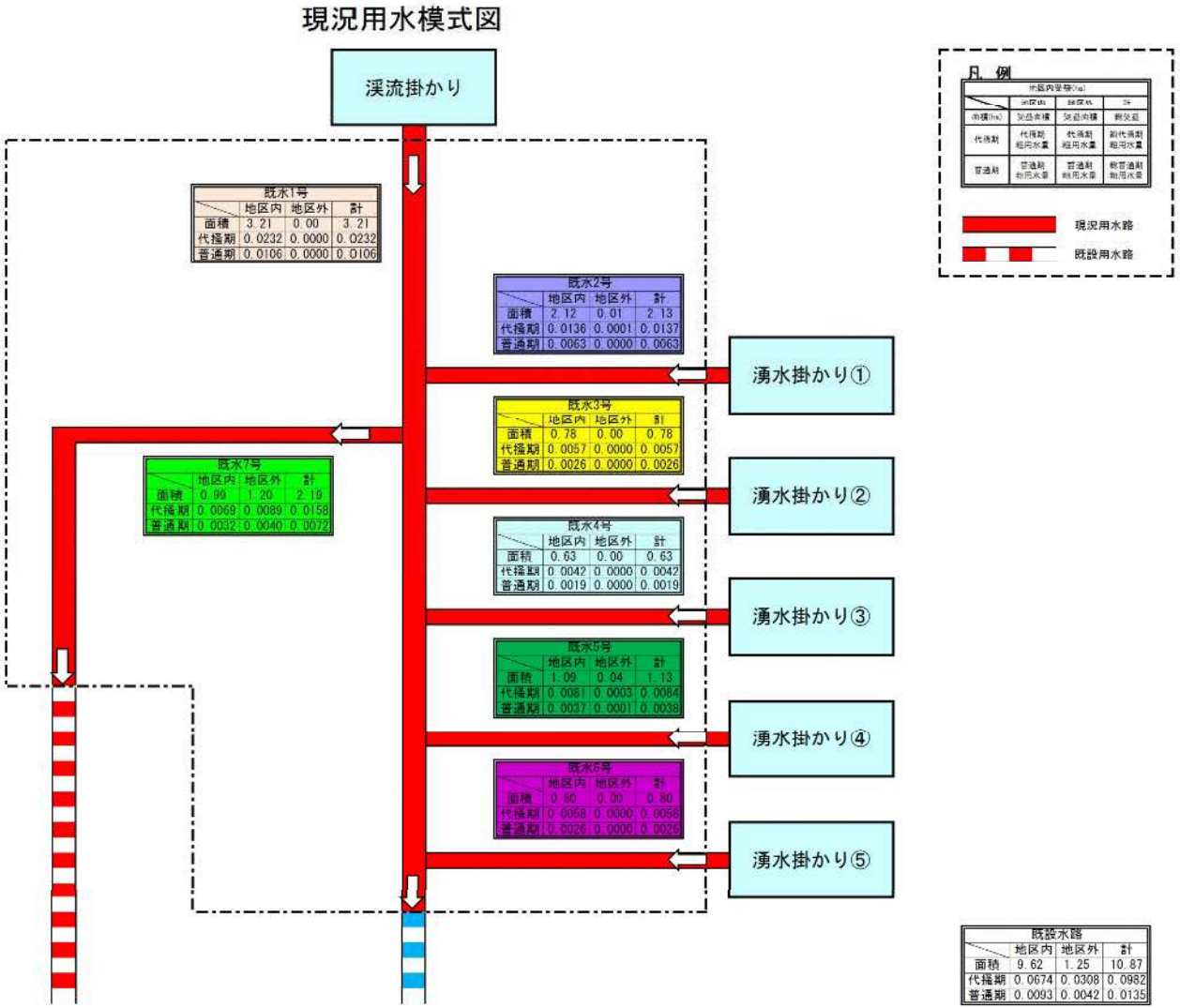
現況用水系統図



ため池掛かり2	地区内	地区外	計
面積	0.24	0.00	0.24
代掻期	0.0017	0.0000	0.0017
普通期	0.0007	0.0000	0.0007

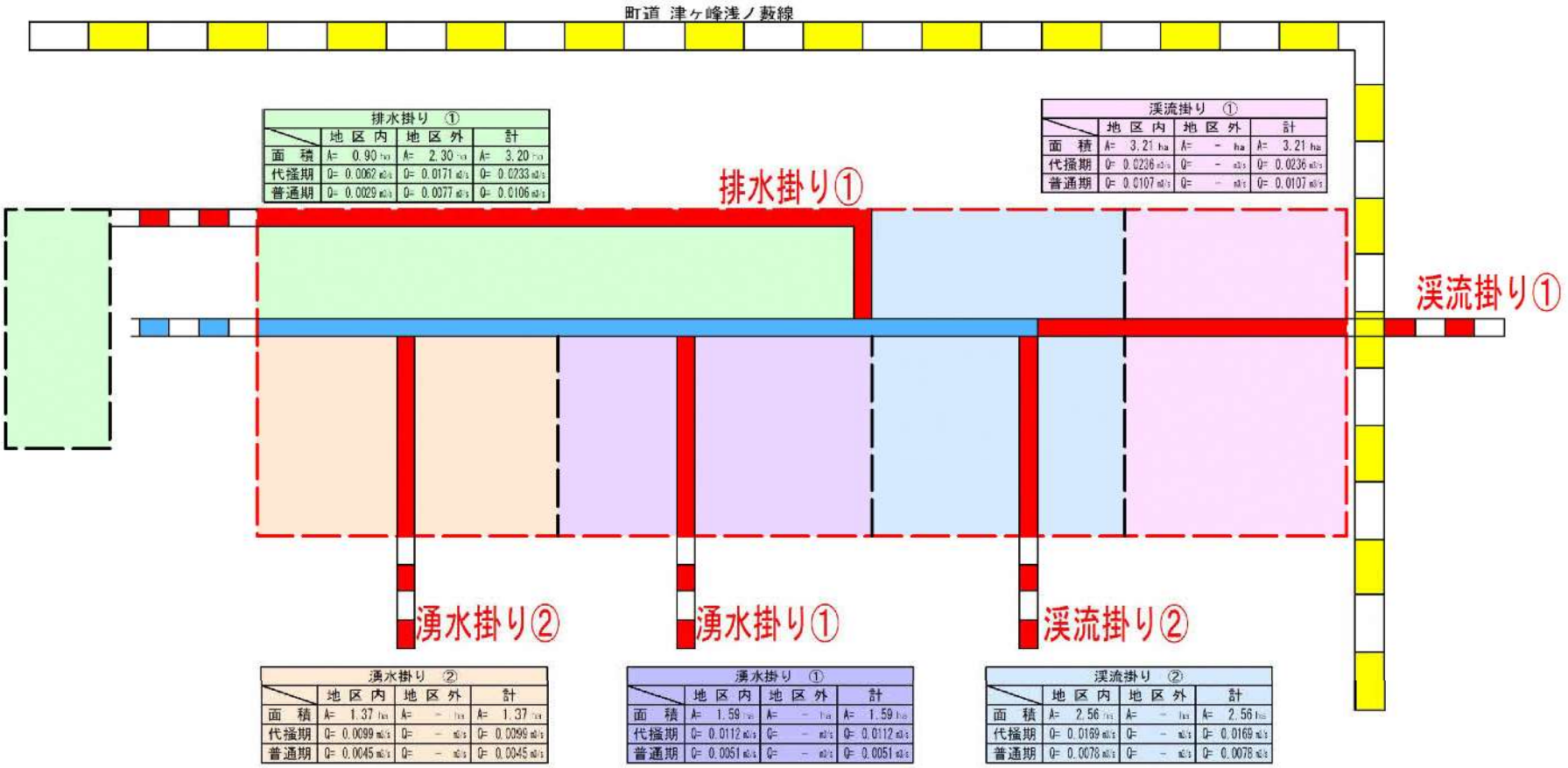
ため池掛かり1	地区内	地区外	計
面積	1.82	0.12	1.94
代掻期	0.0118	0.0010	0.0128
普通期	0.0047	0.0004	0.0051

樺迫工区(当初)


現況用水模式図
渓流掛かり
既水1号
地区内 地区外 計
面積 3.21 0.00 3.21
代掻期 0.0232 0.0000 0.0232
普通期 0.0106 0.0000 0.0106
既水2号
地区内 地区外 計
面積 2.12 0.01 2.13
代掻期 0.0136 0.0001 0.0137
普通期 0.0063 0.0000 0.0063
既水3号
地区内 地区外 計
面積 0.78 0.00 0.78
代掻期 0.0057 0.0000 0.0057
普通期 0.0026 0.0000 0.0026
既水4号
地区内 地区外 計
面積 0.63 0.00 0.63
代掻期 0.0042 0.0000 0.0042
普通期 0.0019 0.0000 0.0019
既水5号
地区内 地区外 計
面積 1.09 0.04 1.13
代掻期 0.0081 0.0003 0.0084
普通期 0.0037 0.0001 0.0038
既水6号
地区内 地区外 計
面積 0.80 0.00 0.80
代掻期 0.0058 0.0000 0.0058
普通期 0.0026 0.0000 0.0026
既水7号
地区内 地区外 計
面積 0.99 1.20 2.19
代掻期 0.0069 0.0089 0.0158
普通期 0.0032 0.0040 0.0072
湧水掛かり①
湧水掛かり②
湧水掛かり③
湧水掛かり④
湧水掛かり⑤
凡 例
地区内受益(ha)
地区内 地区外 計
面積(ha) 受益面積 受益面積 総受益
代掻期 代掻期 粗用水量 代掻期 粗用水量 総代掻期 粗用水量
普通期 普通期 粗用水量 普通期 粗用水量 総普通期 粗用水量
現況用水路
既設用水路
既設水路
地区内 地区外 計
面積 9.62 1.25 10.87
代掻期 0.0674 0.0308 0.0982
普通期 0.0093 0.0042 0.0135

樺迫工区(変更)

現況用水模式図　　樺 迫 工 区



排水掛り ①

	地区内	地区外	計
面積	A= 0.90 ha	A= 2.30 ha	A= 3.20 ha
代掻期	Q= 0.0062 m³/s	Q= 0.0171 m³/s	Q= 0.0233 m³/s
普通期	Q= 0.0029 m³/s	Q= 0.0077 m³/s	Q= 0.0106 m³/s

渓流掛り ①

	地区内	地区外	計
面積	A= 3.21 ha	A= - ha	A= 3.21 ha
代掻期	Q= 0.0236 m³/s	Q= - m³/s	Q= 0.0236 m³/s
普通期	Q= 0.0107 m³/s	Q= - m³/s	Q= 0.0107 m³/s

湧水掛り ②

	地区内	地区外	計
面積	A= 1.37 ha	A= - ha	A= 1.37 ha
代掻期	Q= 0.0099 m³/s	Q= - m³/s	Q= 0.0099 m³/s
普通期	Q= 0.0045 m³/s	Q= - m³/s	Q= 0.0045 m³/s

湧水掛り ①

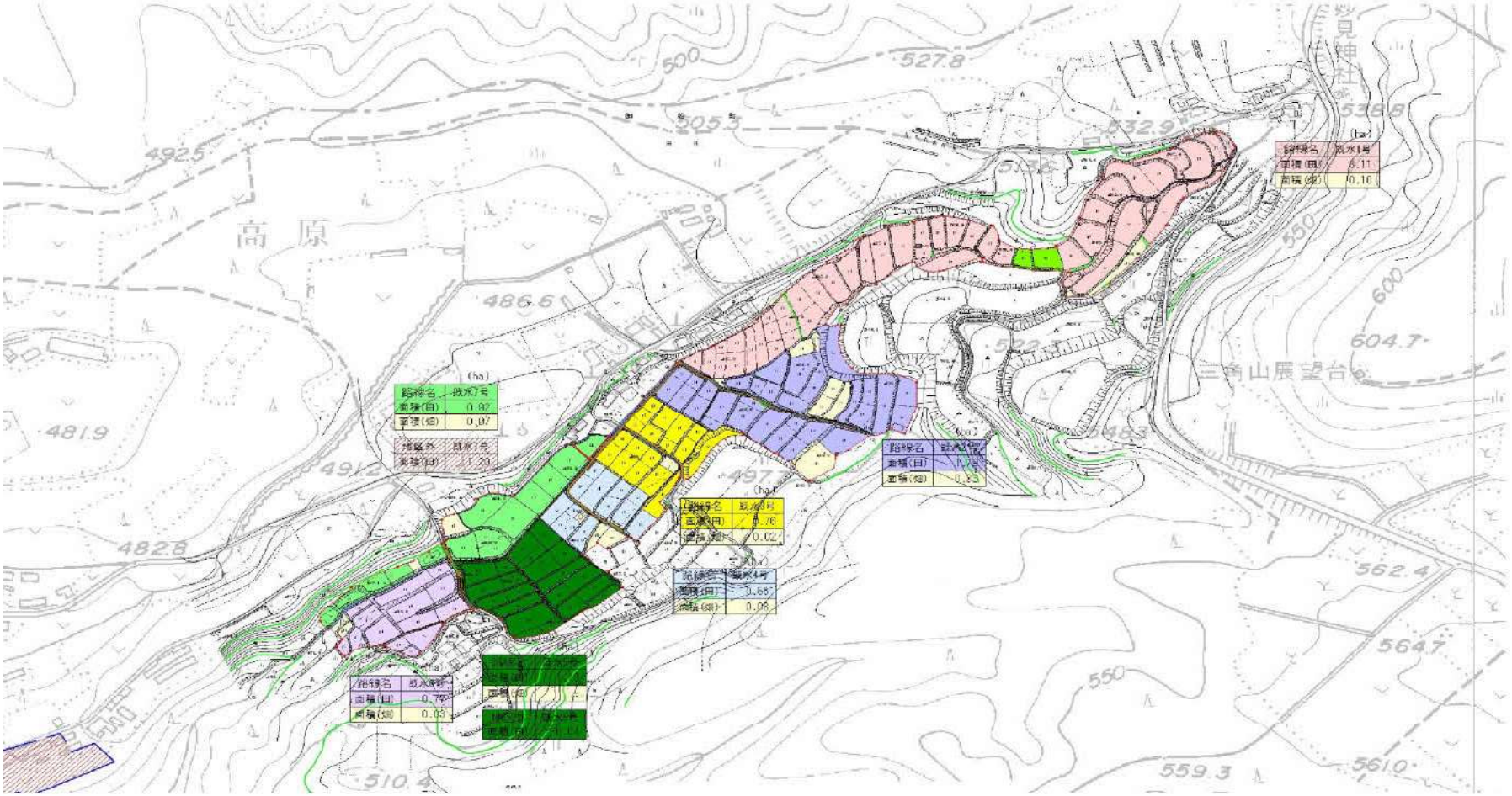
	地区内	地区外	計
面積	A= 1.59 ha	A= - ha	A= 1.59 ha
代掻期	Q= 0.0112 m³/s	Q= - m³/s	Q= 0.0112 m³/s
普通期	Q= 0.0051 m³/s	Q= - m³/s	Q= 0.0051 m³/s

渓流掛り ②

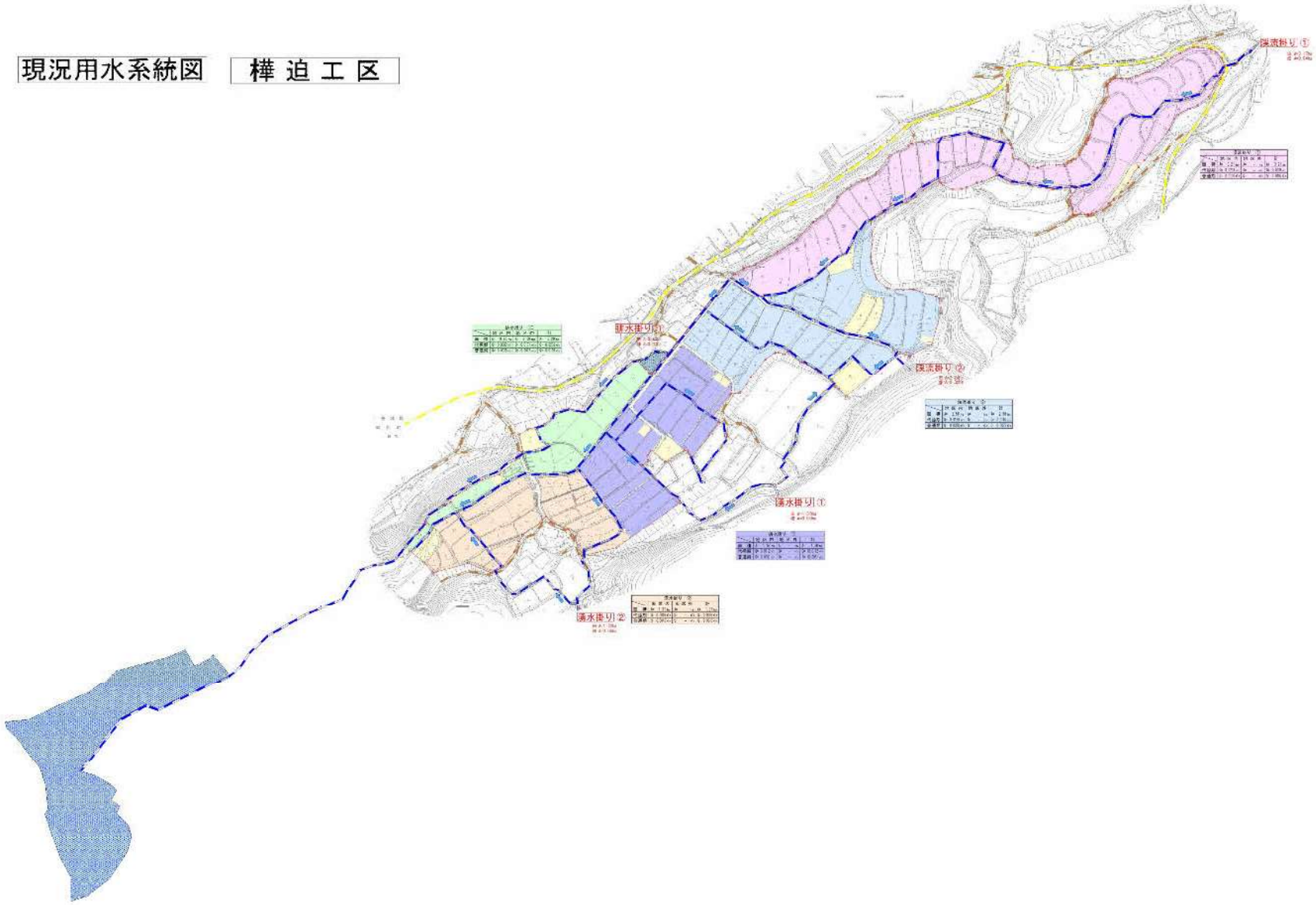
	地区内	地区外	計
面積	A= 2.56 ha	A= - ha	A= 2.56 ha
代掻期	Q= 0.0169 m³/s	Q= - m³/s	Q= 0.0169 m³/s
普通期	Q= 0.0078 m³/s	Q= - m³/s	Q= 0.0078 m³/s

樺迫工区(当初)

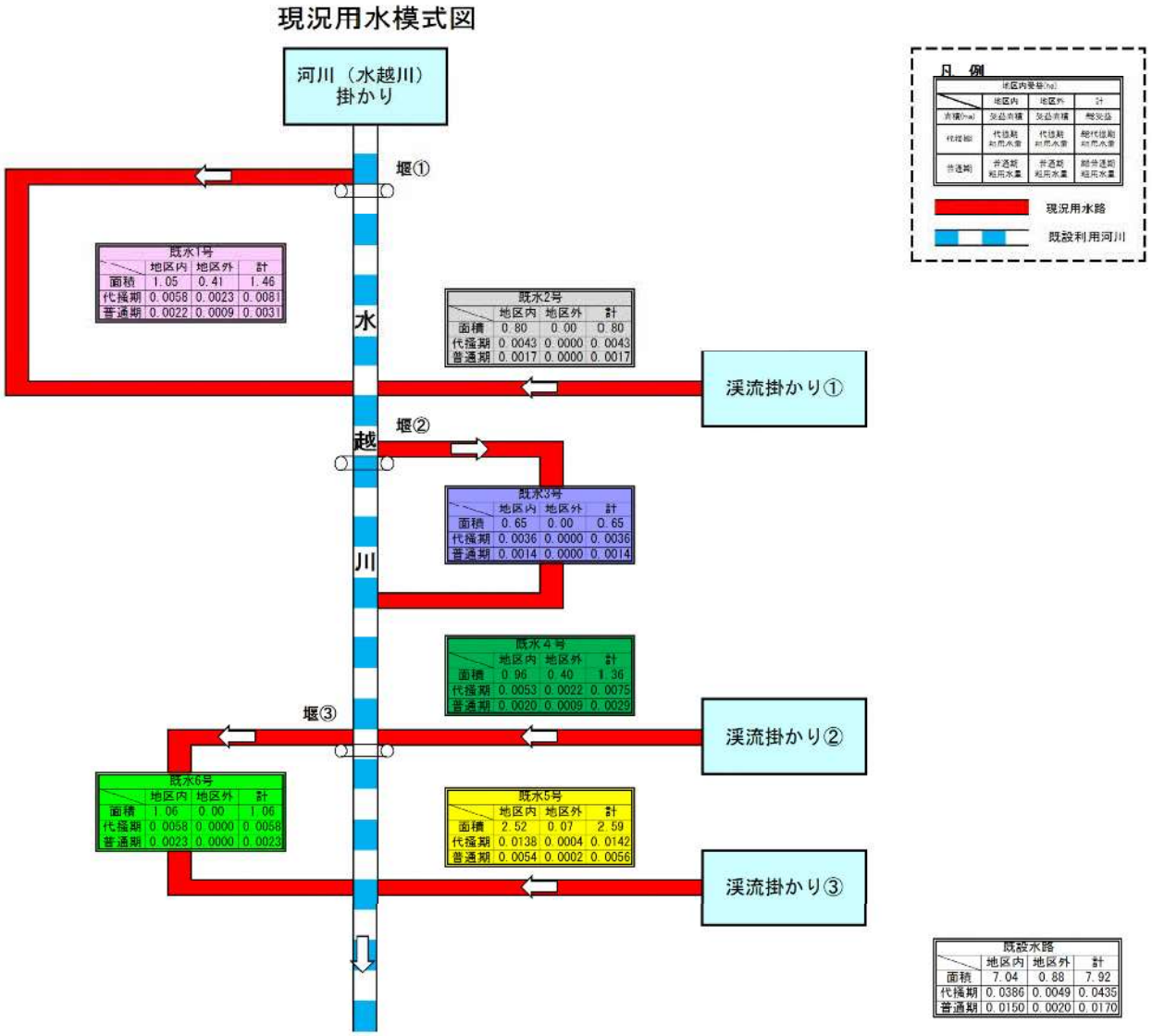
現況用水系統図



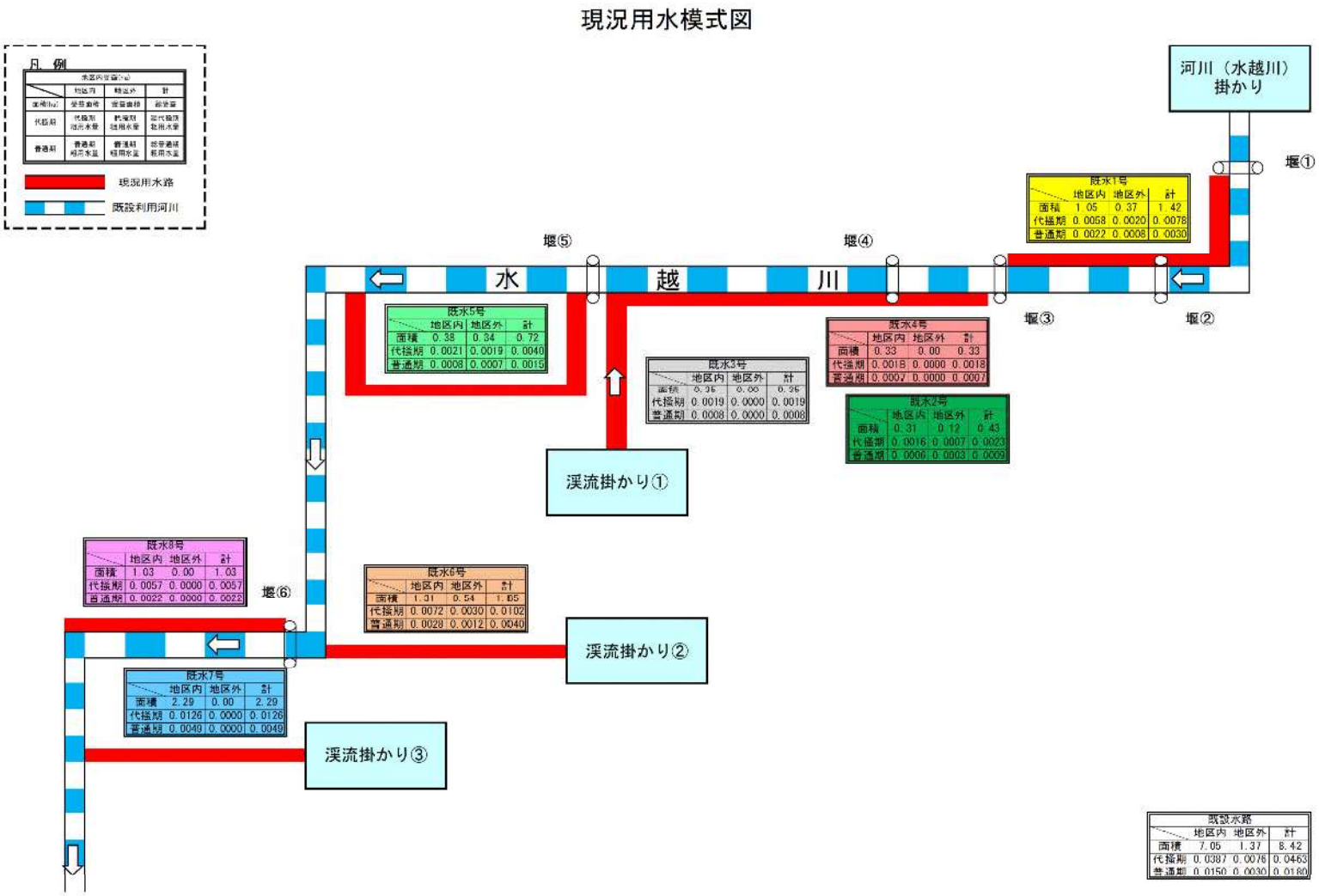
樺迫工区(変更)



有水工区(当初)

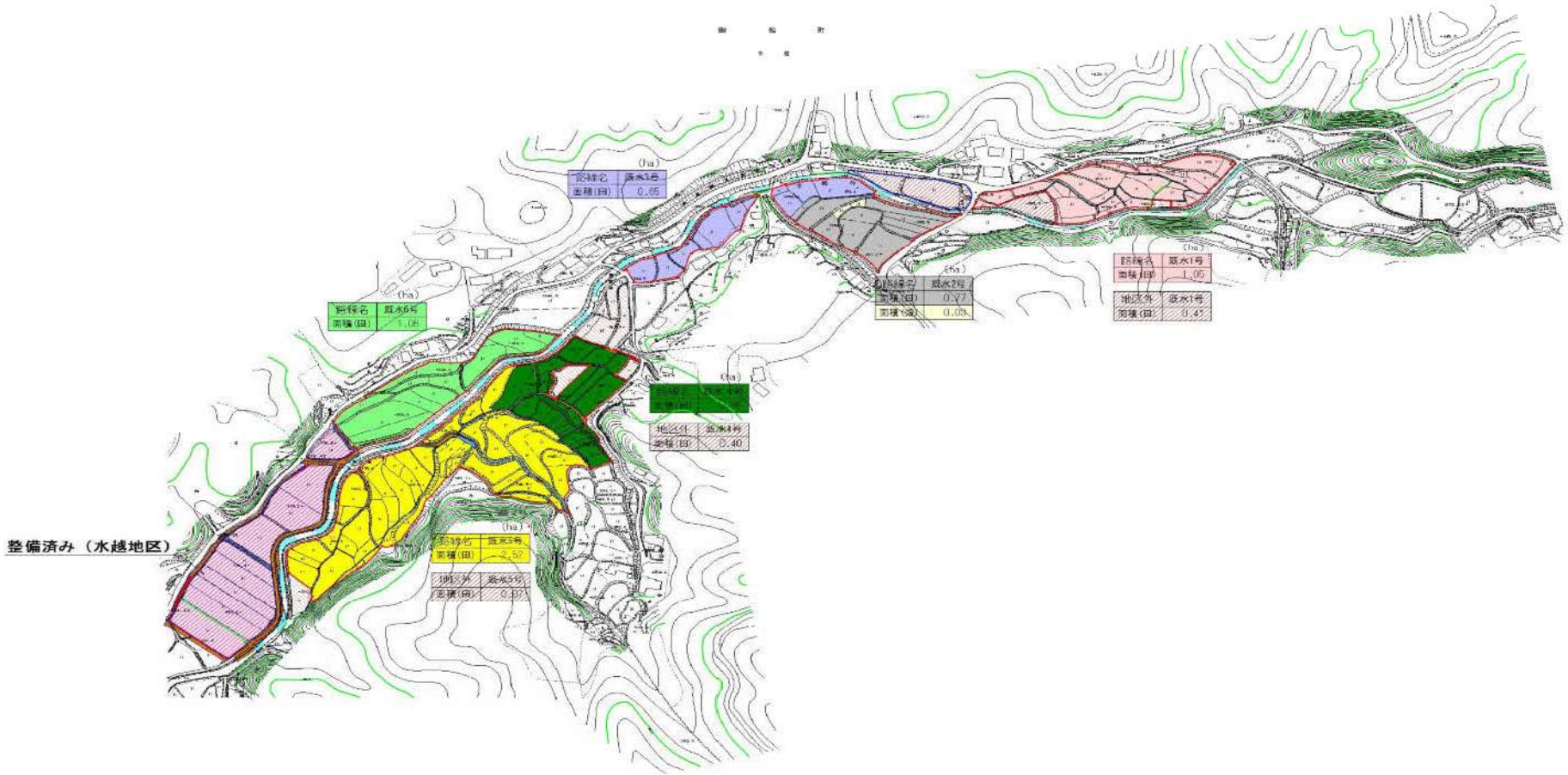

現況用水模式図
河川（水越川）
掛かり
堰①
堰②
堰③
水
越
川
既水1号
地区内 地区外 計
面積 1.05 0.41 1.46
代掻期 0.0058 0.0023 0.0081
普通期 0.0022 0.0009 0.0031
既水2号
地区内 地区外 計
面積 0.80 0.00 0.80
代掻期 0.0043 0.0000 0.0043
普通期 0.0017 0.0000 0.0017
既水3号
地区内 地区外 計
面積 0.65 0.00 0.65
代掻期 0.0036 0.0000 0.0036
普通期 0.0014 0.0000 0.0014
既水4号
地区内 地区外 計
面積 0.96 0.40 1.36
代掻期 0.0053 0.0022 0.0075
普通期 0.0020 0.0009 0.0029
既水5号
地区内 地区外 計
面積 2.52 0.07 2.59
代掻期 0.0138 0.0004 0.0142
普通期 0.0054 0.0002 0.0056
既水6号
地区内 地区外 計
面積 1.06 0.00 1.06
代掻期 0.0058 0.0000 0.0058
普通期 0.0023 0.0000 0.0023
渓流掛かり①
渓流掛かり②
渓流掛かり③
凡 例
地区内受益(ha)
地区内 地区外 計
面積(ha) 受益面積 受益面積 粗受益
代掻期 代掻期粗用水量 代掻期粗用水量 粗代掻期粗用水量
普通期 普通期粗用水量 普通期粗用水量 粗普通期粗用水量
現況用水路
既設利用河川
既設水路
地区内 地区外 計
面積 7.04 0.88 7.92
代掻期 0.0386 0.0049 0.0435
普通期 0.0150 0.0020 0.0170

有水工区(変更)

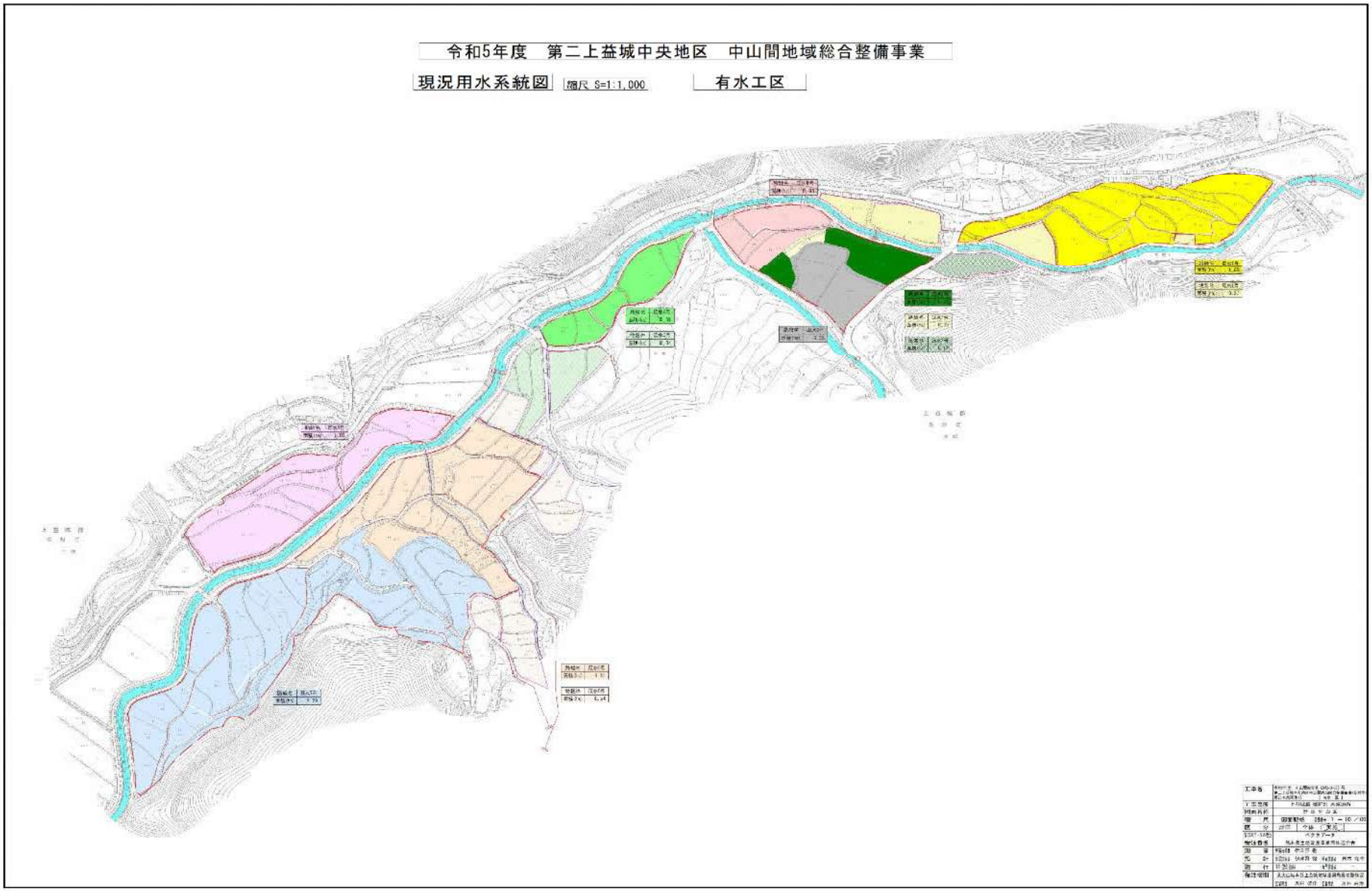

現況用水模式図
凡 例
現況用水路
既設利用河川
河川（水越川）
掛かり
堰①
堰②
堰③
堰④
堰⑤
堰⑥
水
越
川
既水1号
地区内 地区外 計
面積 1.05 0.37 1.42
代掻期 0.0058 0.0020 0.0078
普通期 0.0022 0.0008 0.0030
既水2号
地区内 地区外 計
面積 0.31 0.12 0.43
代掻期 0.0016 0.0007 0.0023
普通期 0.0006 0.0003 0.0009
既水3号
地区内 地区外 計
面積 0.35 0.00 0.35
代掻期 0.0019 0.0000 0.0019
普通期 0.0008 0.0000 0.0008
既水4号
地区内 地区外 計
面積 0.33 0.00 0.33
代掻期 0.0018 0.0000 0.0018
普通期 0.0007 0.0000 0.0007
既水5号
地区内 地区外 計
面積 0.38 0.34 0.72
代掻期 0.0021 0.0019 0.0040
普通期 0.0008 0.0007 0.0015
既水6号
地区内 地区外 計
面積 1.31 0.54 1.85
代掻期 0.0072 0.0030 0.0102
普通期 0.0028 0.0012 0.0040
既水7号
地区内 地区外 計
面積 2.29 0.00 2.29
代掻期 0.0126 0.0000 0.0126
普通期 0.0049 0.0000 0.0049
既水8号
地区内 地区外 計
面積 1.03 0.00 1.03
代掻期 0.0057 0.0000 0.0057
普通期 0.0022 0.0000 0.0022
渓流掛かり①
渓流掛かり②
渓流掛かり③
既設水路
地区内 地区外 計
面積 7.05 1.37 8.42
代掻期 0.0387 0.0076 0.0463
普通期 0.0150 0.0030 0.0180

有水工区(当初)

現況用水系統図



有水工区(変更)



(2)用水施設

(ア)取水方法一覧

(第4表－1)

施設＼項目	施設名 又は (箇所数)	水利権 (m^3/s)	慣行水利権 (m^3/s)	延べ取水量 (m^3/s)
貯水池				
頭首工				
揚水機				
自然取入口	1 (1)		0.062 (0.056)	
その他	5 (5)		0.146 (0.135)	
計	6 (6)		0.208 (0.191)	

(イ)改修を要する施設一覧表

(第4表－2)

施設＼項目	施設名 又は (箇所数)	構造	規模 (m)	新設年 又は 更新年	改修を必要とする理由
貯水池					
頭首工					
揚水機					
用水路					
その他	56 (56)	土水路 他 (土水路 他)	9,210 (9,210)	不明 (不明)	区画整理に伴う改修 (区画整理に伴う改修)

2. 排水状況

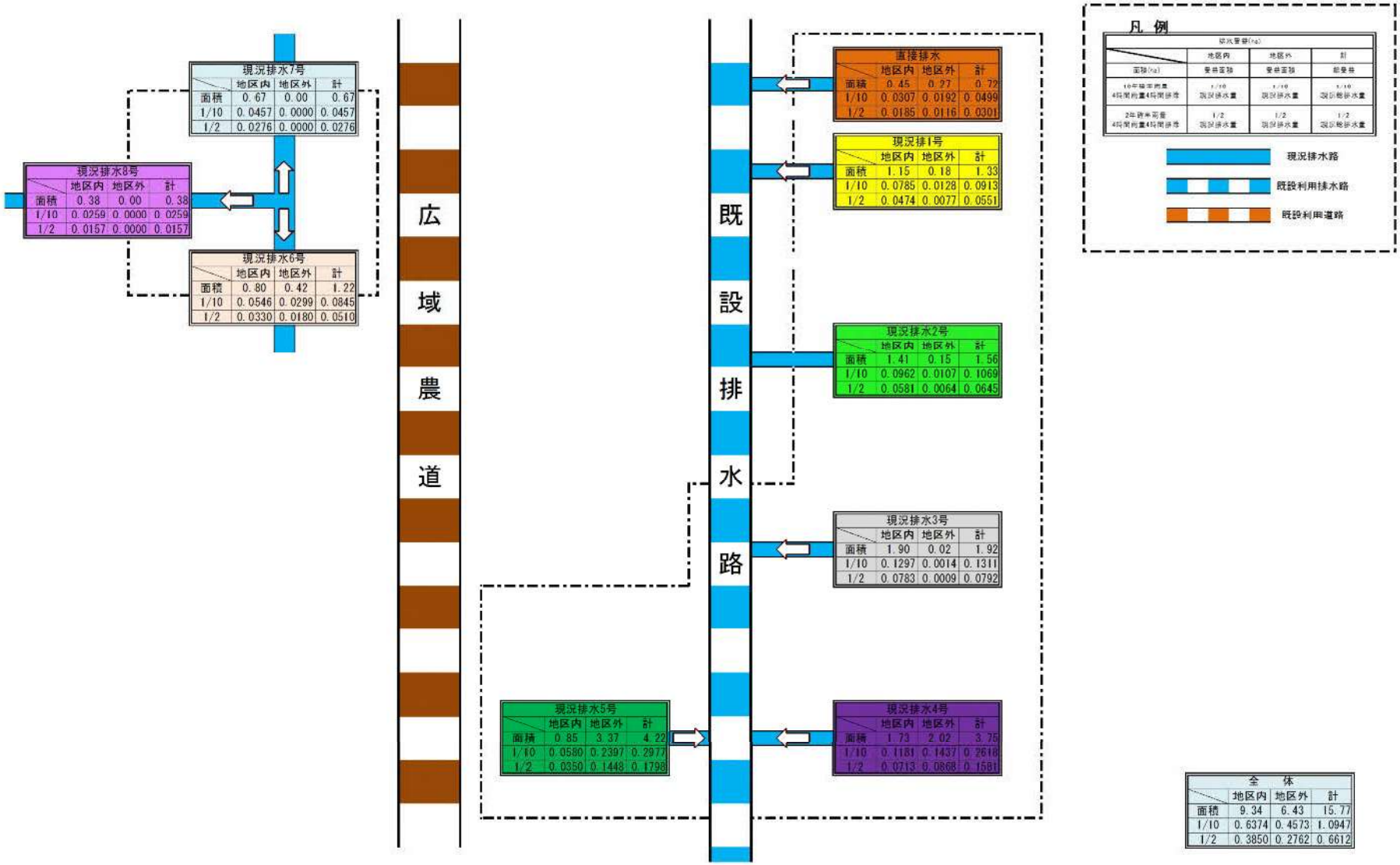
田越しによる排水がほとんどで、降雨時には排水不良による法面崩壊が生じ、維持管理に支障を来すとともに、排水としての機能が維持されず、早急に整備を必要としている。

(1)排水系統

(P7-1～P7-8)ページの現況排水系統図を参照

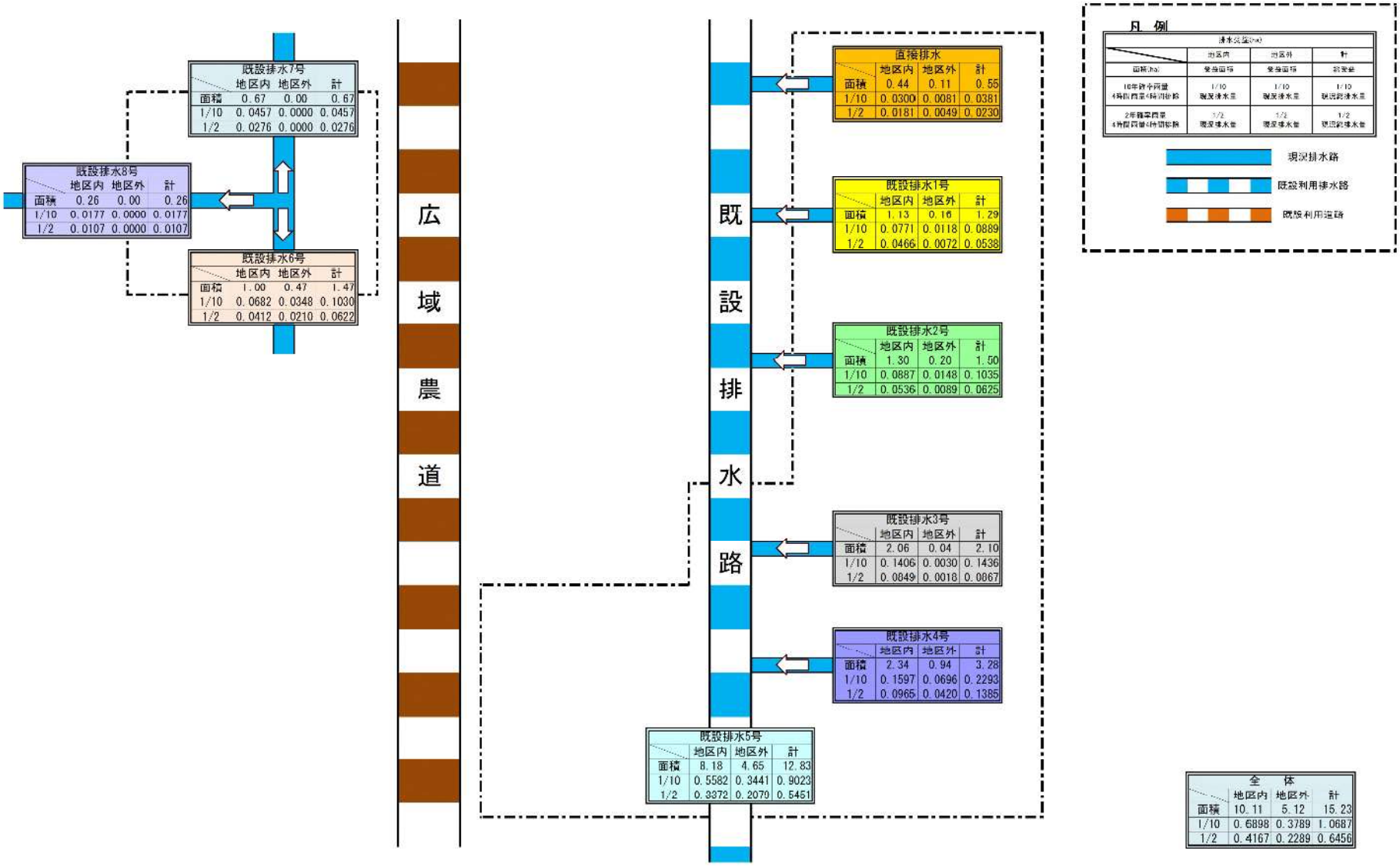
塔の本工区(当初)

現況排水模式図



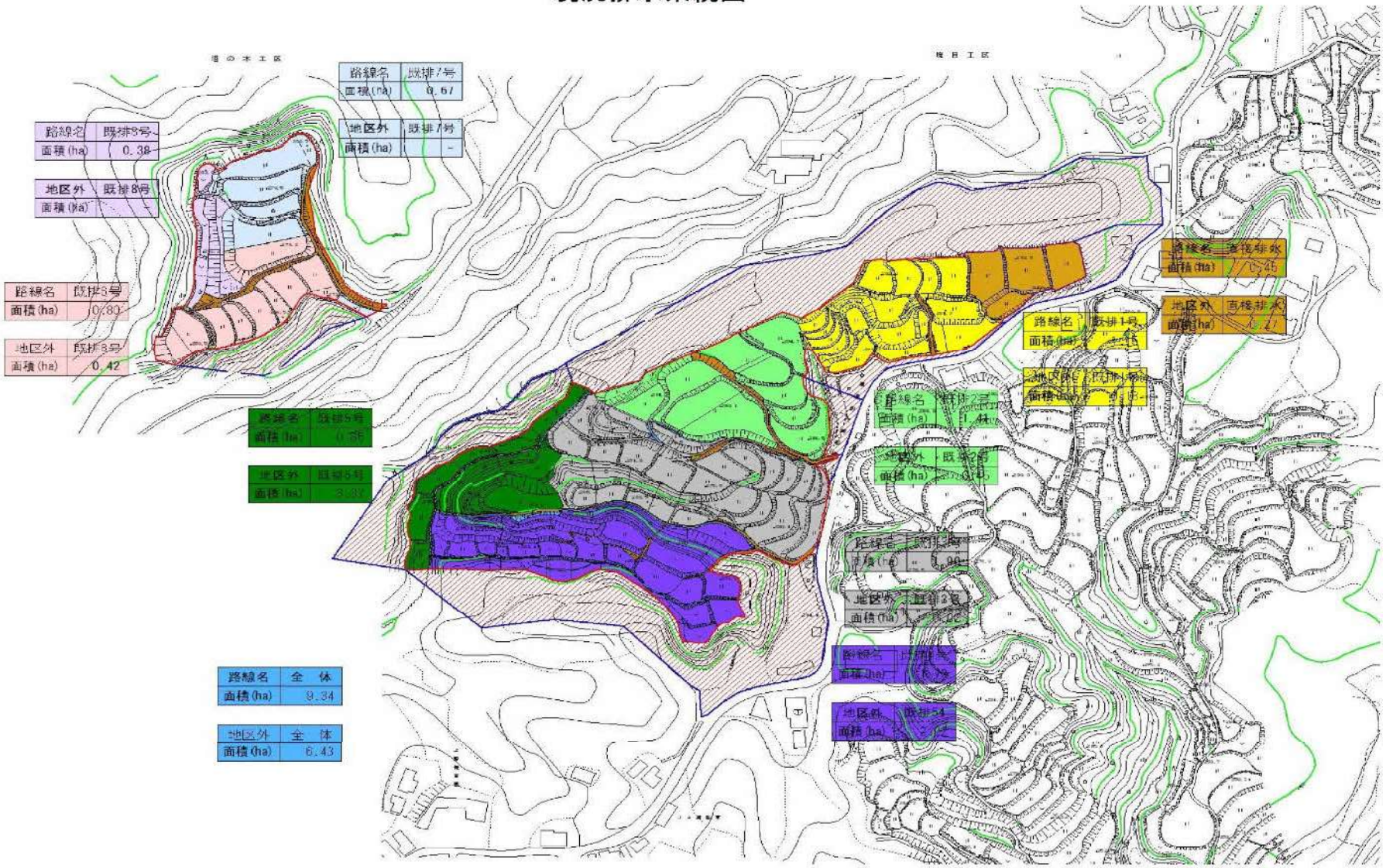
塔の本工区(変更)

現況排水模式図

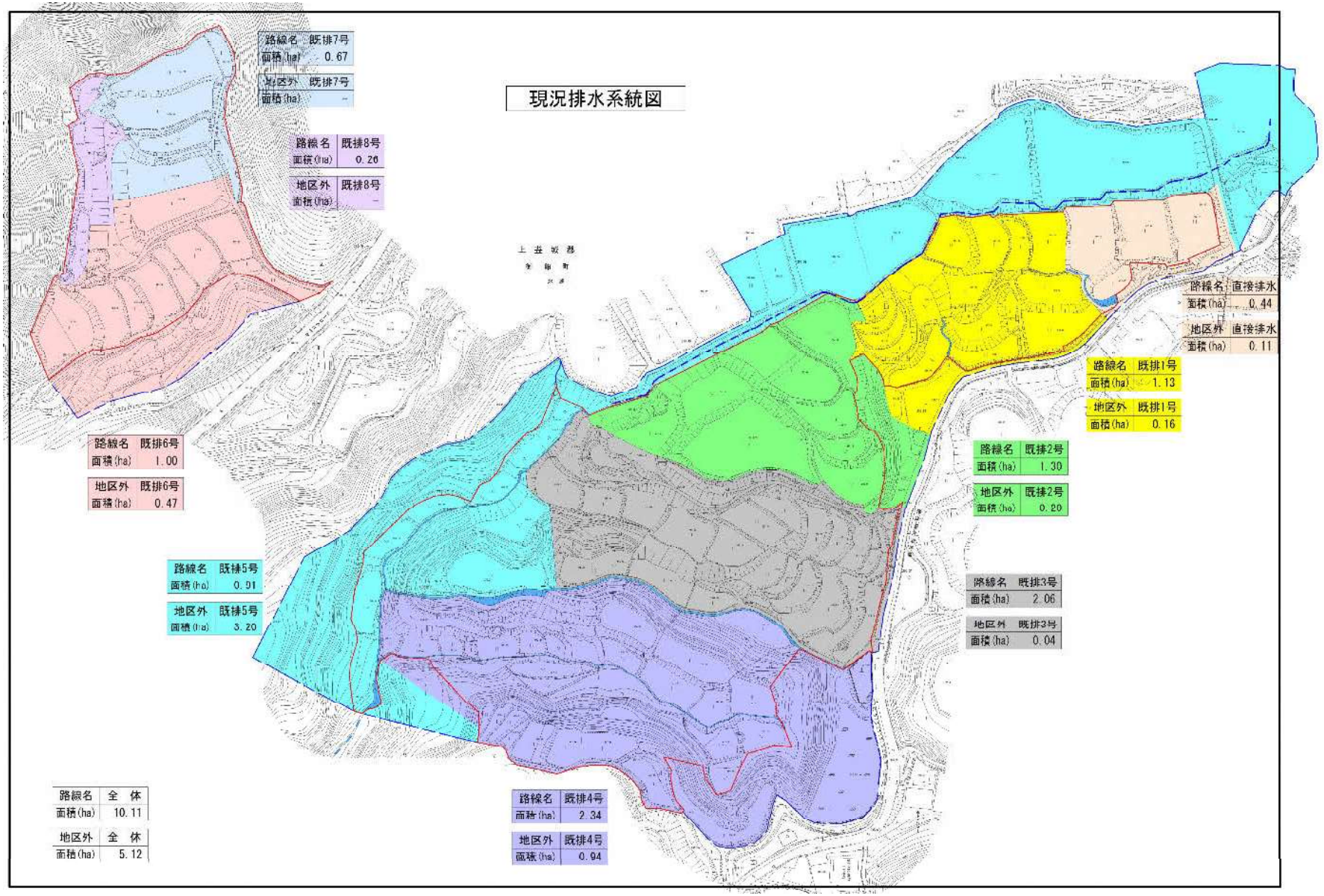


塔の本工区(当初)

現況排水系統図

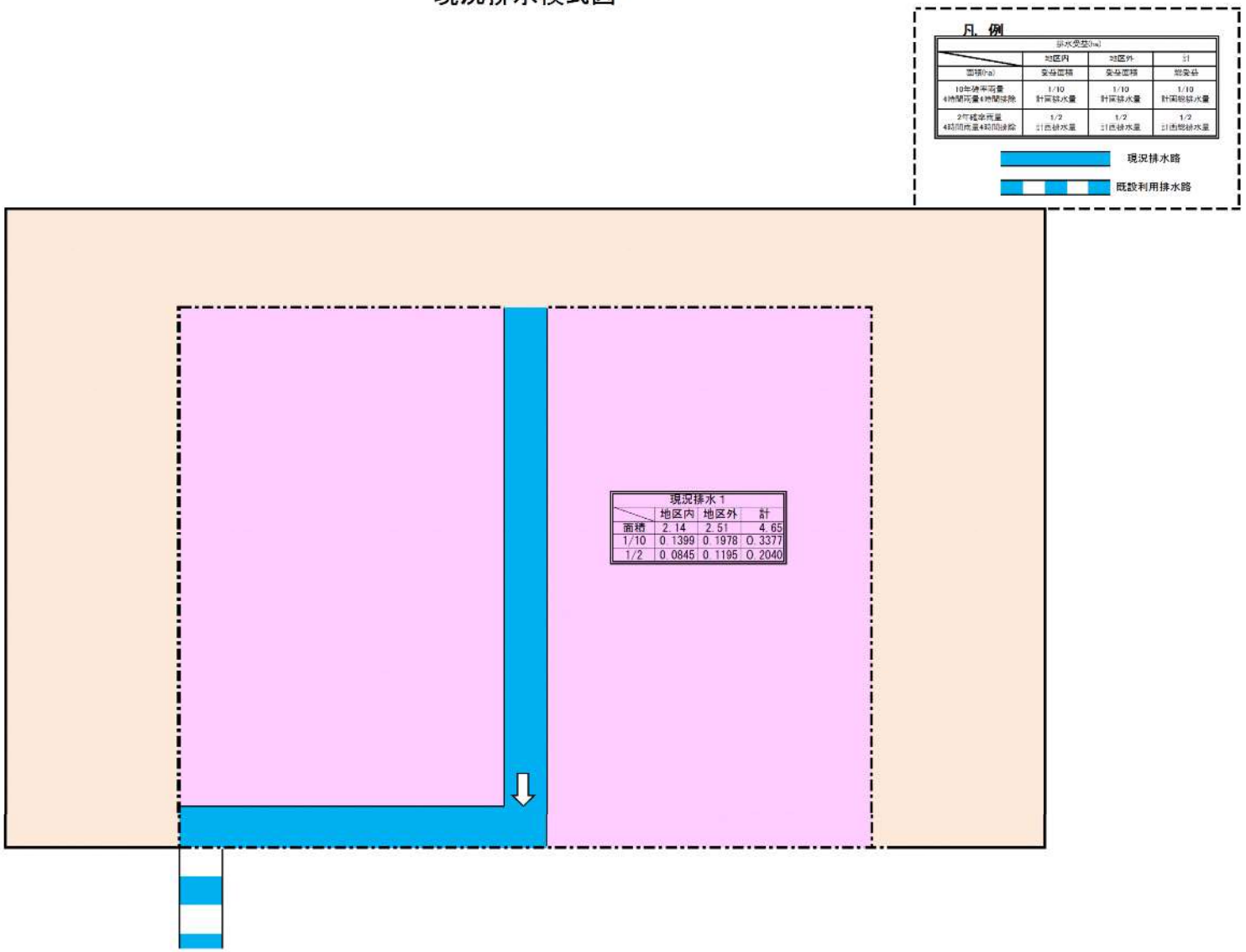


塔の本工区(変更)


現況排水系統図
路線名 既排7号
面積(ha) 0.67
地区外 既排7号
面積(ha) -
路線名 既排8号
面積(ha) 0.26
地区外 既排8号
面積(ha) -
路線名 既排6号
面積(ha) 1.00
地区外 既排6号
面積(ha) 0.47
路線名 既排5号
面積(ha) 0.91
地区外 既排5号
面積(ha) 3.20
路線名 既排4号
面積(ha) 2.34
地区外 既排4号
面積(ha) 0.94
路線名 既排3号
面積(ha) 2.06
地区外 既排3号
面積(ha) 0.04
路線名 既排2号
面積(ha) 1.30
地区外 既排2号
面積(ha) 0.20
路線名 既排1号
面積(ha) 1.13
地区外 既排1号
面積(ha) 0.16
路線名 直接排水
面積(ha) 0.44
地区外 直接排水
面積(ha) 0.11
路線名 全体
面積(ha) 10.11
地区外 全体
面積(ha) 5.12

堤の本工区(当初)

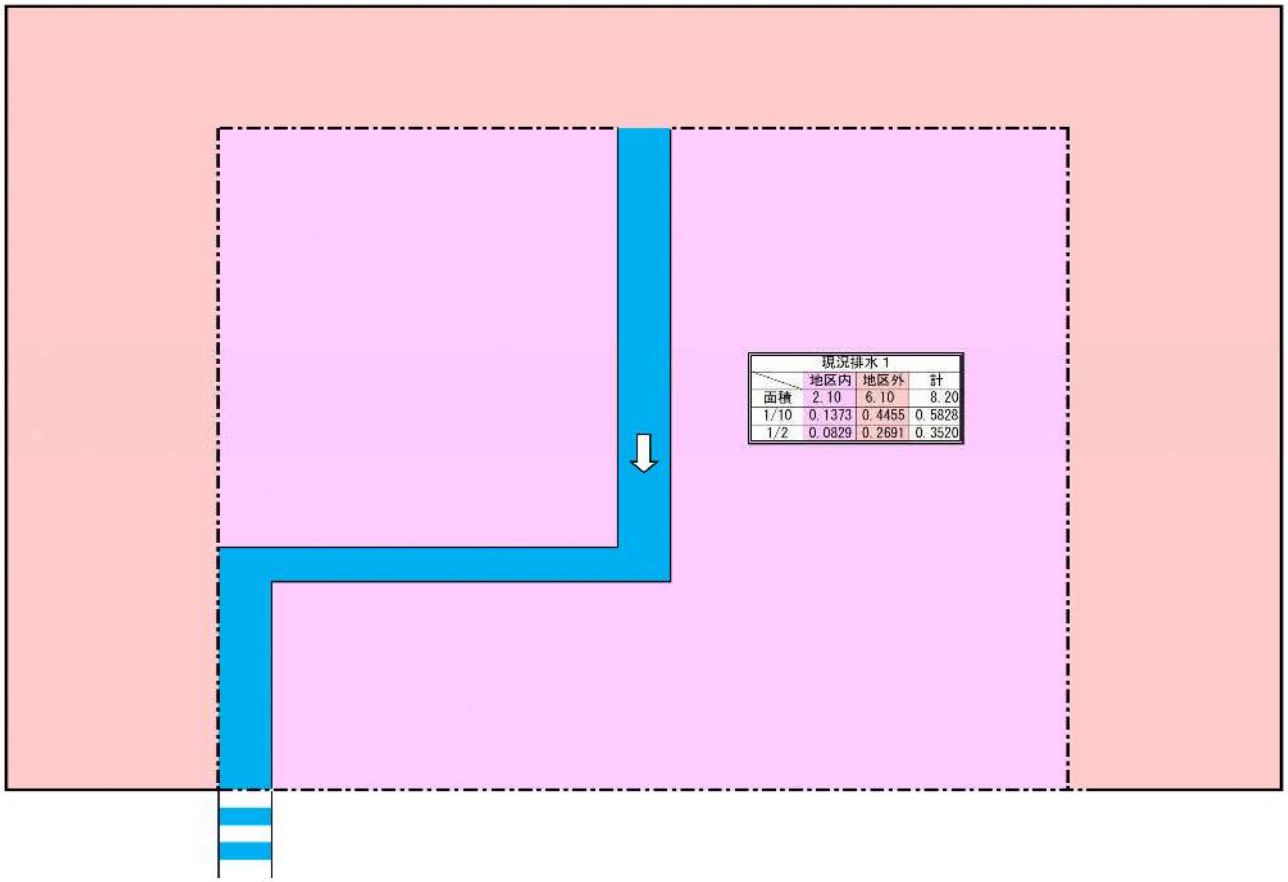
現況排水模式図



堤の本工区(変更)

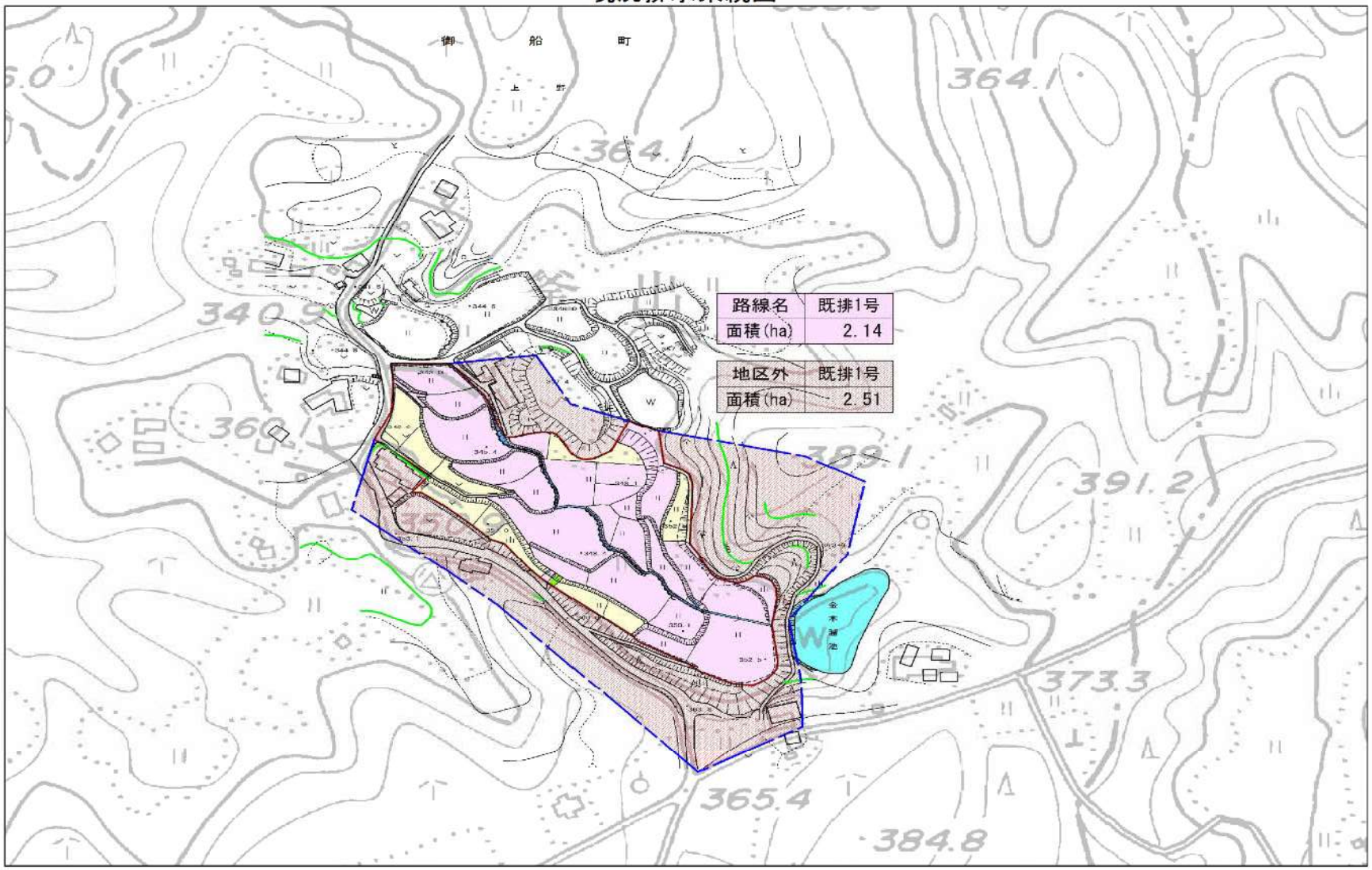
現況排水模式図



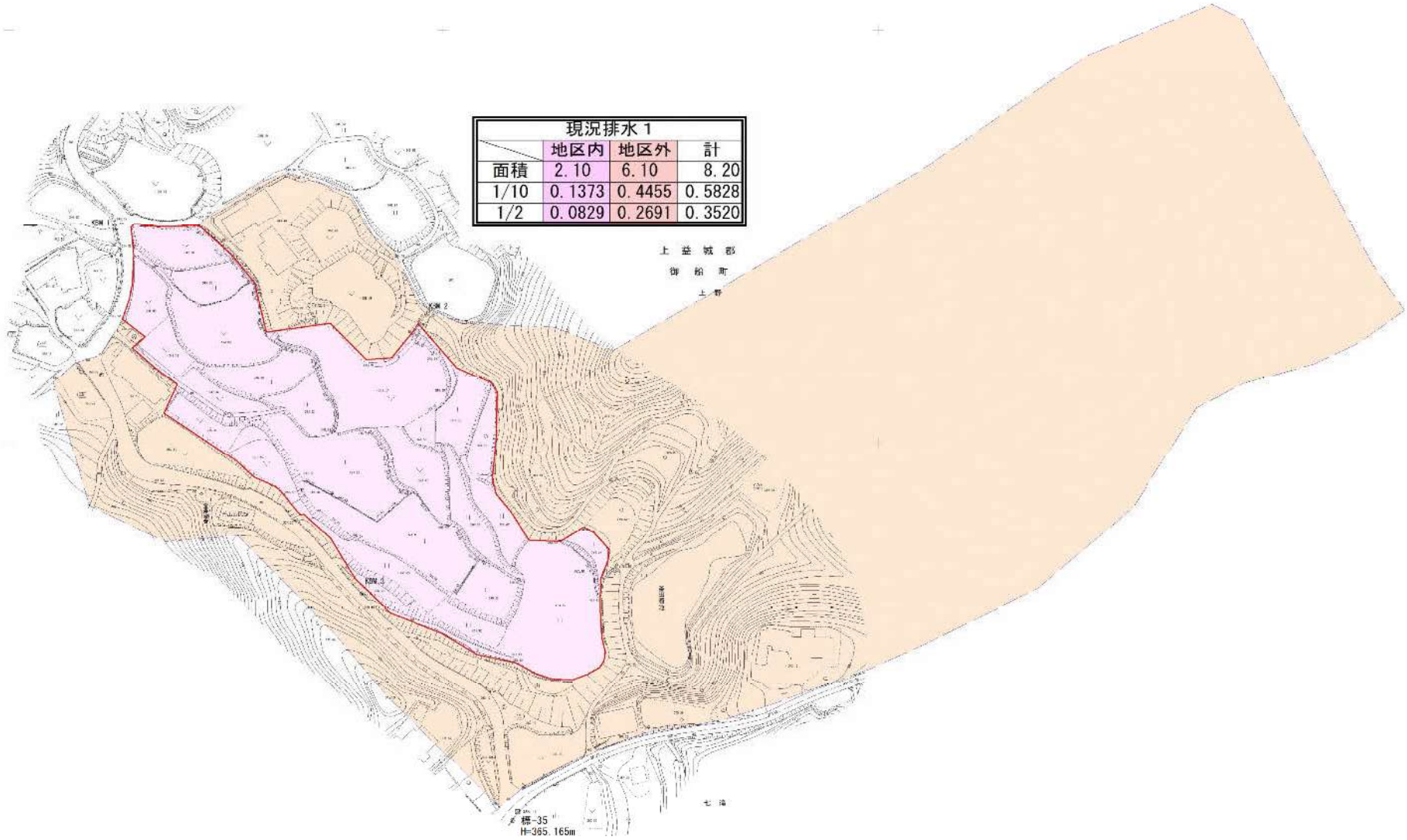


堤の本工区(当初)

現況排水系統図

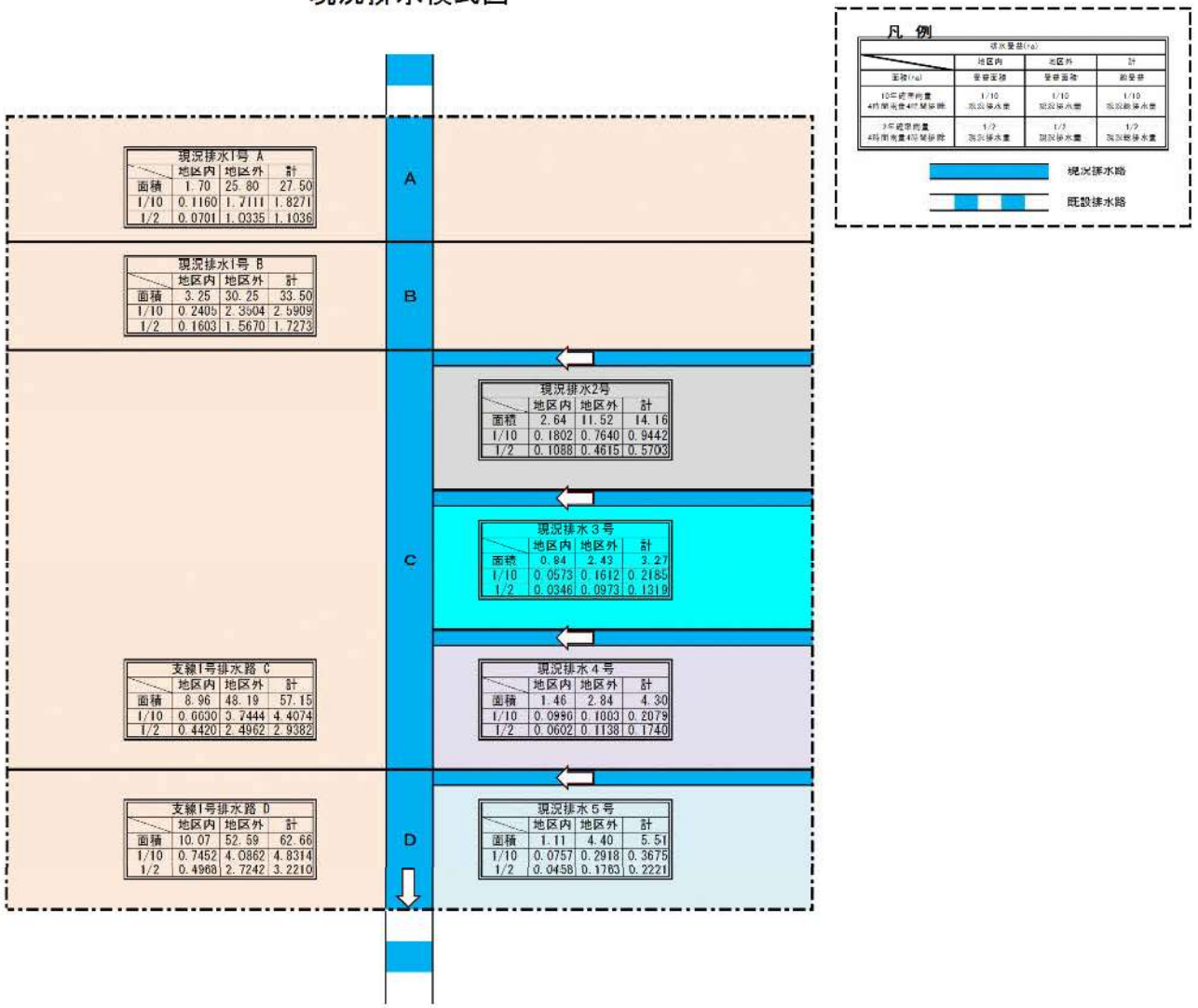


堤の本工区(変更)


現況排水１
地区内 地区外 計
面積 2.10 6.10 8.20
1/10 0.1373 0.4455 0.5828
1/2 0.0829 0.2691 0.3520
上 益 城 郡
御 船 町
上 野
KBM-1
KBM-2
七 滝
KBM-3
H=365.165m

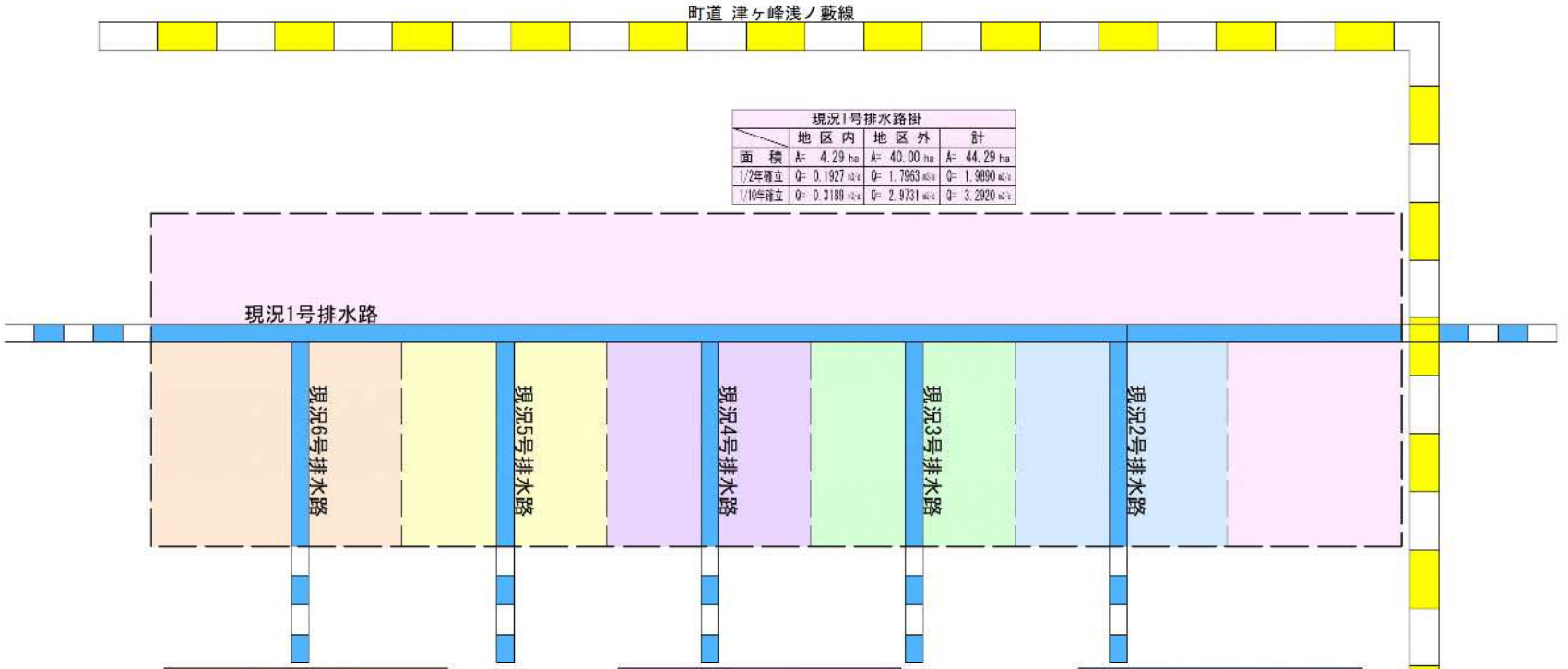
樺迫工区(当初)

現況排水模式図



樺迫工区(変更)

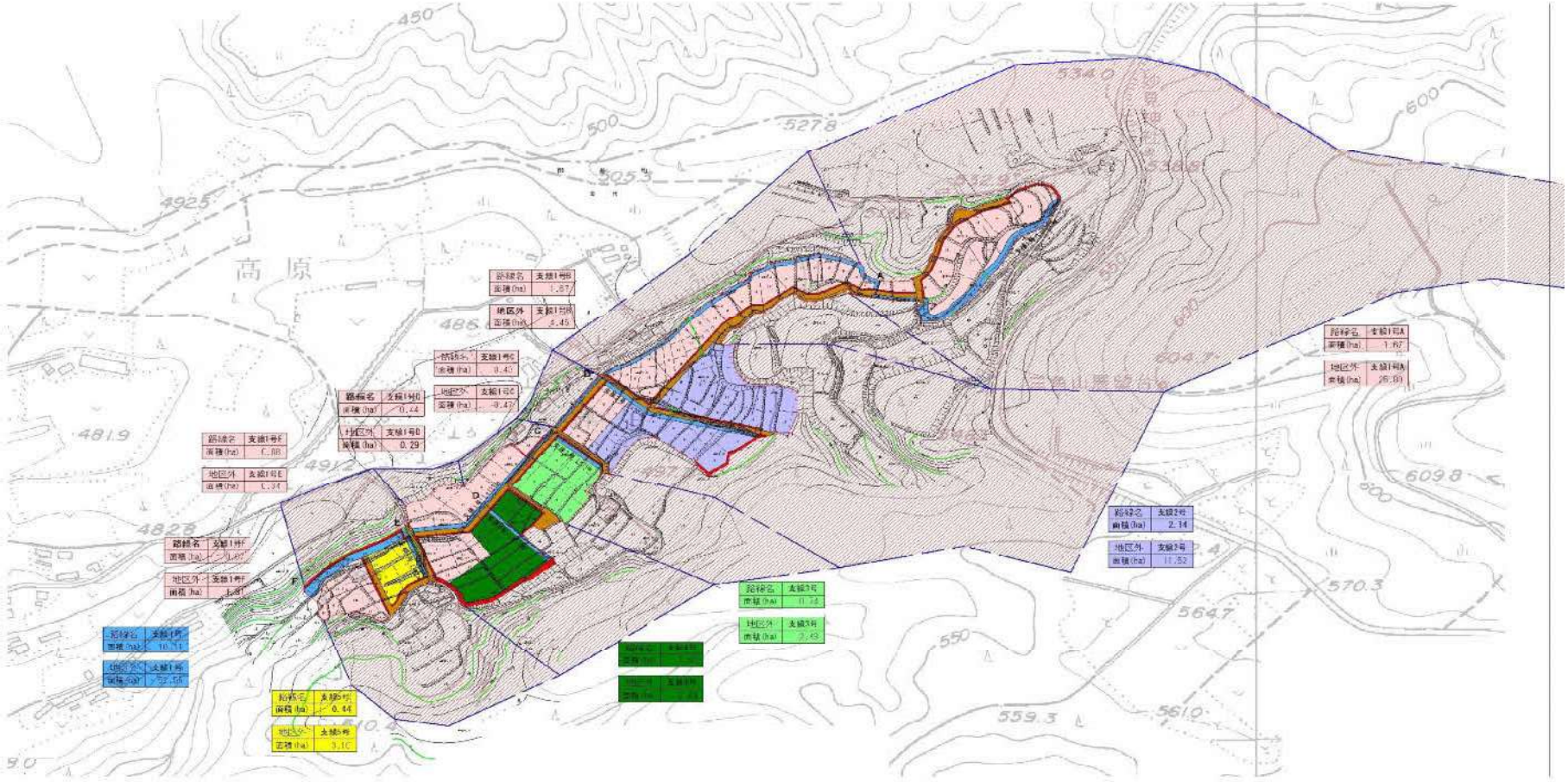
現況排水模式図　　樺 迫 工 区



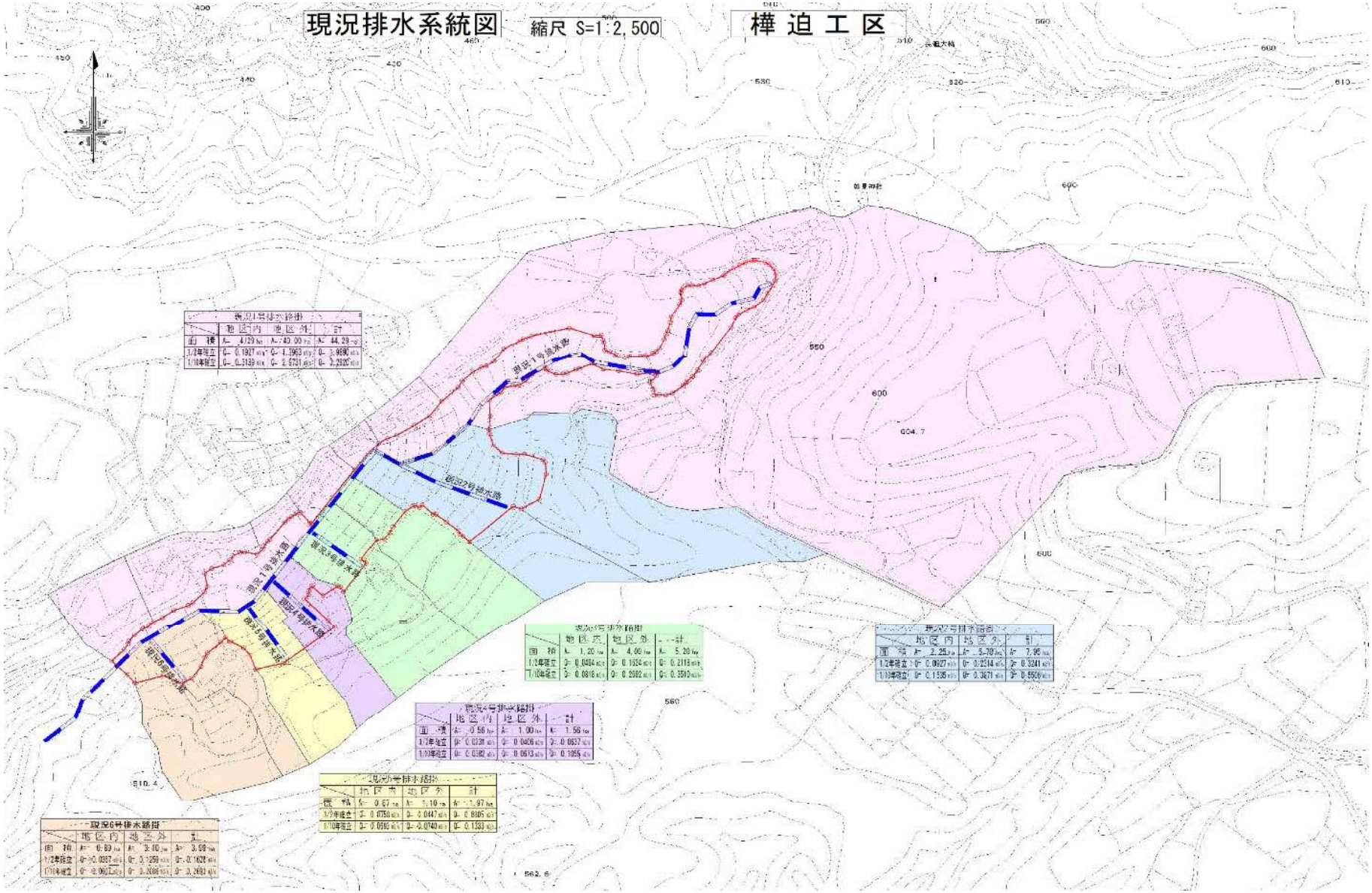
※現況１号排水路につては、時間雨量計算（到達時間計算）にて算出。

樺迫工区(当初)

現況排水系統図

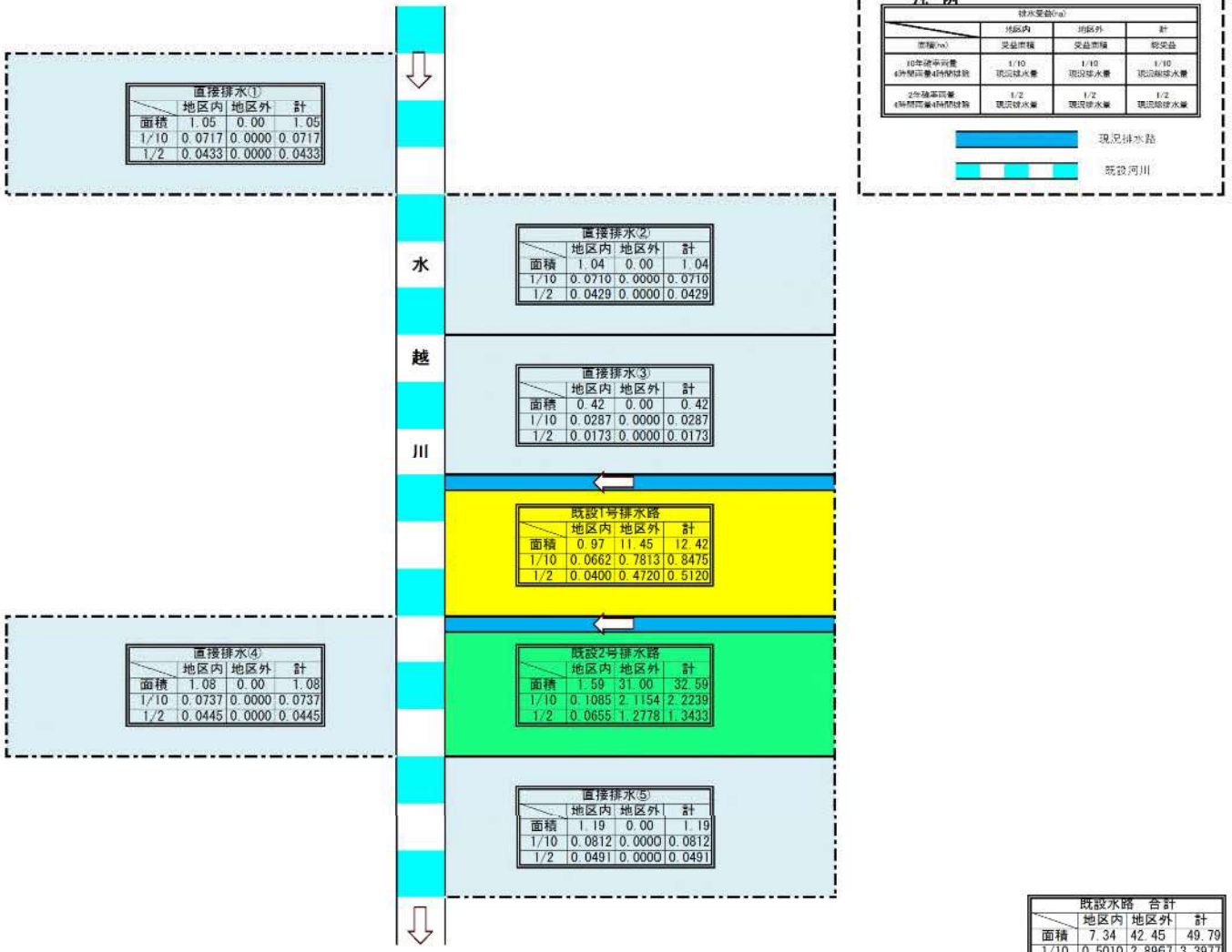


樺迫工区(変更)


現況排水系統図
縮尺 S=1:2,500
樺 迫 工 区
現況1号排水路
現況2号排水路
現況3号排水路
現況4号排水路
現況5号排水路
現況6号排水路

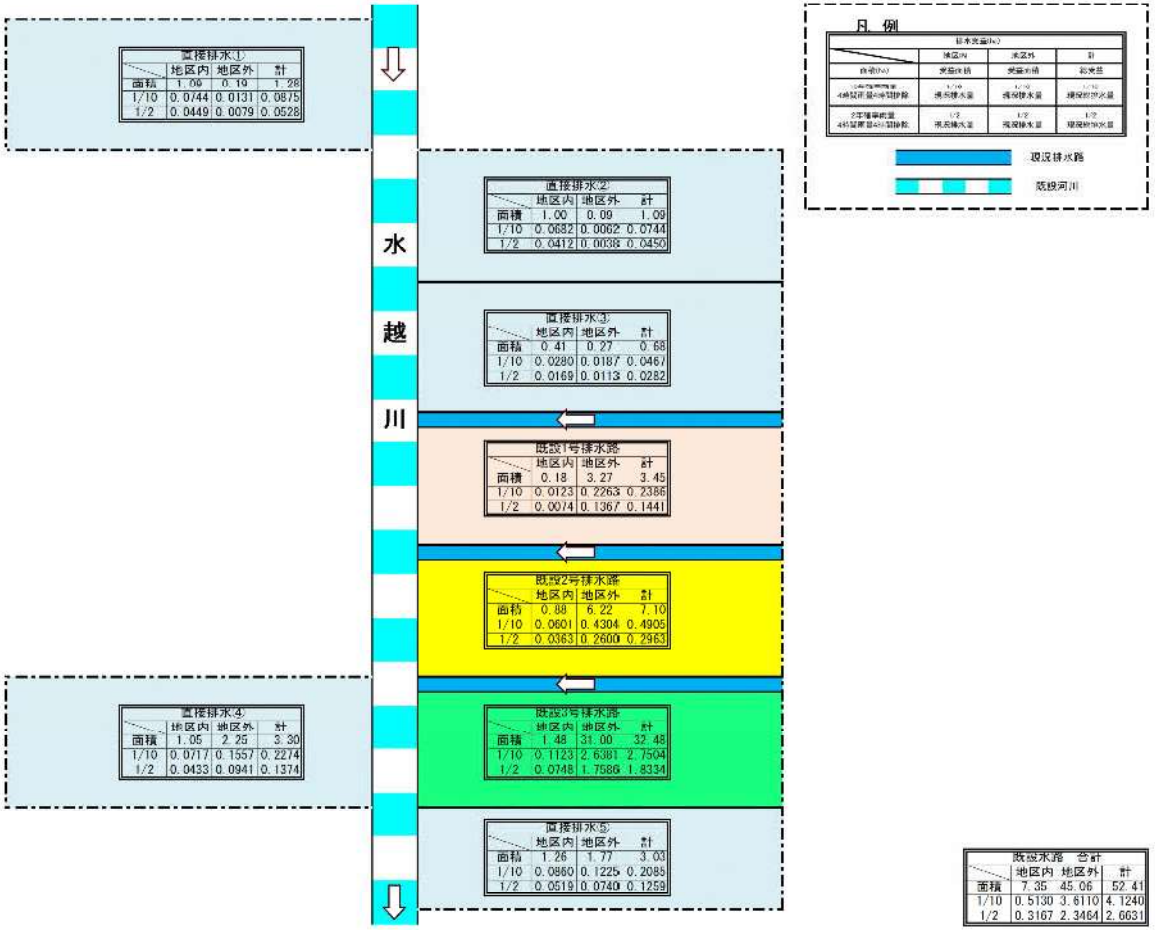
有水工区(当初)

現況排水模式図



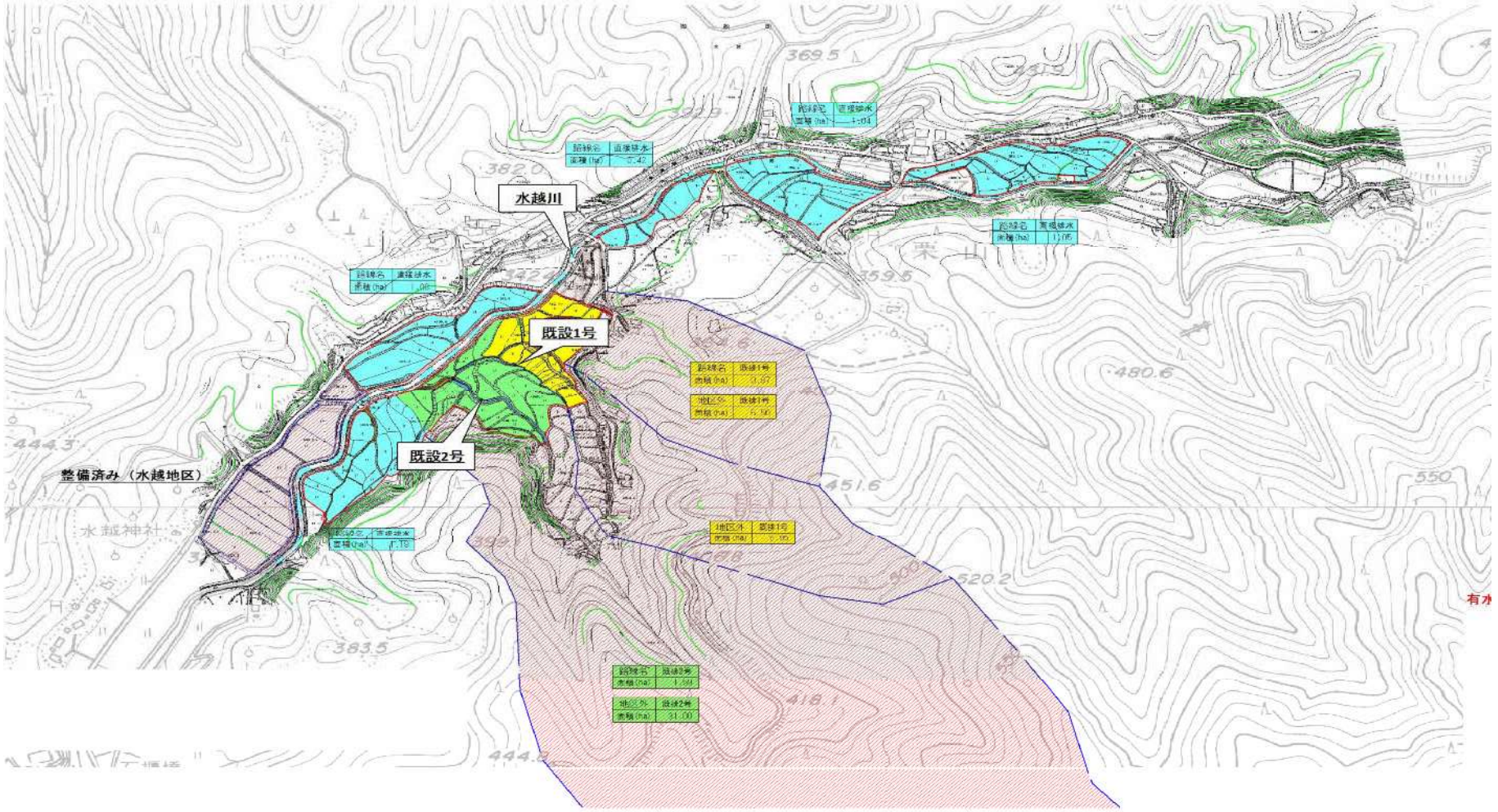
有水工区(変更)

現況排水模式図

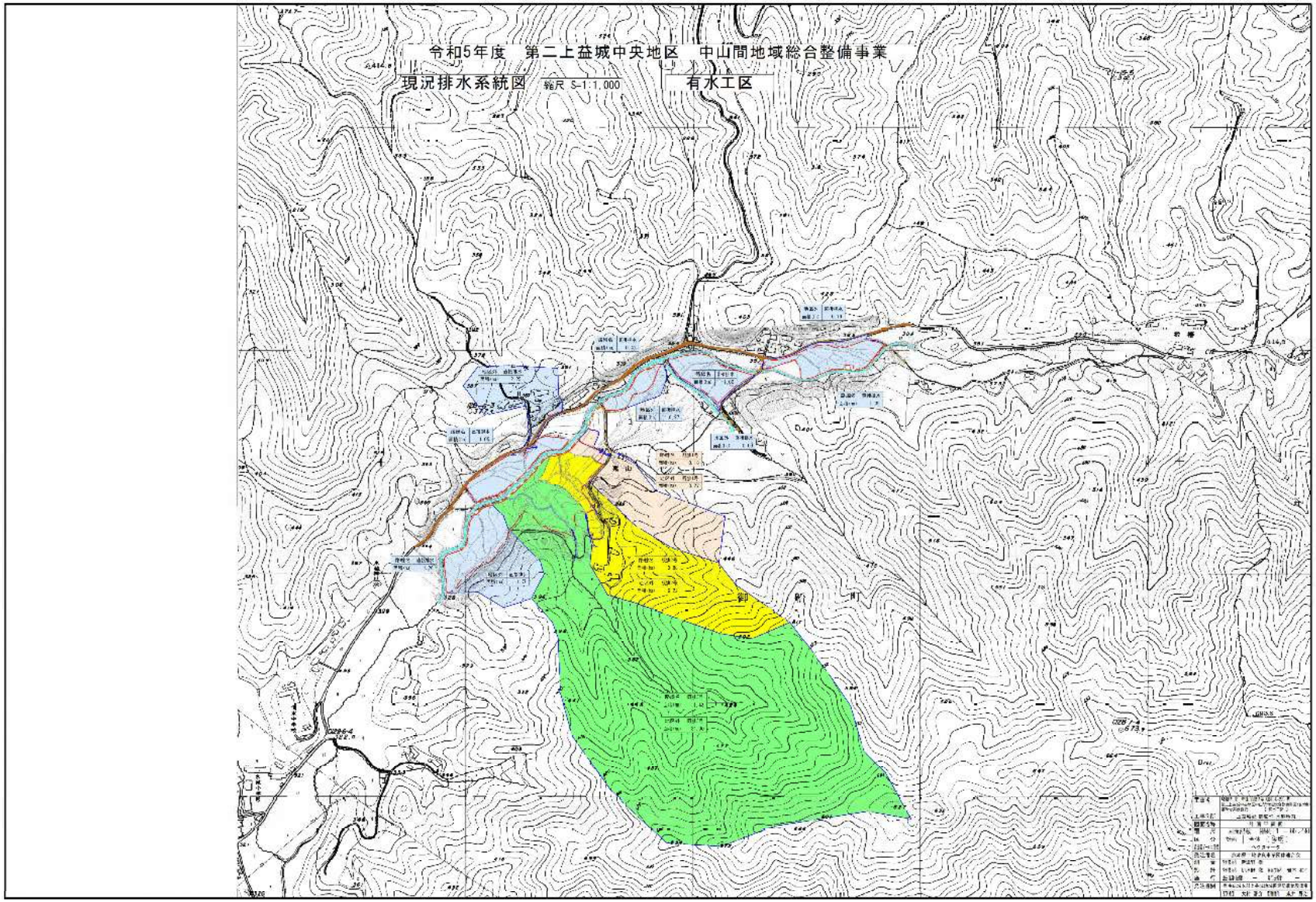


有水工区(当初)

現況排水系統図



有水工区(変更)



(2)排水施設

(ア)排水方法一覧表

(第5表－1)

施設 ＼ 項目		施設名又は(箇所数)	排水慣行 (m^3/s)	現況排水能力 (m^3/s)
自然	排水路	7 (7)	10.464 (11.398)	10.464 (11.398)
	排水樋門			
機械	排水機			
	その他			
計		7 (7)	10.464 (11.398)	10.464 (11.398)

(イ)改修を要する施設の一覧表

該当なし

(第5表－2)

施設 ＼ 項目		施設名又は(箇所数)	構造	規模 (m)	新設年又は更新年	改修を必要とする理由
自然	排水路	56 (56)	土水路 他 (土水路 他)	9,210 (9,210)	不明 (不明)	区画整理に伴う改修 (区画整理に伴う改修)
	排水樋門					
機械	排水機					
	その他					

第3節　道路状況

1. 道路概況

塔の本工区においては、工区の端部を県道221号 田代御船線(B=4.8m)と広域農道(B=7.5m)が隣接、堤の本工区は、工区の端部を町道八勢釜出線(B=4.5m)と整備された農道(B=5.0m)が隣接、樺迫工区は、周囲を町道津ヶ峰浅の藪線(B=2.8m)が隣接し、有水工区が工区の周囲を県道152号 稲生野甲佐線と水越川の河川管理用道路が隣接している状況である。

各工区とも現況道路については、そのほとんどが、幅員2.5m以下(狭小)がほとんどで離合は困難であり、道路密度に乏しく、農地と隣接していないため、農産物等の搬入搬出(輸送車種が制限され)及び農作業(農業機械の大型化が阻害)に支障をきたしている。

道路系統

(P9-3～P9-6)ページの現況道路図を参照

2. 改修を要する道路の一覧表

(第6表)

路線名	管理区分	延長(m)	幅員(m) 全幅	幅員(m) 有効幅	路面構造	改修を必要とする理由	備考
既道2	御船町	200	2.00	1.50	ｺﾝｸﾘｰﾄ舗装	要	塔の本工区
(既道2)	(御船町)	(200)	(2.00)	(1.50)	(ｺﾝｸﾘｰﾄ舗装)	(要)	(塔の本工区)
既道3	御船町	120	2.30	1.80	ｺﾝｸﾘｰﾄ舗装	要	塔の本工区
(既道3)	(御船町)	(100)	(2.30)	(1.80)	(ｺﾝｸﾘｰﾄ舗装)	(要)	(塔の本工区)
既道5	御船町	20	2.00	1.50	砂利舗装	要	塔の本工区
(既道5)	(御船町)	(30)	(2.00)	(1.50)	(砂利舗装)	(要)	(塔の本工区)
既道7	御船町	10	2.20	1.70	ｺﾝｸﾘｰﾄ舗装	要	塔の本工区
(既道7)	(御船町)	(30)	(2.20)	(1.70)	(ｺﾝｸﾘｰﾄ舗装)	(要)	(塔の本工区)
既道8	御船町	50	2.20	1.70	ｺﾝｸﾘｰﾄ舗装	要	塔の本工区
(既道8)	(御船町)	(40)	(2.20)	(1.70)	(ｺﾝｸﾘｰﾄ舗装)	(要)	(塔の本工区)
既道9	御船町	70	2.20	1.70	砂利舗装	要	塔の本工区
(既道9)	(御船町)	(80)	(2.20)	(1.70)	(砂利舗装)	(要)	(塔の本工区)

上記以外の地区内道路については既設道路を利用する。

2. 改修を要する道路の一覧表

（第6表）

路線名	管理区分	延長 (m)	幅員(m) 全幅	幅員(m) 有効幅	路面構造	改修を必要とする理由	備考
既道 10	御船町	110	2.30	1.80	ｺﾝｸﾘｰﾄ舗装	要	塔の本工区
(既道 10)	(御船町)	(140)	(2.30)	(1.80)	(ｺﾝｸﾘｰﾄ舗装)	(要)	(塔の本工区)
既道 11	御船町	180	1.80	1.30	砂利舗装	要	塔の本工区
(既道 11)	(御船町)	(140)	(1.80)	(1.30)	(砂利舗装)	(要)	(塔の本工区)
既道 12	御船町	70	2.00	1.50	砂利舗装	要	塔の本工区
(既道 12)	(御船町)	(120)	(2.00)	(1.50)	(砂利舗装)	(要)	(塔の本工区)
既道 13	御船町	370	2.00	1.50	ｺﾝｸﾘｰﾄ舗装	要	塔の本工区
(既道 13)	(御船町)	(340)	(2.00)	(1.50)	(ｺﾝｸﾘｰﾄ舗装)	(要)	(塔の本工区)
既道 14	御船町	60	1.20	0.80	砂利舗装	要	塔の本工区
(既道 14)	(御船町)	(60)	(1.20)	(0.80)	(砂利舗装)	(要)	(塔の本工区)
既道 15	御船町	100	1.90	1.40	砂利舗装	要	塔の本工区
(既道 15)	(御船町)	(100)	(1.90)	(1.40)	(砂利舗装)	(要)	(塔の本工区)
塔の本工区計		1,360 (1,380)					
既道 1	御船町	60	2.50	2.00	砂利舗装	要	堤の本工区
(既道 3)	(御船町)	(60)	(2.20)	(1.70)	(砂利舗装)	(要)	(堤の本工区)
既道 2	御船町	80	1.80	1.30	ｺﾝｸﾘｰﾄ舗装	要	堤の本工区
(既道 4)	(御船町)	(90)	(1.80)	(1.30)	(砂利舗装)	(要)	(堤の本工区)
既道 3	御船町	30	1.80	1.30	ｺﾝｸﾘｰﾄ舗装	要	堤の本工区
(既道 5)	(御船町)	(20)	(1.60)	(1.10)	(ｺﾝｸﾘｰﾄ舗装)	(要)	(堤の本工区)
既道 5	御船町	30	1.80	1.30	砂利舗装	要	堤の本工区
(―)	(―)	(―)	(―)	(―)	(―)	(―)	(―)
堤の本工区計		200 (170)					
既道 1	御船町	60	1.80	1.30	ｺﾝｸﾘｰﾄ舗装	要	樺迫工区
(既道 3)	(御船町)	(60)	(1.80)	(1.30)	(ｺﾝｸﾘｰﾄ舗装)	(要)	(樺迫工区)
既道 2	御船町	70	1.80	1.30	ｺﾝｸﾘｰﾄ舗装	要	樺迫工区
(既道 4)	(御船町)	(130)	(1.90)	(1.40)	(ｺﾝｸﾘｰﾄ舗装)	(要)	(樺迫工区)
既道 3	御船町	200	1.80	1.30	ｺﾝｸﾘｰﾄ舗装	要	樺迫工区
(既道 6)	(御船町)	(90)	(1.80)	(1.30)	(ｺﾝｸﾘｰﾄ舗装)	(要)	(樺迫工区)

上記以外の地区内道路については既設道路を利用する。

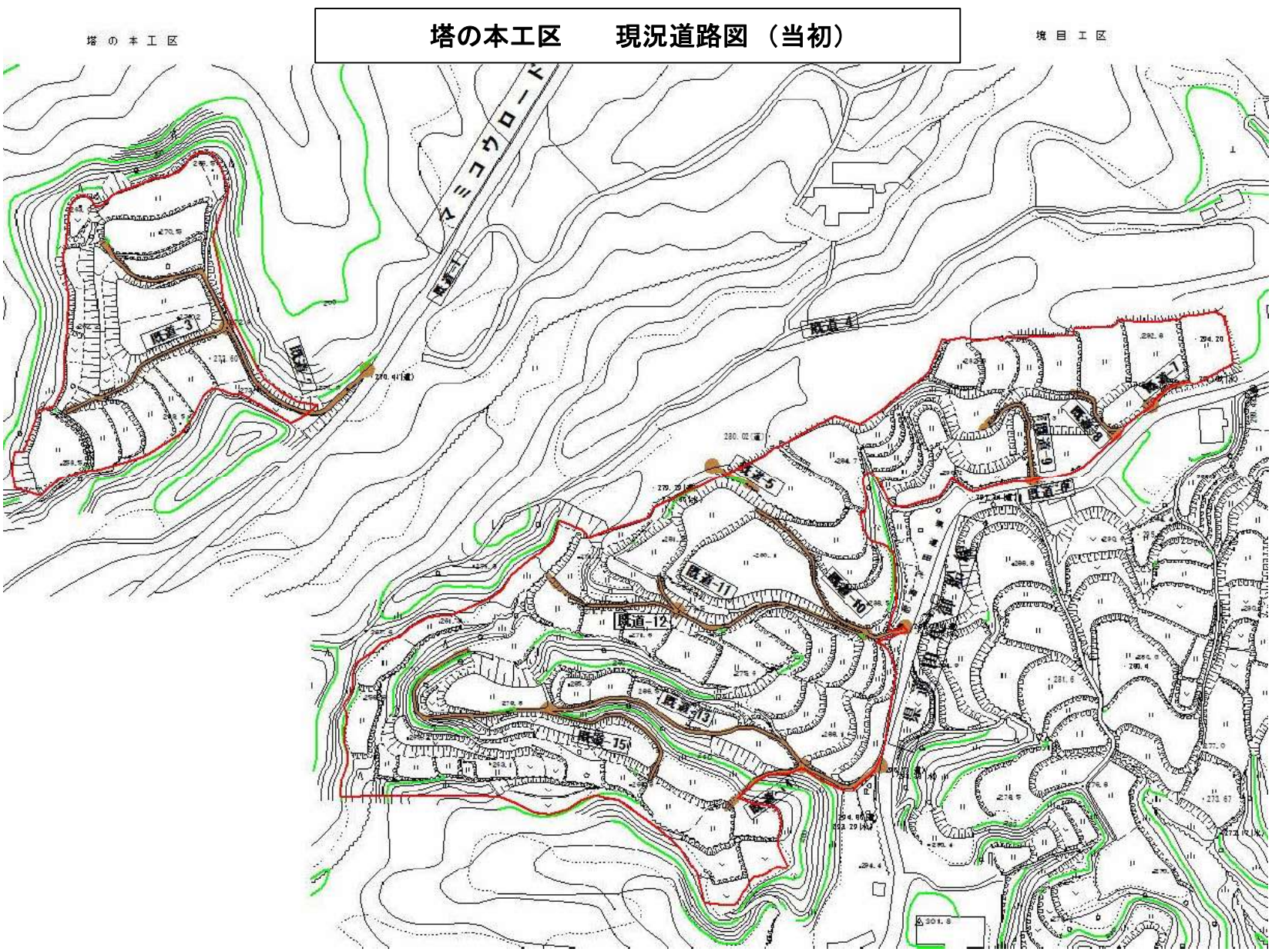
2. 改修を要する道路の一覧表

（第6表）

路線名	管理区分	延長 (m)	幅員(m) 全幅	幅員(m) 有効幅	路面構造	改修を必要とする理由	備考
既道 4	御船町	250	2.00	1.50	ｺﾝｸﾘｰﾄ舗装	要	樺迫工区
(既道 8)	(御船町)	(210)	(1.80)	(1.30)	(ｺﾝｸﾘｰﾄ舗装)	(要)	(樺迫工区)
既道 5	御船町	90	2.10	1.60	ｺﾝｸﾘｰﾄ舗装	要	樺迫工区
(既道 9)	(御船町)	(270)	(2.00)	(1.50)	(ｺﾝｸﾘｰﾄ舗装)	(要)	(樺迫工区)
既道 11	御船町	80	2.50	2.00	ｺﾝｸﾘｰﾄ舗装	要	樺迫工区
(既道 10)	(御船町)	(150)	(2.10)	(1.60)	(ｺﾝｸﾘｰﾄ舗装)	(要)	(樺迫工区)
樺迫工区計		750 (910)					
既道 1	御船町	200	2.00	1.50	ｺﾝｸﾘｰﾄ舗装	要	有水工区
(既道 2)	(御船町)	(95)	(2.00)	(1.50)	(ｺﾝｸﾘｰﾄ舗装)	(要)	(有水工区)
既道 2	御船町	150	1.50	1.50	ｺﾝｸﾘｰﾄ舗装	要	有水工区
(既道 5)	(御船町)	(150)	(3.00)	(2.50)	(砂利舗装)	(要)	(有水工区)
既道 3	御船町	50	2.00	1.50	ｺﾝｸﾘｰﾄ舗装	要	有水工区
(既道 6)	(御船町)	(140)	(2.20)	(1.70)	(ｺﾝｸﾘｰﾄ舗装)	(要)	(有水工区)
既道 4	御船町	30	2.80	2.30	ｺﾝｸﾘｰﾄ舗装	要	有水工区
(既道 7)	(御船町)	(50)	(2.50)	(2.00)	(ｺﾝｸﾘｰﾄ舗装)	(要)	(有水工区)
―	―	―	―	―	―	―	―
(既道 9)	(御船町)	(210)	(2.00)	(1.50)	(ｺﾝｸﾘｰﾄ舗装)	(要)	(有水工区)
―	―	―	―	―	―	―	―
(既道 10)	(御船町)	(100)	(2.00)	(1.50)	(ｺﾝｸﾘｰﾄ舗装)	(要)	(有水工区)
―	―	―	―	―	―	―	―
(既道 11)	(御船町)	(160)	(1.60)	(1.10)	(ｺﾝｸﾘｰﾄ舗装)	(要)	(有水工区)
―	―	―	―	―	―	―	―
(既道 12)	(御船町)	(380)	(3.50)	(3.00)	(砂利舗装)	(要)	(有水工区)
―	―	―	―	―	―	―	―
(既道 14)	(御船町)	(280)	(2.80)	(2.30)	(ｺﾝｸﾘｰﾄ舗装)	(要)	(有水工区)
有水工区計		430 (1,565)					
第二上益城中央地区計		2,740 (4,025)					

上記以外の地区内道路については既設道路を利用する。

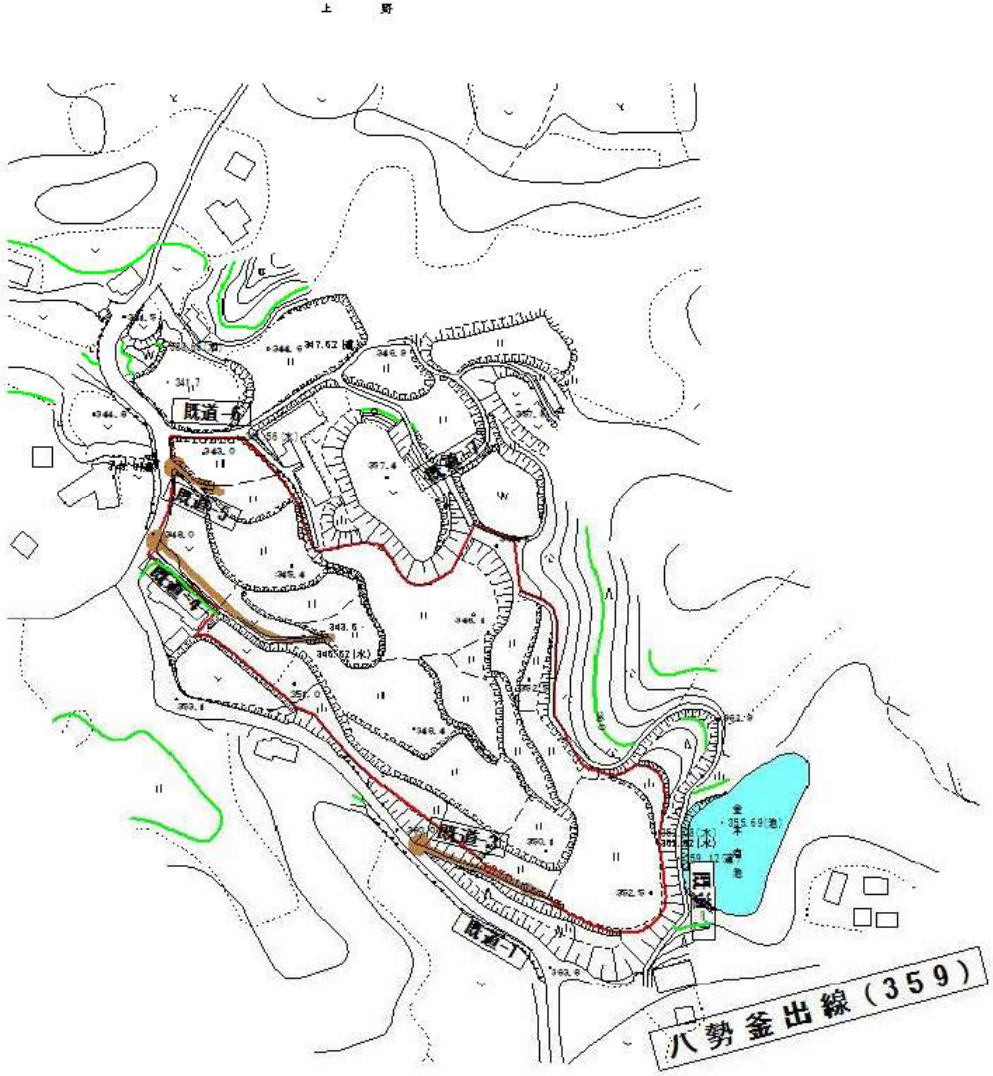
塔の本工区　　現況道路図（当初）



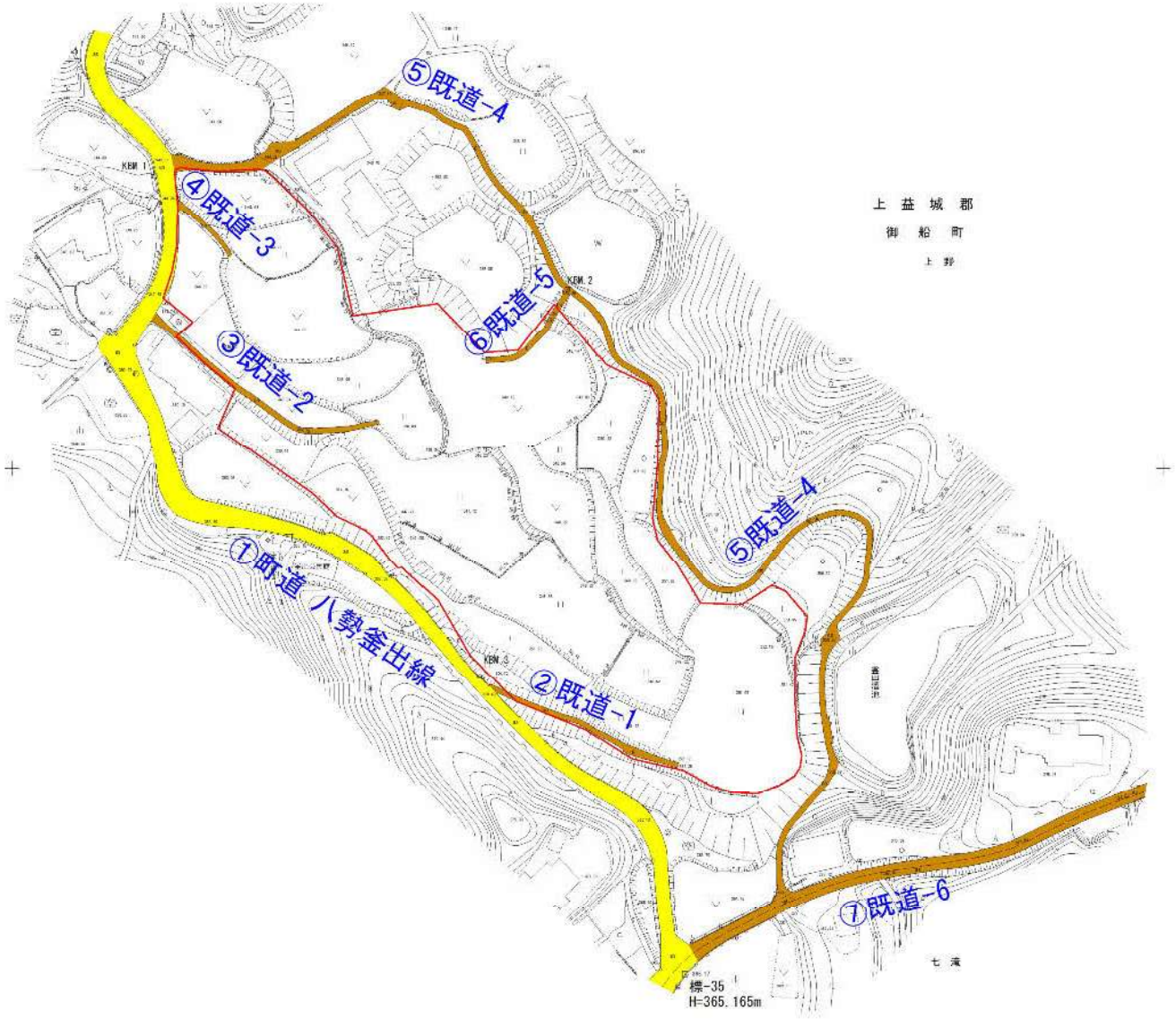
塔の本工区　　現況道路図（変更）



堤の本工区　　現況道路図（当初）



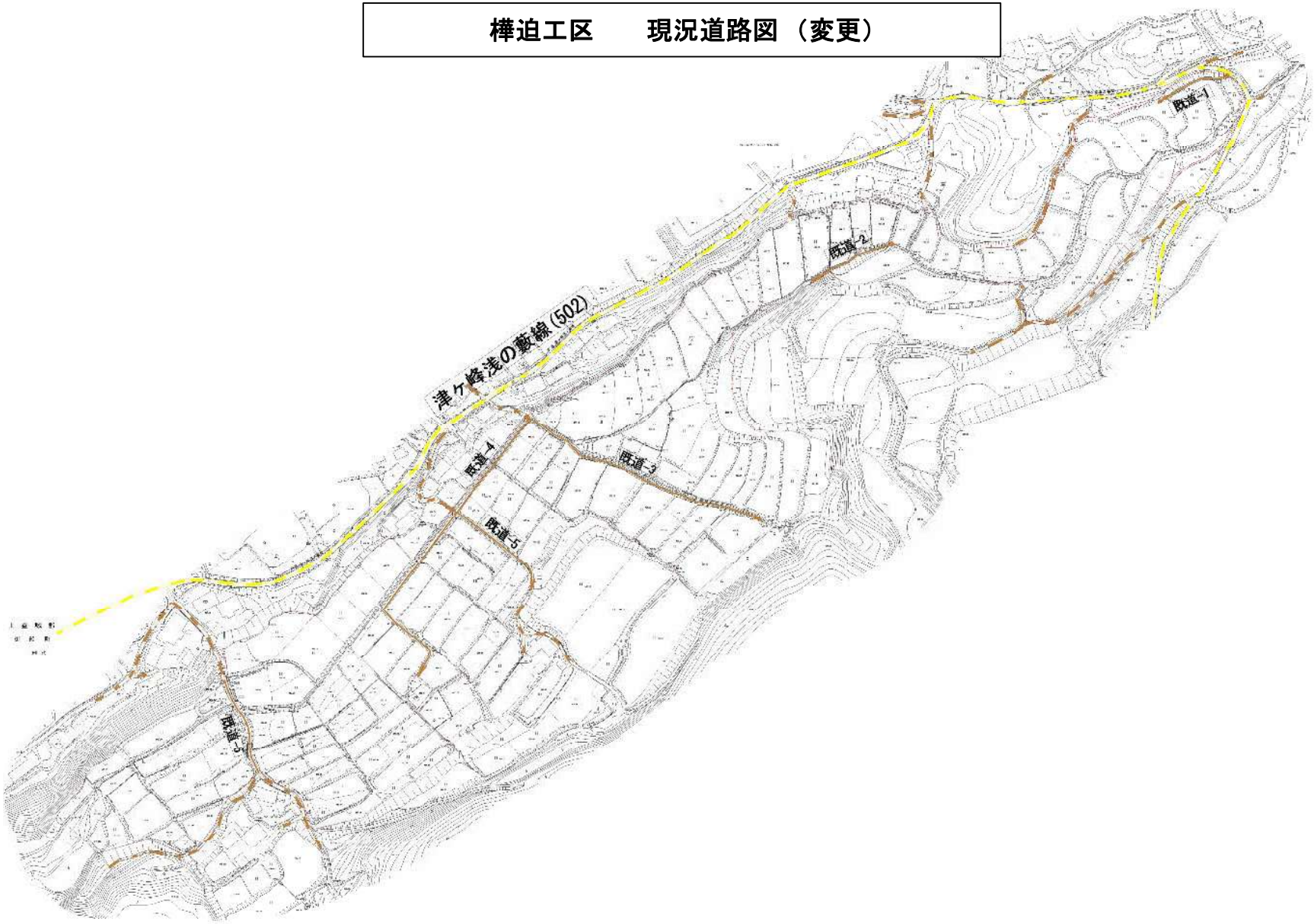
堤の本工区　　現況道路図（変更）



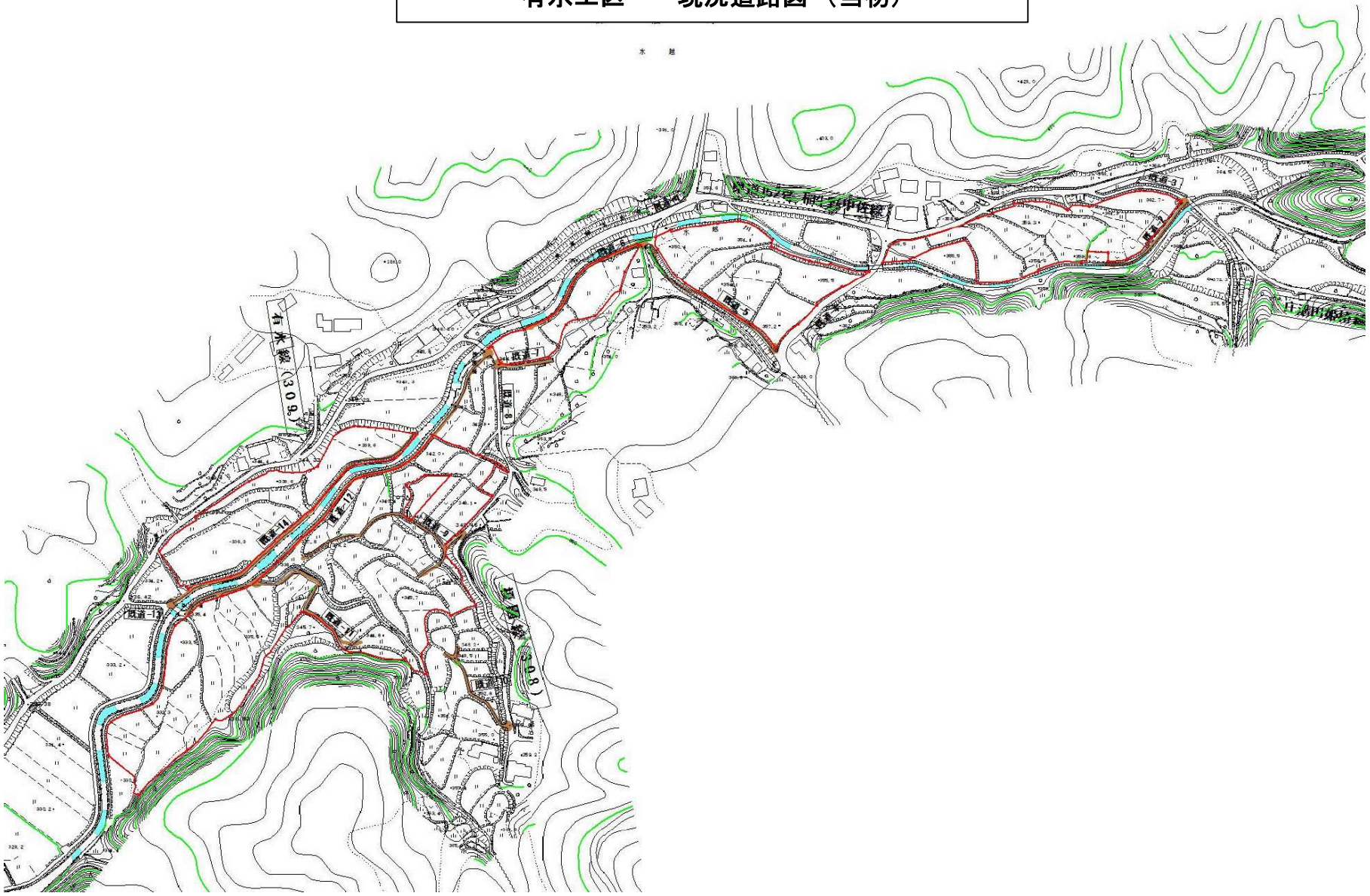
樺迫工区　　現況道路図（当初）



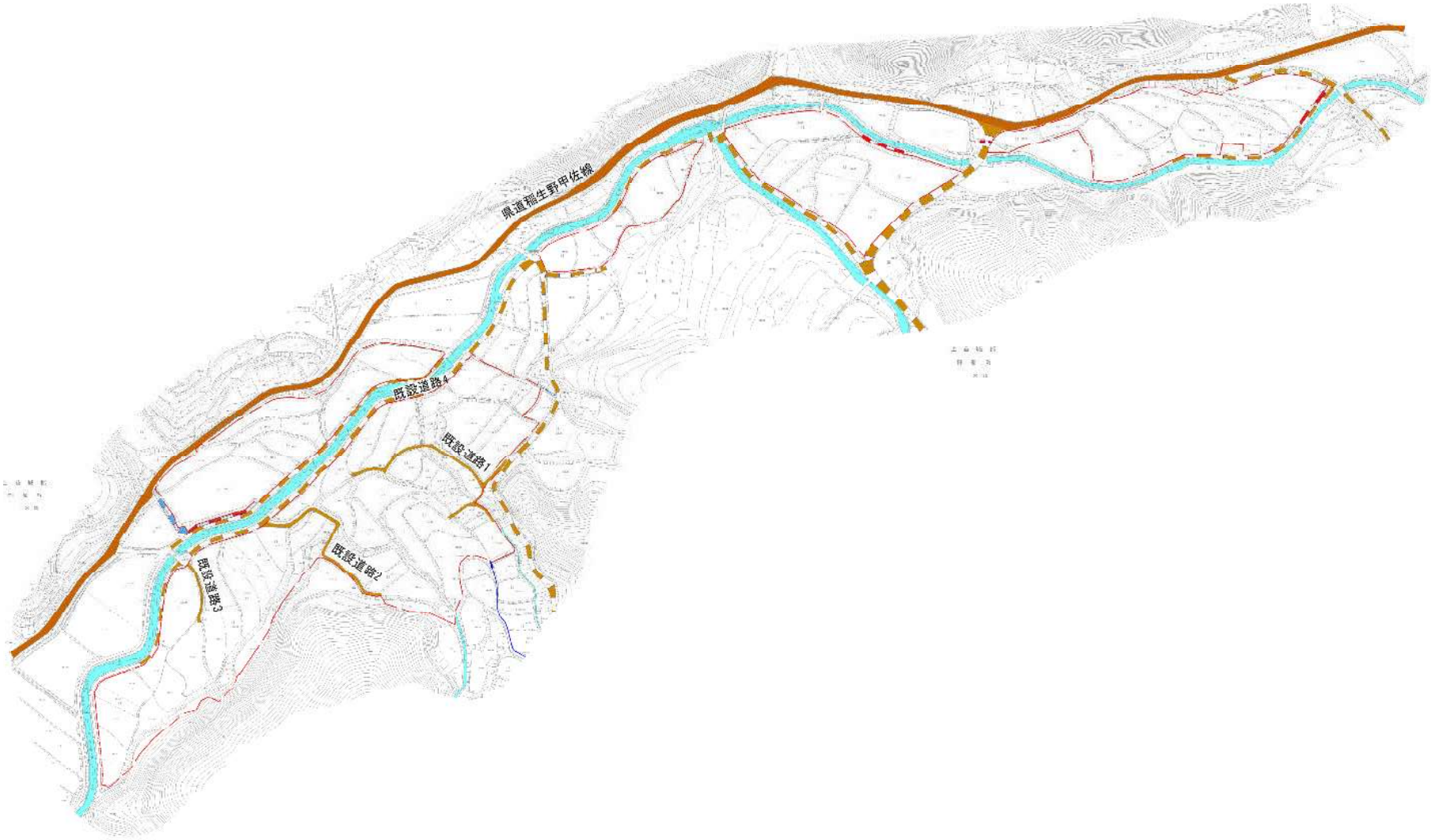
樺迫工区　　現況道路図（変更）



有水工区　　現況道路図（当初）



有水工区　　現況道路図（変更）



第4節　地域農業の状況

①担い手

農業従事者：意向調査の回答者を確認すると、大半は60歳以上となっており、高齢化が進行している。

農業後継者：意向調査で「後継者有り」と明確に回答があったのは約30％となっており、地区内にある程度の後継者は存在するものの、後継者がいない農家が大半を占めている。

②農業機械

農業機械：依然として、農業経営をしている各農家が機械を所有し過剰投資になっている。

③農産物や経営規模

農産物：水稲の作付けが中心であり、裏作の作付けがほとんど行なわれていない。また、農業従事者の減少や高齢化の進行に伴い、地区の周辺地域では、耕作放棄地の拡大が進んでいる。

経営規模：熊本県が示している「農業経営基盤の強化の促進に関する基本的な構想」と比較して、経営規模は小規模。

④農地

基盤整備：ほ場は小区画のままで、道路に隣接していない農地も多く、農産物や生産資材等の搬入搬出に支障を来たしている。また、水路は用排兼用水路となっており、地下水の低下が図られていない状況である。

第5節　地域環境の状況

（１）自然環境

本町の中山間地域の大部分は、スギ・ヒノキ植林で覆われており、一部ヤブツバキクラス域代償植林であるコナラ群落やシイ・カシ萌芽林、及びヤブツバキクラス域自然植生であるイスノキーウラジロガシ群集がパッチ状に分布している。　巨樹・巨木については奥深い里山に根を下ろしている幹回り8.6ｍで全国4位の町指定天然記念物「田代長生イチイ「木倉のクスノキ」などがある。

（２）社会環境

本町の人口は平成12年をピークに減少傾向にあり、また本町における労働生産人口も減少している。

第１次産業の就業人口についても同様に減少しており、平成２年には老年人口が年少人口を上回るなど、少子高齢化が顕著に進んでいる。このため、今後の農業生産活動の持続が懸念されている。

（３）生産環境

本町は兼業・高齢農家が多く、経営面積が小規模な農家も多く、水稲を主とした複合経営となっている。しかしながら、農地の基盤条件の不利な地域にあっては、小規模農家による戸別経営では生産活動が継続的にできずに、農地の荒廃を招き、農村社会の維持も懸念される状況である。

（４）文献調査により抽出された生物又は景観等

自然の生態系ではマツバラン（シダ植物）、アリアケギバチ（淡水魚）、スナヤツメ（淡水魚）、シルビアシジミ（昆虫類）が希少動植物の中で絶滅危惧種として指定されている。

文化財・史跡では八勢眼鏡橋、下鶴橋、東禅寺の木造釈迦三尊像・開山塔、秋只の四方仏塔、松の生の石塔、御船層群上層部の化石包蔵地がある。

第4章　一　般　計　画

第1節　事業計画の要旨

本事業は、農用地の効率的土地利用と労働・生産性の高い生産基盤を形成するため区画整理29.7haを施工し、農地の汎用化や生産性の向上を促進するとともに、農地集積による担い手農家の経営規模の拡大や経営の合理化を図り、地域農業の発展と活性化を推進することを目的とする。

第2節　営農計画

営農計画の概要

（基盤整備）

条件不利地である中山間地域の農地の効率的な土地利用と労働生産性の高い生産基盤を形成するため、中山間地域総合整備事業による区画整理を施行し、収益生の高い作物の導入や担い手を確保し、地域農業の持続的な発展を図る。

（農地集積）

塔の本工区・堤の本工区・樺迫工区・有水工区で作成している、人・農地プランに位置付けされている、中心経営体に集積を行うことで、効率的な経営・経営規模の拡大を行う。

（担い手）

後継者や新たな担い手を支援するため、県やＪＡ及び関係機関と連携し育成を図る。具体的には、青年就農給付金等の制度事業の活用や情報の提供、各ほ場を巡回しての営農指導を実施し、フォローアップに努める。

（作付計画）

用排分離による作業効率の向上、地下水低下に伴う水田の汎用化による裏作（キャベツ・ピーマン・トマト等）の導入など、土地利用率の向上を図る。

第3節　用水計画

1．計画かんがい期間及び方式

108日　(6/25～10/10)　　(P14-1～P14-8)ページの計画用水系統図を参照

かんがい日数　(　108日　(6/25～10/10)　)

かんがい方式　輪換田　湛水灌漑　方式
(輪換田　湛水灌漑　方式　)
輪換畑・畑　うね間灌漑　方式
(　輪換畑・畑　うね間灌漑　方式　)

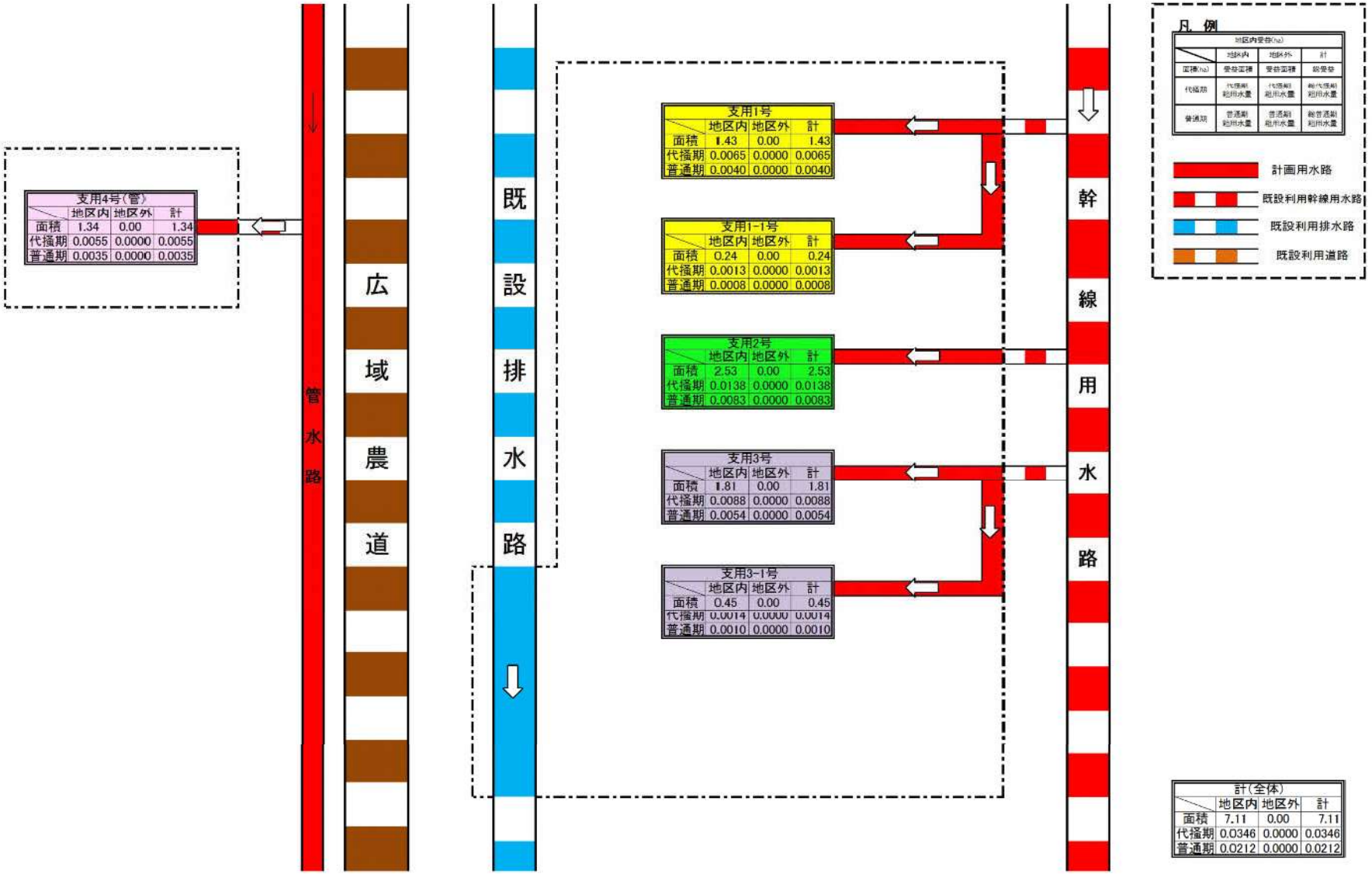
2．計画用水量

(第7表－1)

項目 / 系統名	水田かんがい			水田畑利用			畑地かんがい			その他		消費水量	損失率	粗用水量	
	普通期	代かき期	面積	一日当たり計画平均かん水深	平均間断日数	面積	一日当たり計画平均かん水深	平均間断日数	面積	計画平均単位用水量	面積			平均	最大
	計画平均単位用水量 (mm/日)	計画代かき単位用水量 (mm)	(ha)	(mm/日)	(日)	(ha)	(mm/日)	(日)	(ha)	(mm/日)	(ha)	(m^3/s)	(%)	(m^3/s)	(m^3/s)
塔の本工区	28.7	120	3.49	4	5	1.75	4	5	0.50			0.0144	15	0.0176	0.0289
幹線水路掛り	(28.7)	(120)	(6.23)	(4)	(5)	(2.57)	(4)	(5)	(0.88)			(0.0427)	(15)	(0.0302)	(0.0518)
堤の本工区	26.6	120	0.67	4	5	0.27	4	5	0.45			0.0026	15	0.0033	0.0070
ため池掛り	(26.6)	(120)	(1.15)	(4)	(5)	(0.34)	(4)	(5)	(0.11)			(0.0098)	(15)	(0.0051)	(0.0116)
樺迫工区	35.4	120	4.69	4	5	1.19	4	5	0.25			0.0185	15	0.0227	0.0427
渓流掛り	(35.4)	(120)	(2.23)	(4)	(5)	(1.74)	(4)	(5)	(0.06)			(0.0203)	(15)	(0.0103)	(0.0243)
樺迫工区	35.4	120	2.02	4	5	1.02	4	5	－			0.0103	15	0.0124	0.0215
湧水掛り	(35.4)	(120)	(3.15)	(4)	(5)	(1.58)	(4)	(5)	(0.42)			(0.0215)	(15)	(0.0103)	(0.0260)
			6.71			2.21			0.25			0.0288		0.0351	0.0642
樺迫工区計			(5.38)			(3.32)			(0.48)			(0.0418)		(0.0205)	(0.0503)
有水工区	28.2	120	2.63	4	5	0.88	4	5	0.05			0.0086	15	0.0104	0.0193
河川掛り	(28.2)	(120)	(1.39)	(4)	(5)	(0.70)	(4)	(5)	(0.03)			(0.0095)	(15)	(0.0067)	(0.0114)
有水工区	28.2	120	2.42	4	5	0.95	4	5				0.0084	15	0.0102	0.0181
渓流掛り	(28.2)	(120)	(3.97)	(4)	(5)	(1.99)	(4)	(5)				(0.0271)	(15)	(0.0190)	(0.0323)
			5.05			1.83			0.05			0.0170		0.0206	0.0374
有水工区計			(5.36)			(2.69)			(0.03)			(0.0366)		(0.0257)	(0.0437)
			15.92			6.06			1.25			0.0628		0.0766	0.1375
総計			(18.12)			(8.92)			(1.50)			(0.1308)		(0.0815)	(0.1574)

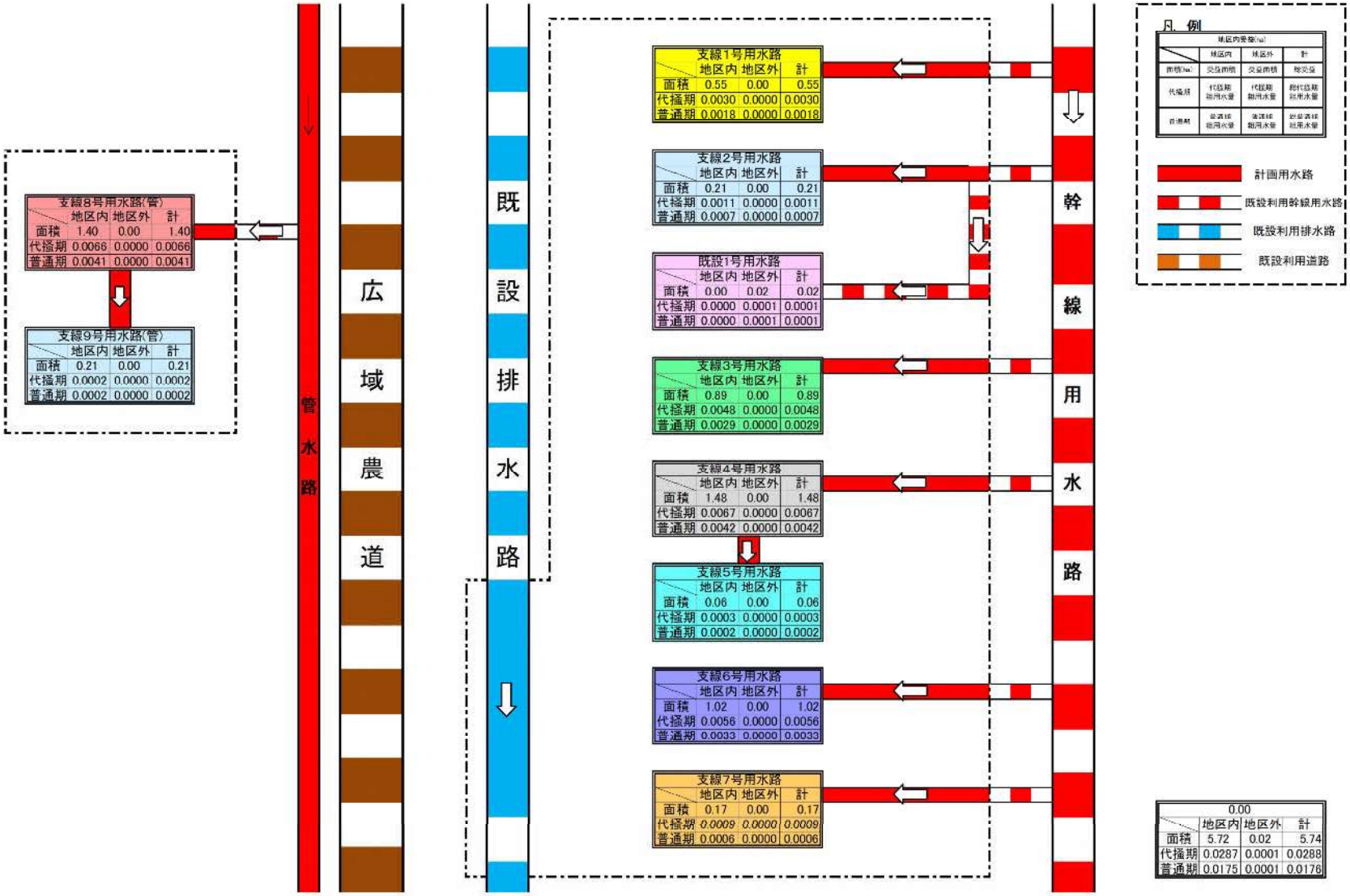
塔の本工区（当初）

計画用水模式図



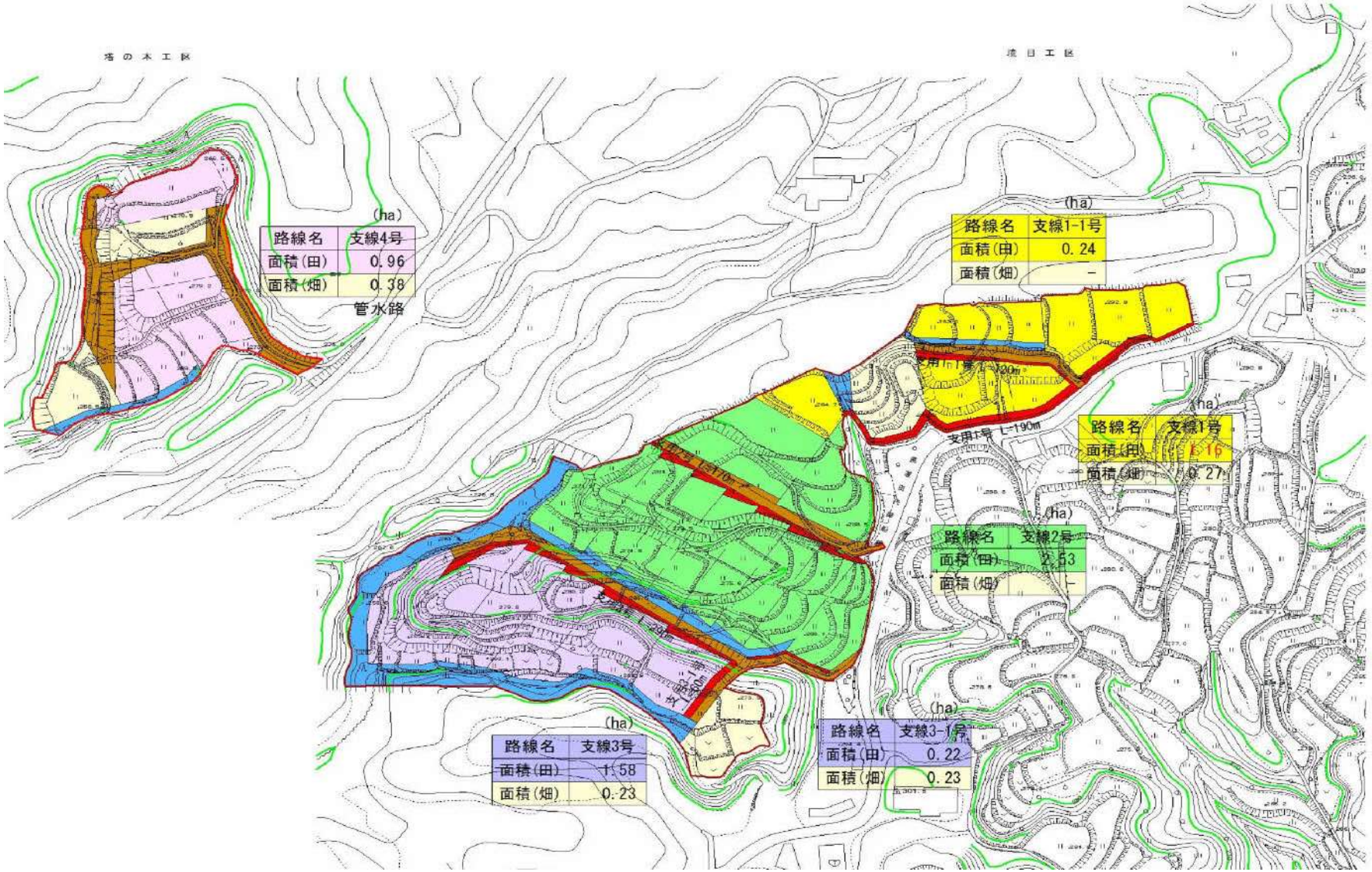
塔の本工区（変更）

計画用水模式図

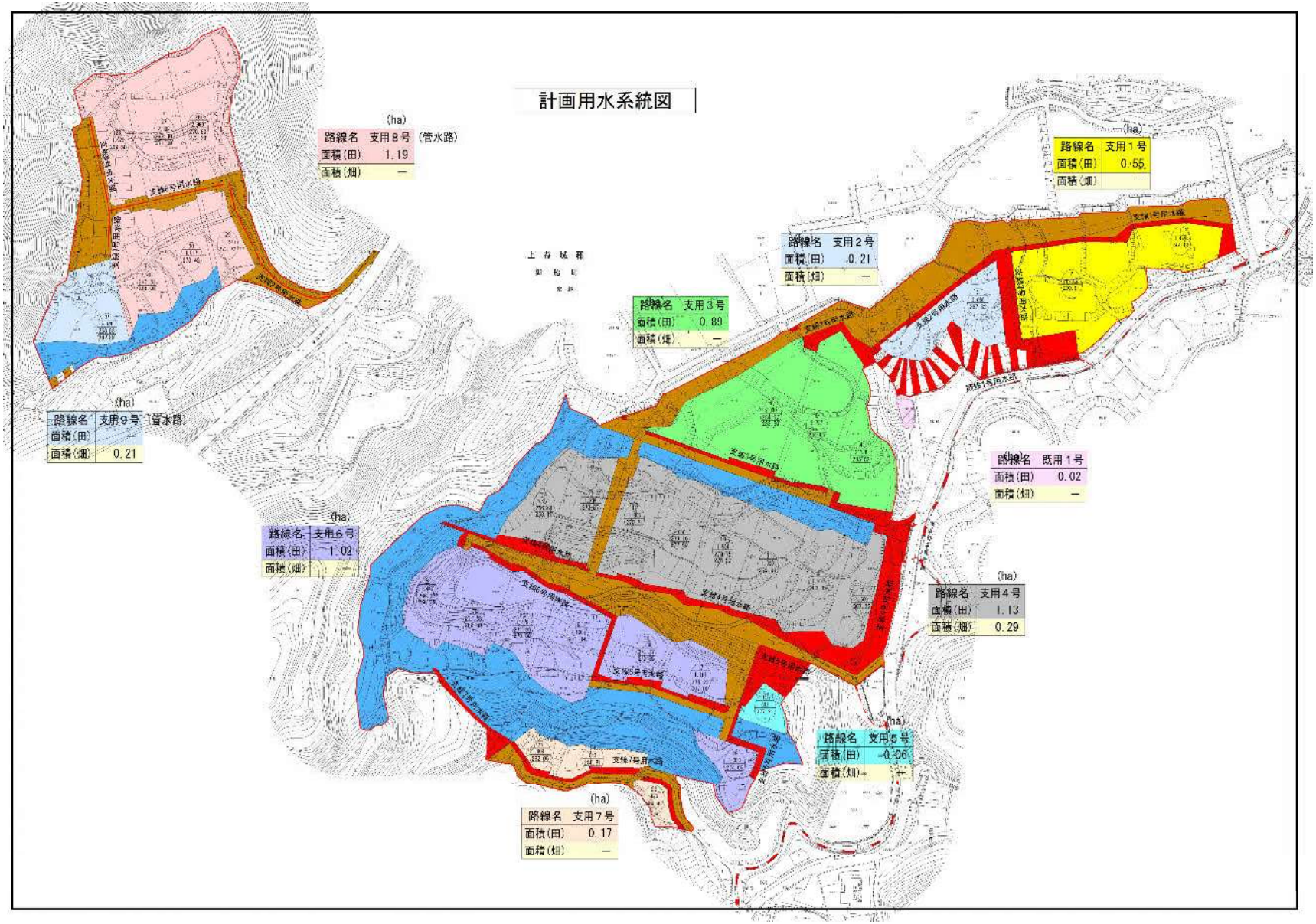


塔の本工区（当初）

計画用水系統図

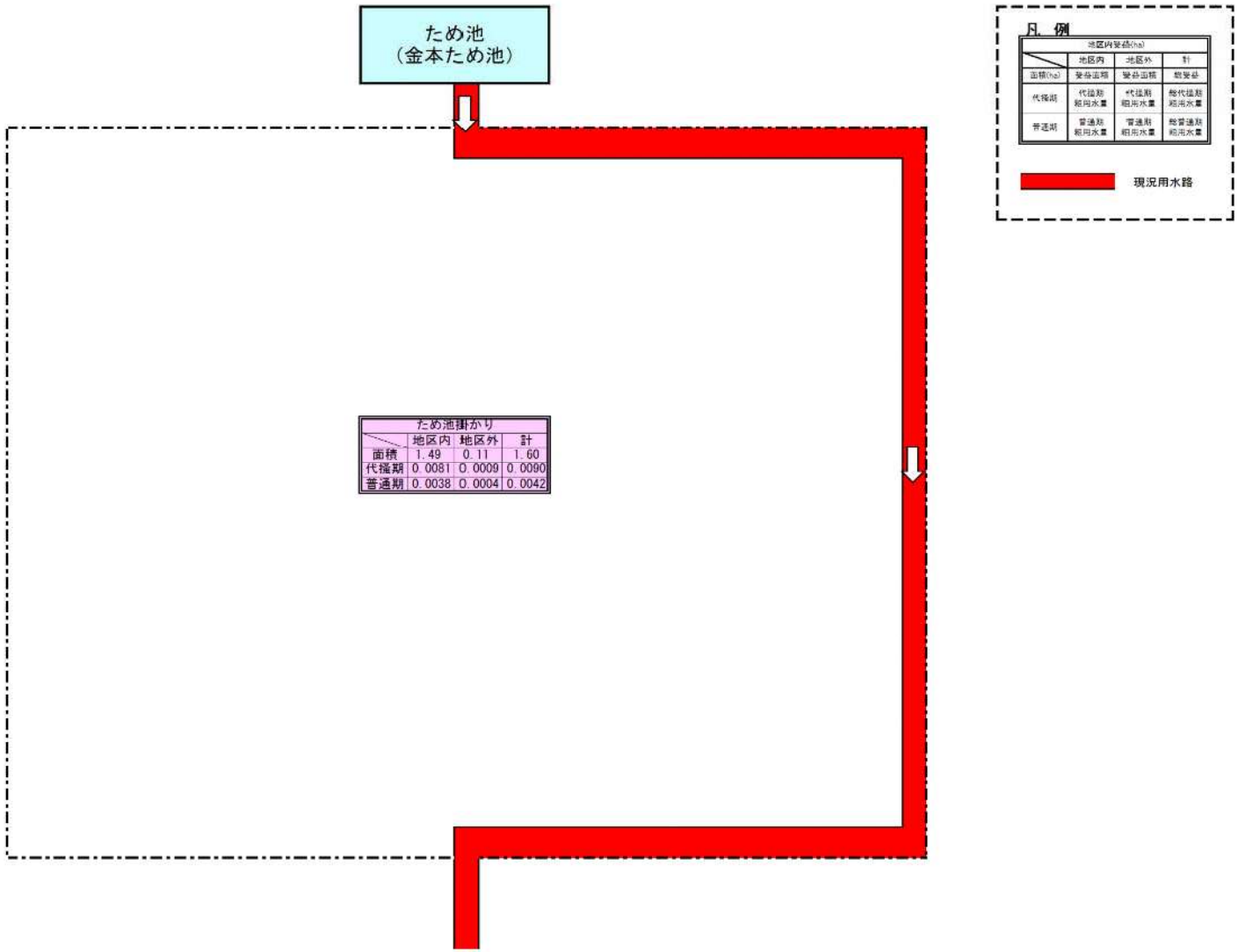


塔の本工区（変更）


計画用水系統図
(ha)
路線名 支用８号 (管水路)
面積(田) 1.19
面積(畑) —
(ha)
路線名 支用９号 (管水路)
面積(田) —
面積(畑) 0.21
(ha)
路線名 支用６号
面積(田) 1.02
面積(畑) —
(ha)
路線名 支用７号
面積(田) 0.17
面積(畑) —
(ha)
路線名 支用３号
面積(田) 0.89
面積(畑) —
(ha)
路線名 支用２号
面積(田) 0.21
面積(畑) —
(ha)
路線名 支用１号
面積(田) 0.55
面積(畑)
(ha)
路線名 既用１号
面積(田) 0.02
面積(畑) —
(ha)
路線名 支用４号
面積(田) 1.13
面積(畑) 0.29
(ha)
路線名 支用５号
面積(田) -0.06
面積(畑) —

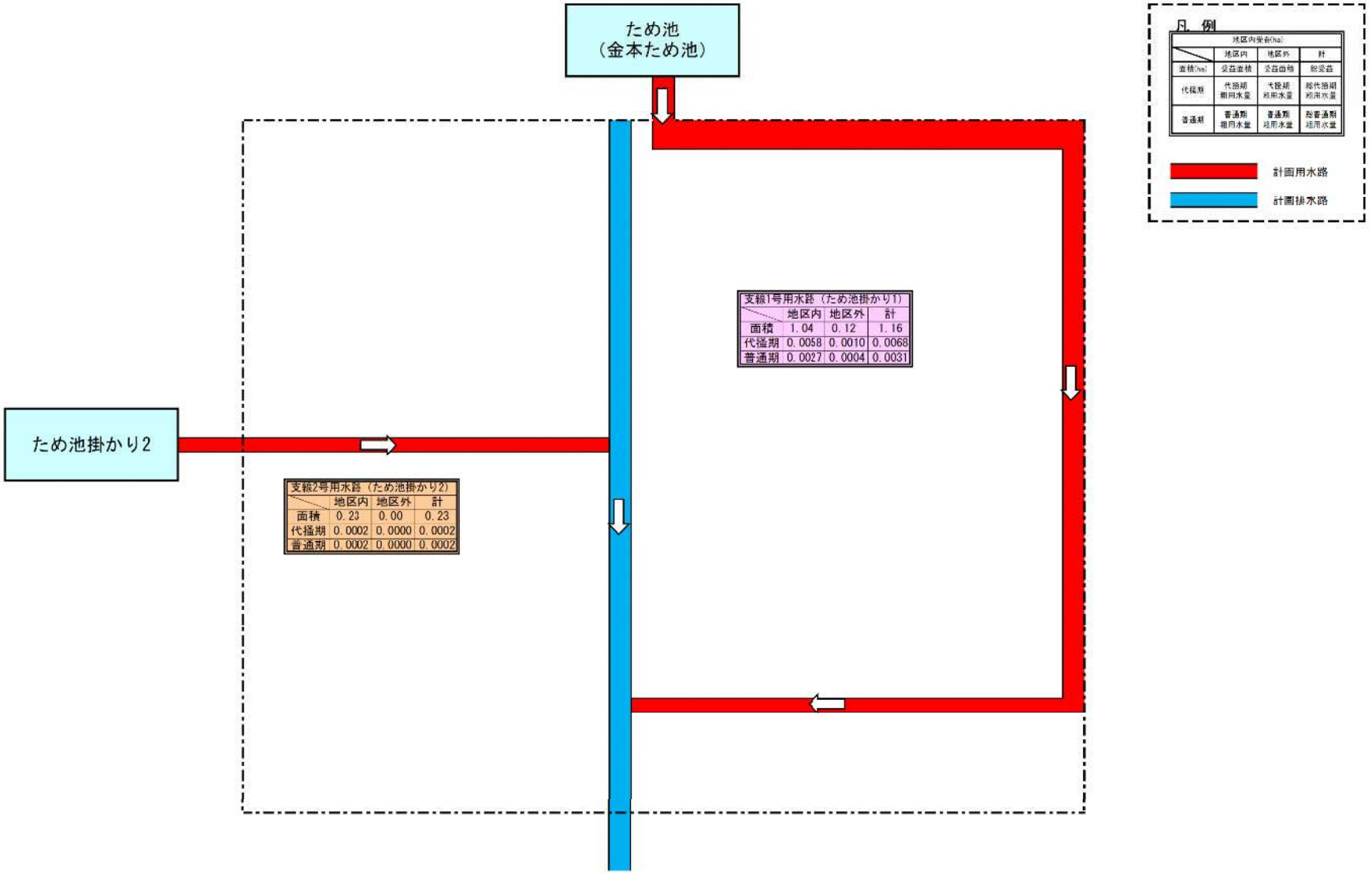
堤の本工区（当初）

計画用水模式図



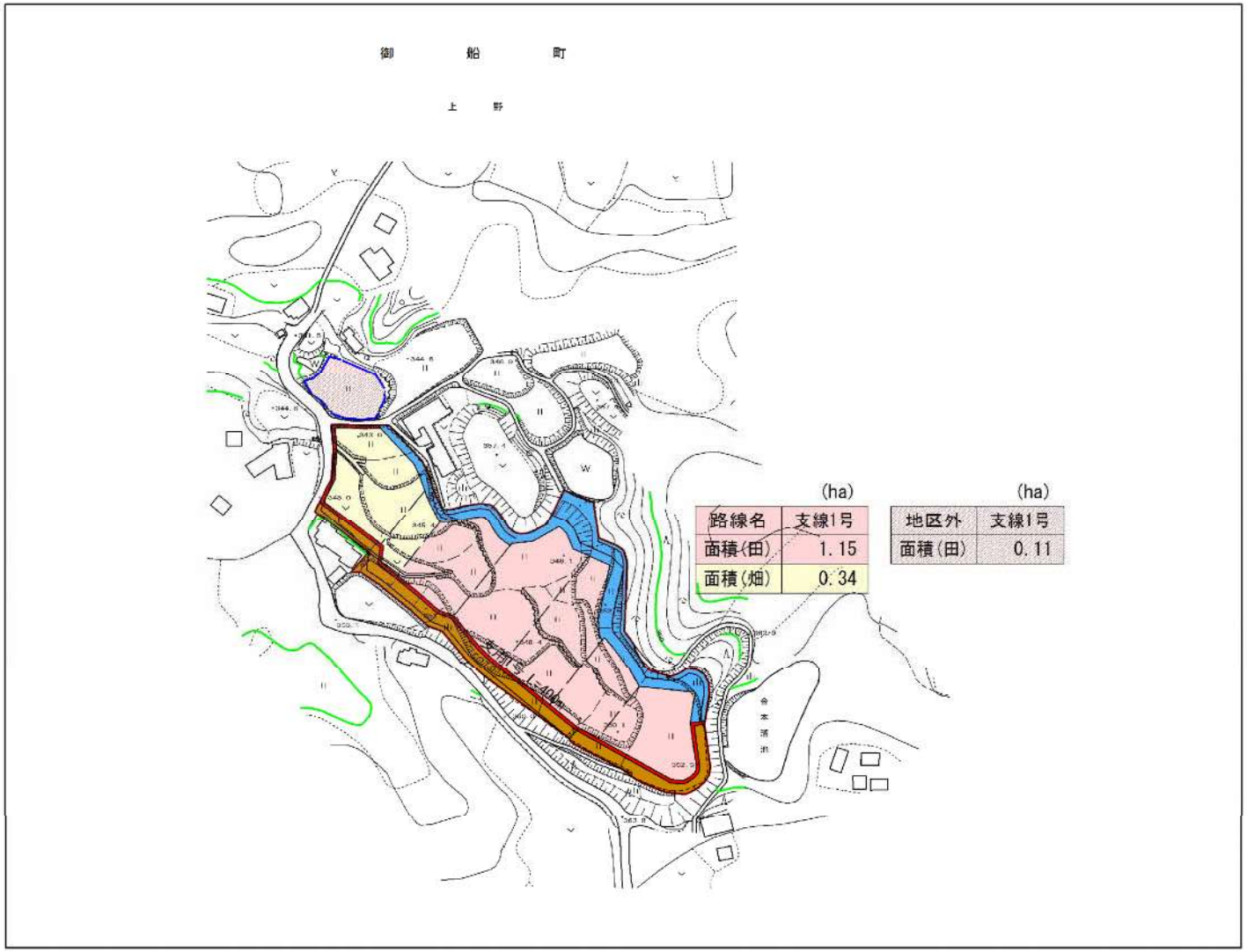
堤の本工区（変更）

計画用水模式図



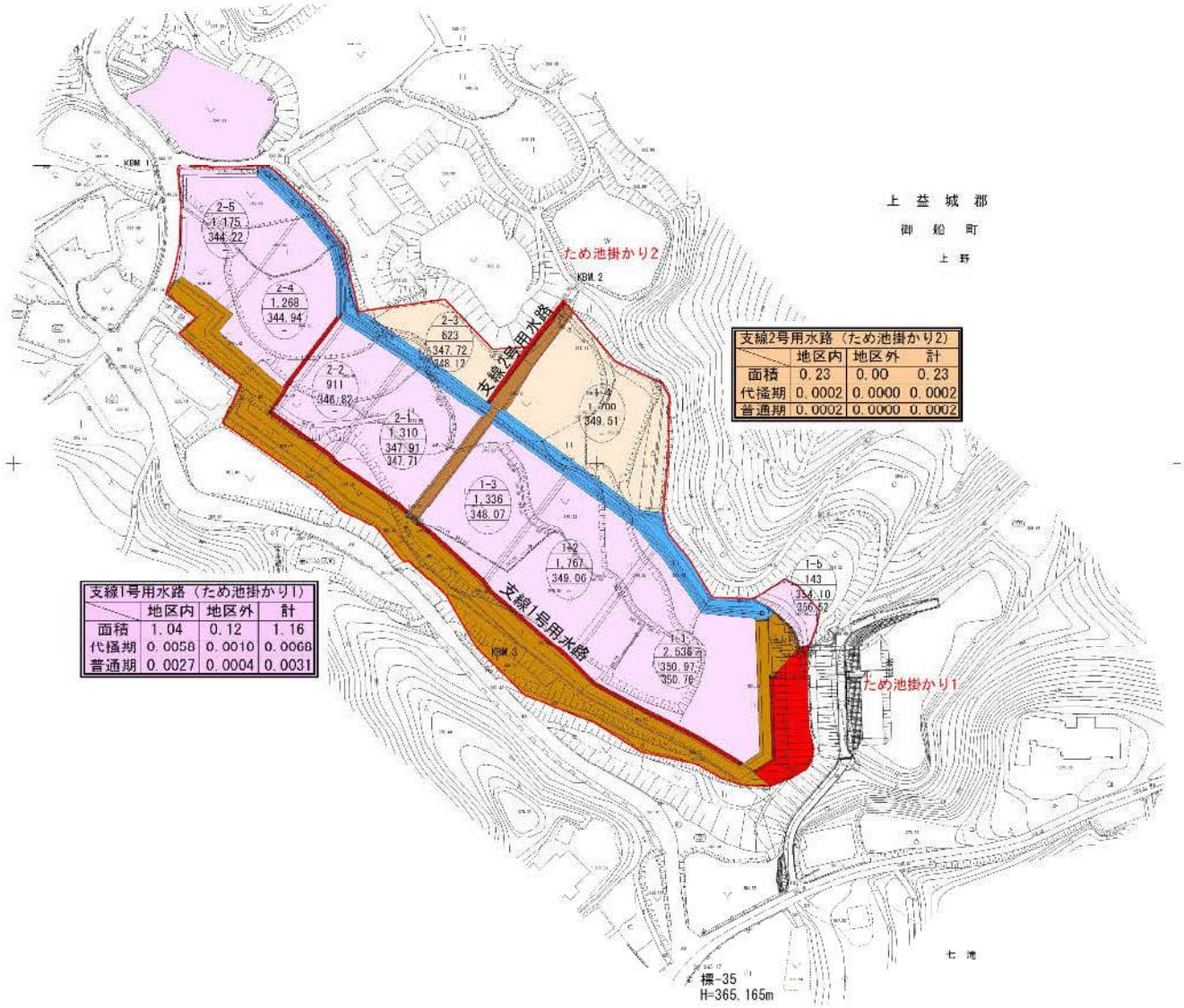
堤の本工区（当初）

計画用水系統図



堤の本工区（変更）

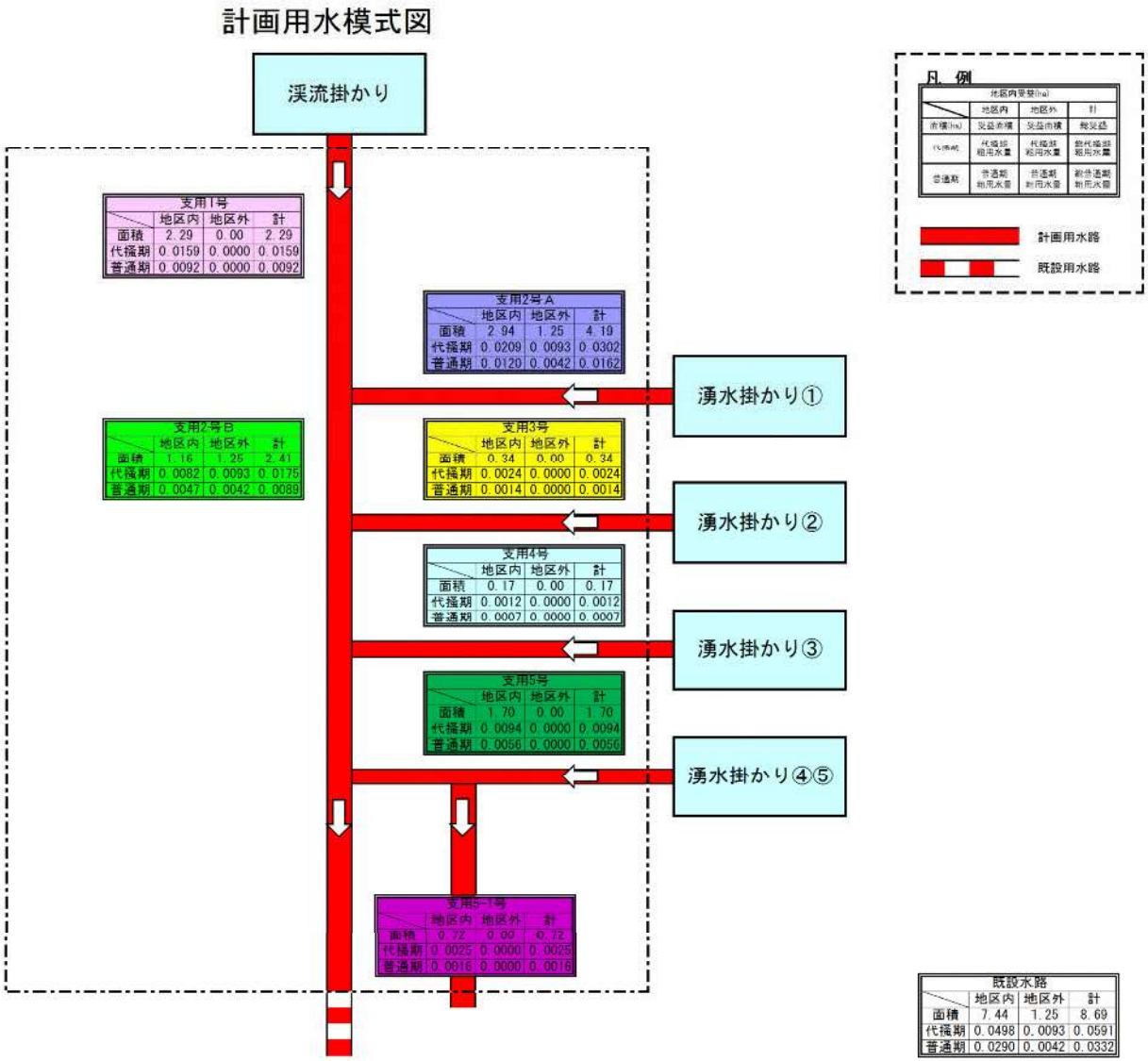
計画用水系統図



支線2号用水路（ため池掛かり2）			
	地区内	地区外	計
面積	0.23	0.00	0.23
代掻期	0.0002	0.0000	0.0002
普通期	0.0002	0.0000	0.0002

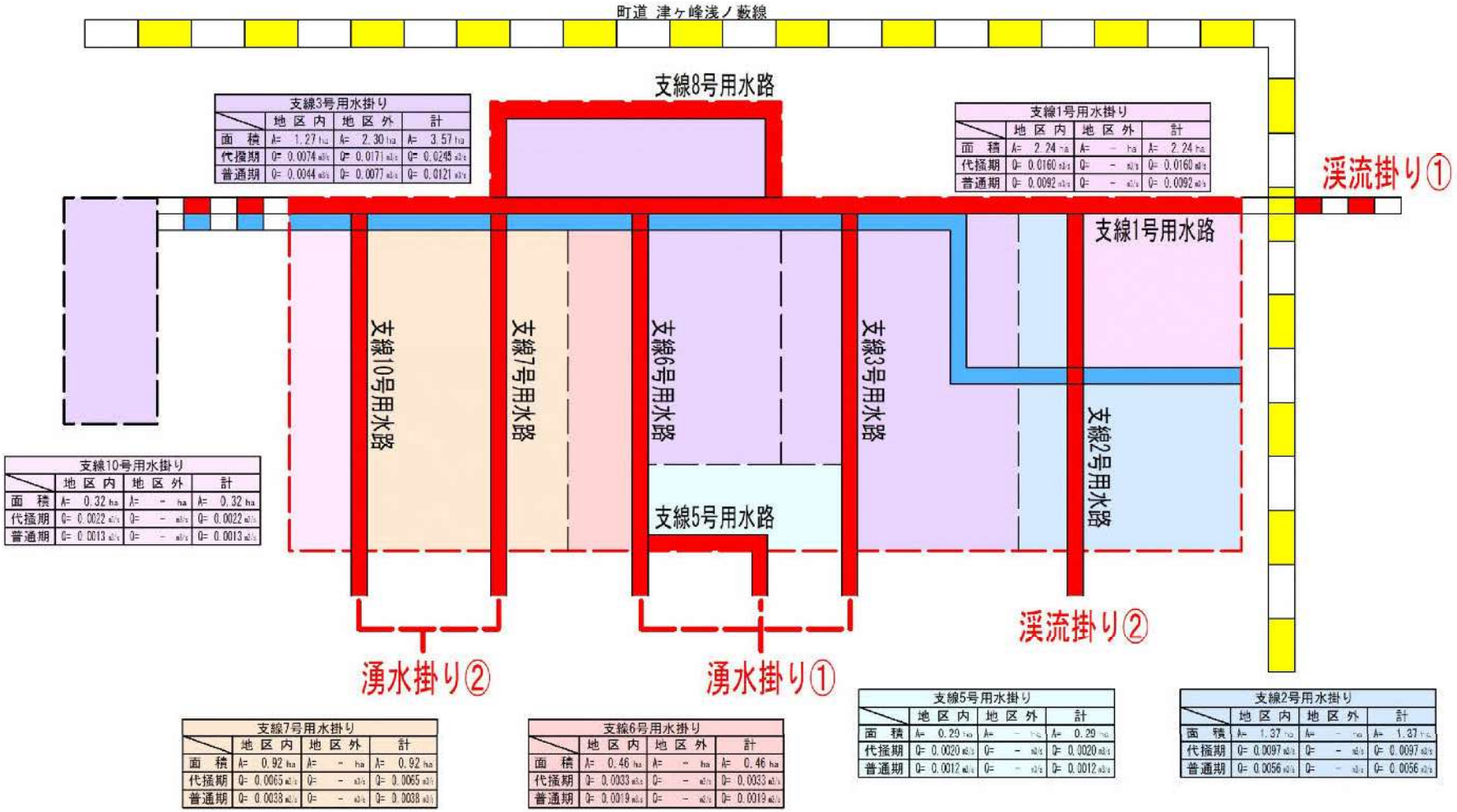
支線1号用水路（ため池掛かり1）			
	地区内	地区外	計
面積	1.04	0.12	1.16
代掻期	0.0058	0.0010	0.0068
普通期	0.0027	0.0004	0.0031

樺迫工区（当初）


計画用水模式図
渓流掛かり
凡 例
地区内受益(ha)
地区内
地区外
計
面積(ha)
灌漑期
普通期
計画用水路
既設用水路
支用1号
地区内 地区外 計
面積 2.29 0.00 2.29
代掻期 0.0159 0.0000 0.0159
普通期 0.0092 0.0000 0.0092
支用2号A
地区内 地区外 計
面積 2.94 1.25 4.19
代掻期 0.0209 0.0093 0.0302
普通期 0.0120 0.0042 0.0162
湧水掛かり①
支用2号B
地区内 地区外 計
面積 1.16 1.25 2.41
代掻期 0.0082 0.0093 0.0175
普通期 0.0047 0.0042 0.0089
支用3号
地区内 地区外 計
面積 0.34 0.00 0.34
代掻期 0.0024 0.0000 0.0024
普通期 0.0014 0.0000 0.0014
湧水掛かり②
支用4号
地区内 地区外 計
面積 0.17 0.00 0.17
代掻期 0.0012 0.0000 0.0012
普通期 0.0007 0.0000 0.0007
湧水掛かり③
支用5号
地区内 地区外 計
面積 1.70 0.00 1.70
代掻期 0.0094 0.0000 0.0094
普通期 0.0056 0.0000 0.0056
湧水掛かり④⑤
支用5-1号
地区内 地区外 計
面積 0.72 0.00 0.72
代掻期 0.0025 0.0000 0.0025
普通期 0.0016 0.0000 0.0016
既設水路
地区内 地区外 計
面積 7.44 1.25 8.69
代掻期 0.0498 0.0093 0.0591
普通期 0.0290 0.0042 0.0332

樺迫工区（変更）

計画用水模式図　　樺 迫 工 区



支線3号用水掛り	地区内	地区外	計
面積	A= 1.27 ha	A= 2.30 ha	A= 3.57 ha
代掻期	Q= 0.0074 m³/s	Q= 0.0171 m³/s	Q= 0.0245 m³/s
普通期	Q= 0.0044 m³/s	Q= 0.0077 m³/s	Q= 0.0121 m³/s

支線1号用水掛り	地区内	地区外	計
面積	A= 2.24 ha	A= - ha	A= 2.24 ha
代掻期	Q= 0.0160 m³/s	Q= - m³/s	Q= 0.0160 m³/s
普通期	Q= 0.0092 m³/s	Q= - m³/s	Q= 0.0092 m³/s

支線10号用水掛り	地区内	地区外	計
面積	A= 0.32 ha	A= - ha	A= 0.32 ha
代掻期	Q= 0.0022 m³/s	Q= - m³/s	Q= 0.0022 m³/s
普通期	Q= 0.0013 m³/s	Q= - m³/s	Q= 0.0013 m³/s

支線7号用水掛り	地区内	地区外	計
面積	A= 0.92 ha	A= - ha	A= 0.92 ha
代掻期	Q= 0.0065 m³/s	Q= - m³/s	Q= 0.0065 m³/s
普通期	Q= 0.0038 m³/s	Q= - m³/s	Q= 0.0038 m³/s

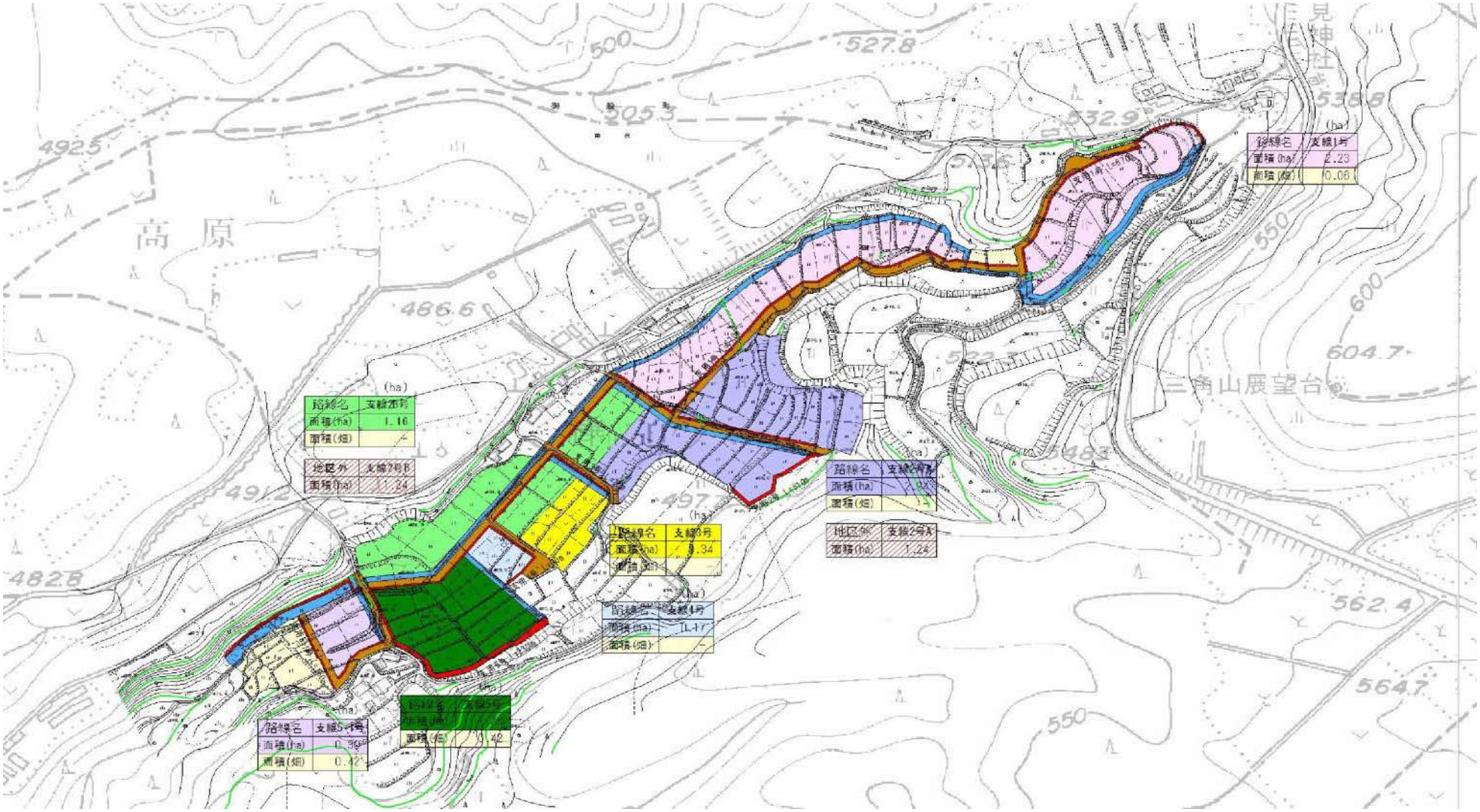
支線6号用水掛り	地区内	地区外	計
面積	A= 0.46 ha	A= - ha	A= 0.46 ha
代掻期	Q= 0.0033 m³/s	Q= - m³/s	Q= 0.0033 m³/s
普通期	Q= 0.0019 m³/s	Q= - m³/s	Q= 0.0019 m³/s

支線5号用水掛り	地区内	地区外	計
面積	A= 0.29 ha	A= - ha	A= 0.29 ha
代掻期	Q= 0.0020 m³/s	Q= - m³/s	Q= 0.0020 m³/s
普通期	Q= 0.0012 m³/s	Q= - m³/s	Q= 0.0012 m³/s

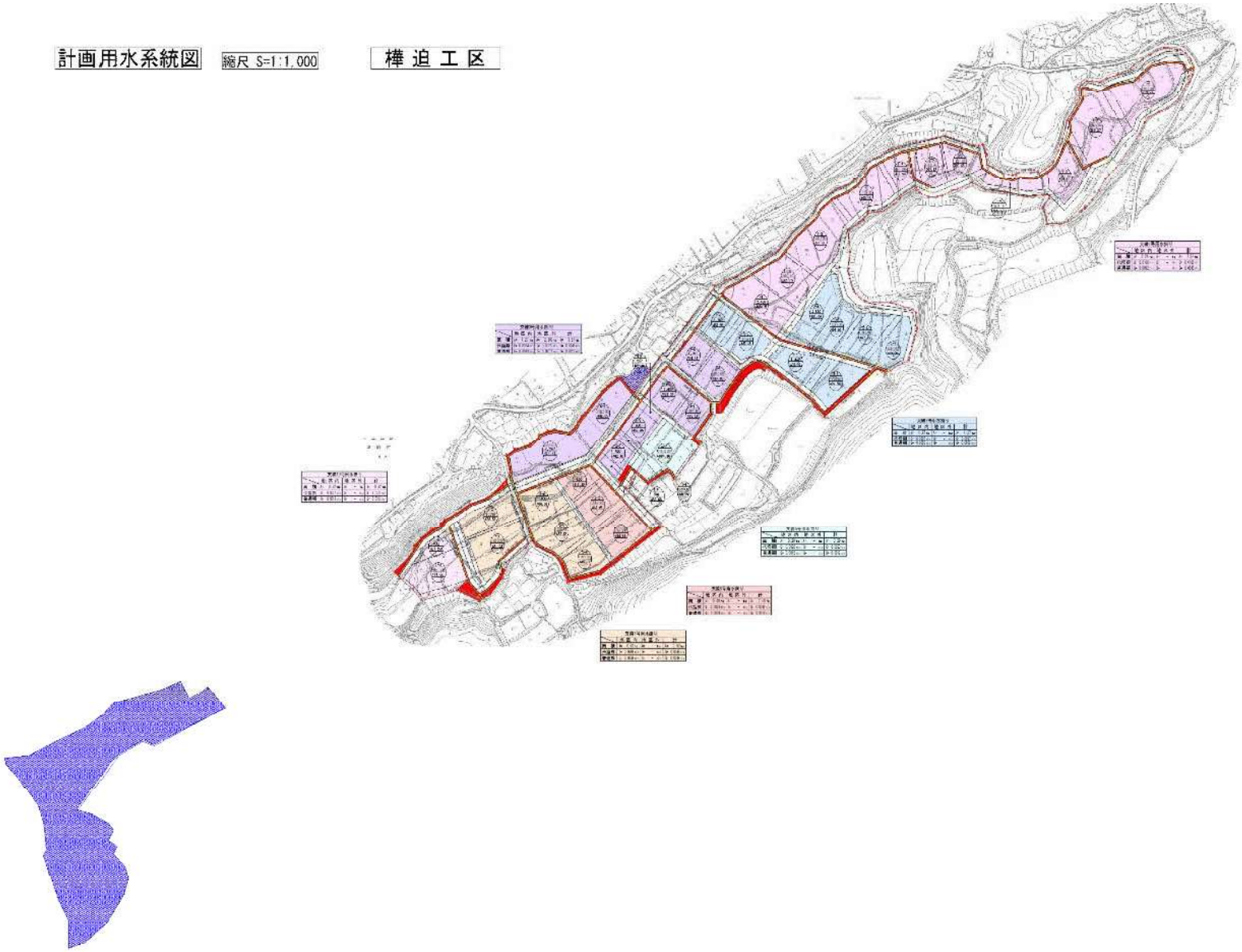
支線2号用水掛り	地区内	地区外	計
面積	A= 1.37 ha	A= - ha	A= 1.37 ha
代掻期	Q= 0.0097 m³/s	Q= - m³/s	Q= 0.0097 m³/s
普通期	Q= 0.0056 m³/s	Q= - m³/s	Q= 0.0056 m³/s

樺迫工区（当初）

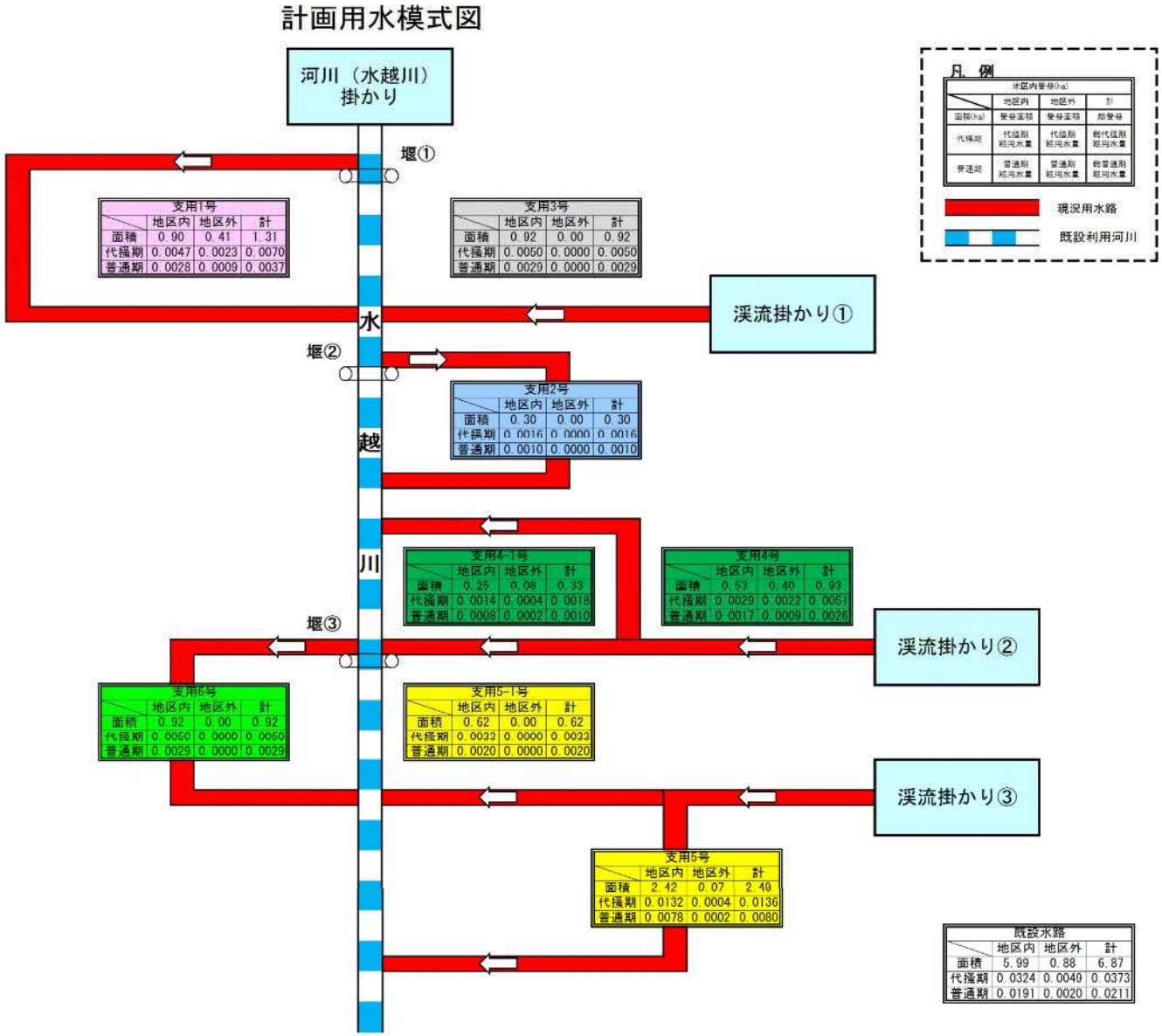
計画用水系統図



樺迫工区（変更）

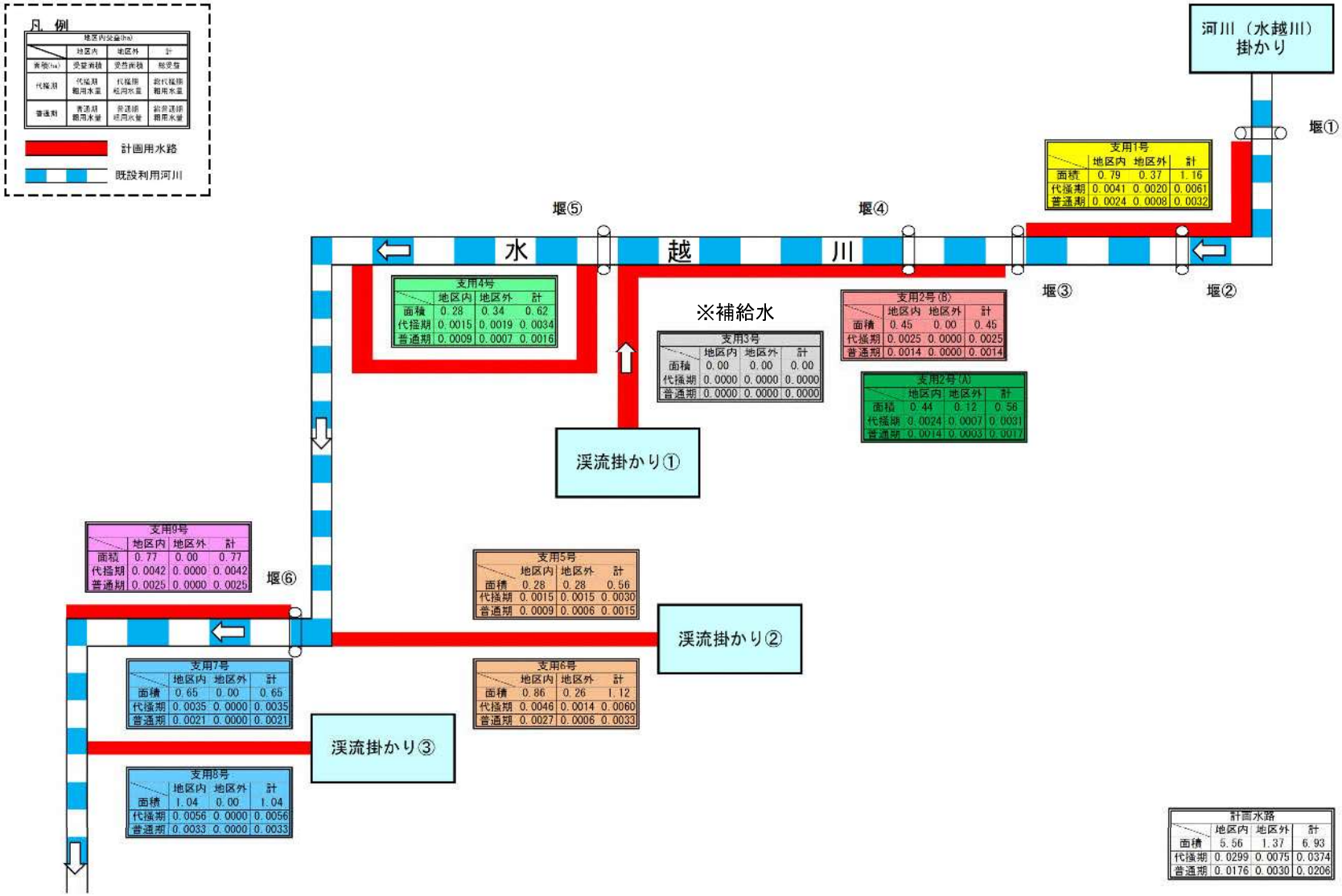


有水工区（当初）

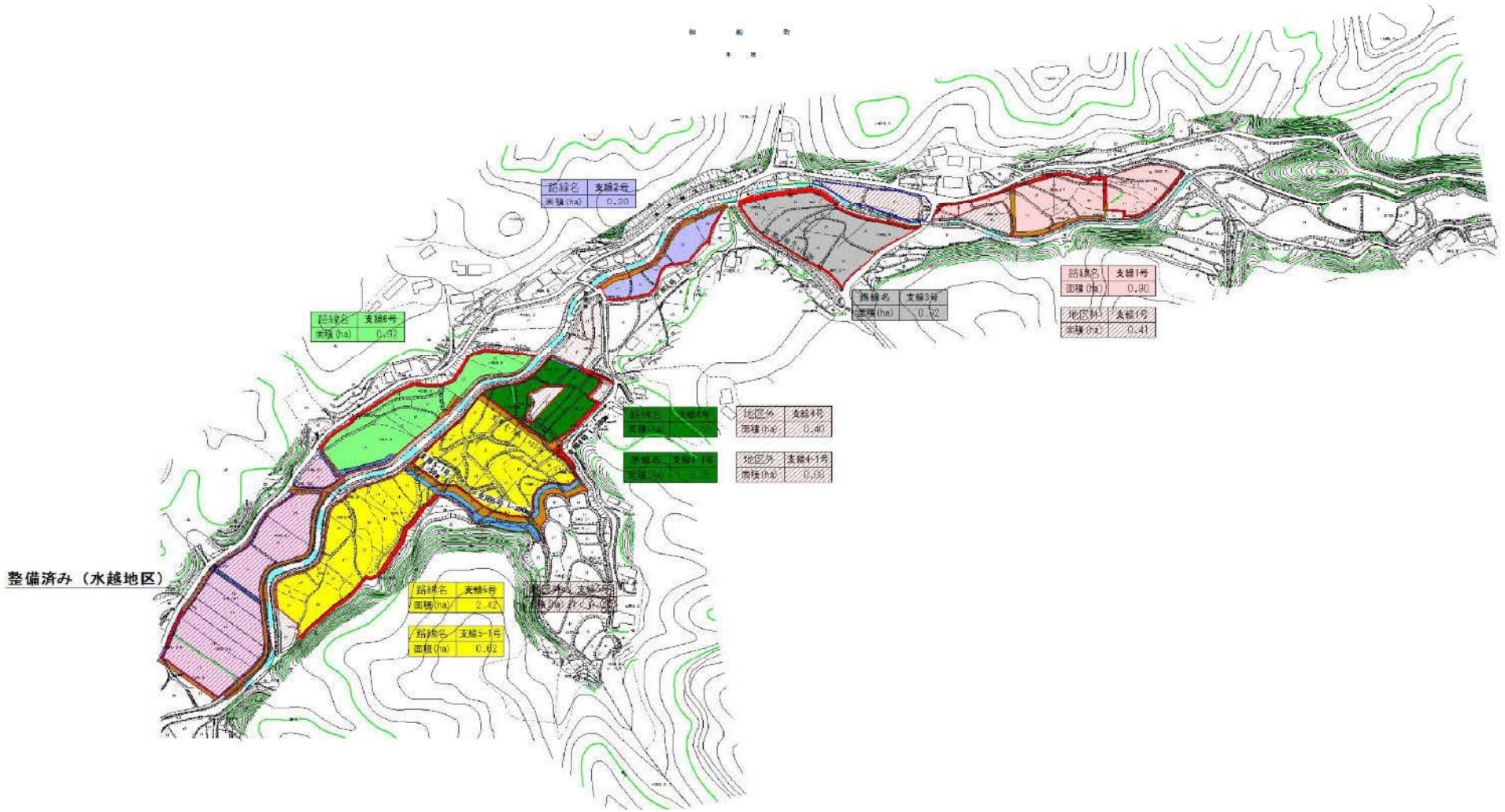

計画用水模式図
河川（水越川）
掛かり
堰①
堰②
堰③
水
越
川
凡 例
現況用水路
既設利用河川
渓流掛かり①
渓流掛かり②
渓流掛かり③
支用1号
地区内 地区外 計
面積 0.90 0.41 1.31
代掻期 0.0047 0.0023 0.0070
普通期 0.0028 0.0009 0.0037
支用3号
地区内 地区外 計
面積 0.92 0.00 0.92
代掻期 0.0050 0.0000 0.0050
普通期 0.0029 0.0000 0.0029
支用2号
地区内 地区外 計
面積 0.30 0.00 0.30
代掻期 0.0016 0.0000 0.0016
普通期 0.0010 0.0000 0.0010
支用4-1号
地区内 地区外 計
面積 0.25 0.08 0.33
代掻期 0.0014 0.0004 0.0018
普通期 0.0008 0.0002 0.0010
支用4号
地区内 地区外 計
面積 0.53 0.40 0.93
代掻期 0.0029 0.0022 0.0051
普通期 0.0017 0.0009 0.0026
支用6号
地区内 地区外 計
面積 0.92 0.00 0.92
代掻期 0.0050 0.0000 0.0050
普通期 0.0029 0.0000 0.0029
支用5-1号
地区内 地区外 計
面積 0.62 0.00 0.62
代掻期 0.0033 0.0000 0.0033
普通期 0.0020 0.0000 0.0020
支用5号
地区内 地区外 計
面積 2.42 0.07 2.49
代掻期 0.0132 0.0004 0.0136
普通期 0.0078 0.0002 0.0080
既設水路
地区内 地区外 計
面積 5.99 0.88 6.87
代掻期 0.0324 0.0049 0.0373
普通期 0.0191 0.0020 0.0211

有水工区（変更）

計画用水模式図



計画用水系統図


整備済み（水越地区）
路線名 支線2号
面積(ha) 0.90
路線名 支線3号
面積(ha) 0.92
路線名 支線1号
面積(ha) 0.80
地区外 支線1号
面積(ha) 0.41
路線名 支線6号
面積(ha) 0.92
地区外 支線4号
面積(ha) 0.40
地区外 支線4-1号
面積(ha) 0.08
路線名 支線5号
面積(ha) 2.42
路線名 支線5-1号
面積(ha) 0.62

有水工区（変更）



3. 水源計画

（第7表－2）

消費水量	有効雨量	純用水量	粗用水量	現況利用可能水量			不足水量		水源依存量		水源工種	備考
				水源名	取水地点利用可能量	ほ場利用可能量	純不足水量	全不足水量	水源名	水量		
a (千m^3)	b (千m^3)	c=a-b (千m^3)	d=c/(1-α) (千m^3)		e (千m^3)	f (千m^3)	g=c-f (千m^3)	h=d-e (千m^3)		(千m^3)		損失率 ：α
121.4 (169.7)	28.4 (70.4)	93.0 (99.3)	109.4 (116.8)		109.4 (116.8)	93.0 (99.3)				109.4 (116.8)		塔の本 15%
19.7 (27.5)	6.4 (6.3)	13.3 (21.2)	15.6 (24.9)		15.6 (24.9)	13.3 (21.2)				15.6 (24.9)		堤の本 15%
183.6 (760.9)	34.0 (43.8)	149.6 (717.1)	176.0 (843.6)		176.0 (843.6)	149.6 (717.1)				176.0 (843.6)		樺迫 15%
124.6 (110.3)	27.5 (37.5)	97.1 (72.8)	114.2 (85.6)		114.2 (85.6)	97.1 (72.8)				114.2 (85.6)		有水 15%
449.3 (1,068.4)		353.0 (910.4)	415.2 (1,070.9)		415.2 (1,070.9)	353.0 (910.4)				415.2 (1,070.9)		合計

第4節　排水計画

(P16-3～P16-10)ページの計画排水系統図を参照

1. 計画基準雨量及び方式

基幹排水：	時間雨量時間排除 (時間雨量時間排除)	66.6 mm/hr(1/10) (66.6 mm/hr(1/10))	44.4 mm/hr(1/2) (44.4 mm/hr(1/2))	熊本ブロック（Ⅱ－Ａ） (熊本ブロック（Ⅱ－Ａ）)
基幹排水：	4時間雨量4時間排除 (4時間雨量4時間排除)	138.4 mm/hr(1/10) (138.4 mm/hr(1/10))	83.6mm/hr(1/2) (83.6mm/hr(1/2))	熊本ブロック（Ⅱ－Ａ） (熊本ブロック（Ⅱ－Ａ）)
排水方式：	自然排水 (自然排水)			

2. 計画排水量

(第8表)

項目 / 排水系統名	流域面積 (ha)			全排水量 (m3/s)		単位排水量 (m3/s/km2)		排水先の施設能力		
	地区内	地区外	合計	自然排水	機械排水	自然排水	機械排水	水路	樋門	ポンプ
塔の本工区										
支線1号排水路	3.06	0.24	3.30	0.2707		8.5100		0.2707		
(支線1号排水路)	(1.13)	(0.42)	(1.55)	(0.1179)		(7.9550)		(0.1179)		
直接排水1号	1.65	0.27	1.92	0.1564		8.5100		0.1564		
(直接1号排水路)	(0.72)	( )	(0.72)	(0.0561)		(7.9550)		(0.0561)		
支線2号排水路	8.18	4.65	12.83	1.0203		8.5100		1.0203		
(支線2号排水路)	(7.49)	(6.01)	(13.50)	(1.0105)		(7.9550)		(1.0105)		
支線3号排水路	2.68	0.94	3.62	0.2911		8.5100		0.2911		
(支線3号排水路)	(2.12)	(2.02)	(4.14)	(0.3087)		(7.9550)		(0.3087)		
支線4号排水路	1.08	0.47	1.55	0.1241		8.5100		0.1241		
(支線4号排水路)	(2.24)	(0.02)	(2.26)	(0.1758)		(7.9550)		(0.1758)		
支線7号用水路	0.35	0.22	0.57	0.0452		8.5100		0.0452		
(支線5号排水路)	(0.83)	(0.33)	(1.16)	(0.0881)		(7.9550)		(0.0881)		
直接排水2号	0.85		0.85	0.0703		8.5100		0.0703		
(支線6号排水路)	(1.27)	0.27	(1.54)	(0.1181)		(7.9550)		(0.1181)		

2. 計画排水量

（第8表）

項目 ＼ 排水系統名	流域面積 (ha)			全排水量 (m3/s)		単位排水量 (m3/s/km2)		排水先の施設能力		
	地区内	地区外	合計	自然排水	機械排水	自然排水	機械排水	水路	樋門	ポンプ
塔の本工区	10.11	5.12	15.23	1.2147				1.2147		
計	(15.80)	(9.07)	(24.87)	(1.8752)				(1.8752)		
堤の本工区										
堤の本工区	2.10	6.10	8.20	0.6110		7.8810		0.6110		
計(支排1号)	(2.14)	(2.51)	(4.65)	(0.3644)		(7.7850)		(0.3644)		
樺迫工区										
支線1号排水路	2.95	36.20	39.15	3.0400		7.9600		3.0400		
(支線1号排水路)	(10.07)	(52.59)	(62.66)	(4.9059)		(8.1400)		(4.9059)		
支線2号排水路	1.00	4.40	5.40	0.3613		7.7900		0.3613		
(支線2号排水路)	(2.14)	(11.52)	(13.66)	(0.9327)		(7.8810)		(0.9327)		
支線3号排水路	0.45	3.30	3.75	0.2476		7.9600		0.2476		
(支線3号排水路)	(0.74)	(2.43)	(3.17)	(0.2195)		(7.8810)		(0.2195)		
支線4号排水路	10.06	54.90	64.96	4.8510		7.9600		4.8510		
(支線4号排水路)	(1.03)	(2.84)	(3.87)	(0.2695)		(7.8810)		(0.2695)		
支線5号排水路	0.60	2.00	2.60	0.1755		7.7900		0.1755		
(支線5号排水路)	(0.44)	(3.10)	(3.54)	(0.2403)		(7.8810)		(0.2403)		
支線6号排水路	0.10	1.00	1.10	0.0722		7.7900		0.0722		
(―)	(―)	(―)	(―)	(―)		(―)		(―)		
支線7号排水路	1.20	1.10	2.30	0.1643		7.7900		0.1643		
(―)	(―)	(―)	(―)	(―)		(―)		(―)		
支線8号排水路	0.95	3.10	4.05	0.2736		7.7900		0.2736		
(―)	(―)	(―)	(―)	(―)		(―)		(―)		
樺迫工区	10.06	54.90	64.96	4.8510				4.8510		
計	(14.42)	(72.48)	(86.90)	(6.5679)				(6.5679)		

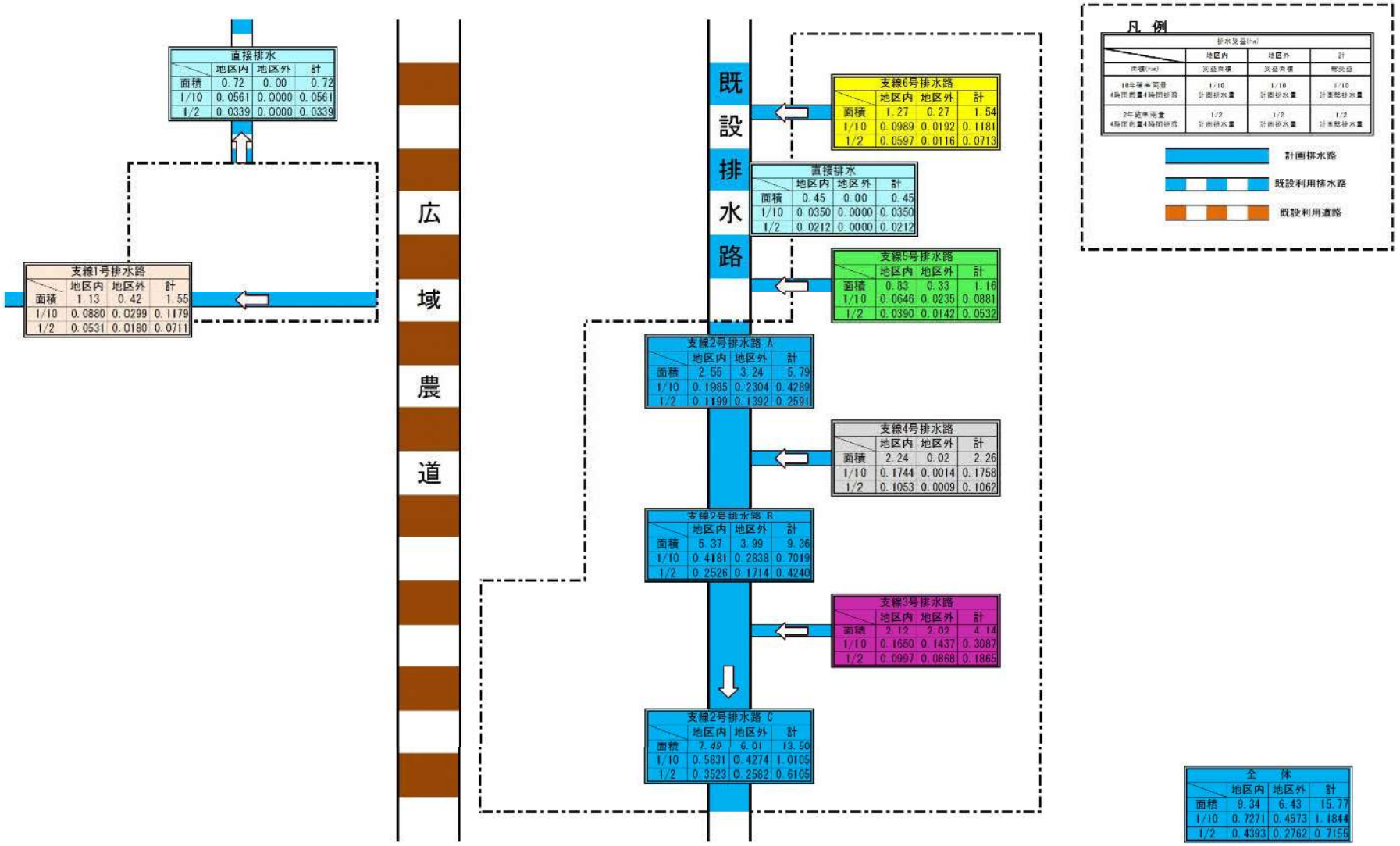
2. 計画排水量

（第8表）

項目 / 排水系統名	流域面積 (ha)			全排水量 (m3/s)		単位排水量 (m3/s/km2)		排水先の施設能力		
	地区内	地区外	合計	自然排水	機械排水	自然排水	機械排水	水路	樋門	ポンプ
有水工区										
支線1号排水路	0.81	—	0.81	0.0638		0.0788		0.0638		
(支線1号排水路)	(1.59)	(36.95)	(38.54)	(3.2026)		(7.9950)		(3.2026)		
支線2号排水路	0.24	2.25	2.49	0.1746		0.0788		0.1746		
(支線1-1号排水路)	( )	(5.95)	(5.95)	(0.4060)		(7.7850)		(0.4060)		
支線3号排水路	1.46	1.77	3.23	0.2376		0.0788		0.2376		
(支線2号排水路)	(0.90)	(5.50)	(6.40)	(0.4454)		(7.7850)		(0.4454)		
支線4号排水路	0.32	31.00	31.32	2.6641		0.0814		2.6641		
(直接1号排水路)	(1.12)	( )	(1.12)	(0.0872)		(7.7850)		(0.0872)		
支線5号排水路	1.39	6.22	7.61	0.5399		0.0788		0.5399		
(直接2号排水路)	(1.04)	( )	(1.04)	(0.0810)		(7.7850)		(0.0810)		
支線6号排水路	0.63	3.27	3.90	0.2760		0.0788		0.2760		
(直接3号排水路)	(0.42)	( )	(0.42)	(0.0327)		(7.7850)		(0.0327)		
支線7号排水路	1.09	0.19	1.28	0.0990		0.0788		0.0990		
(直接4号排水路)	(1.08)	( )	(1.08)	(0.0841)		(7.7850)		(0.0841)		
直接1号排水路	1.00	0.09	1.09	0.0850		0.0788		0.0850		
(直接5号排水路)	(1.19)	( )	(1.19)	(0.0947)		(7.7850)		(0.0947)		
直接2号排水路	0.41	0.27	0.68	0.0510		0.0788		0.0510		
(—)	(—)	(—)	(—)	(—)		(—)		(—)		
有水工区計	7.35	45.06	52.41	4.1910				4.1910		
	(7.34)	(48.40)	(55.74)	(4.4337)				(4.4337)		
合計	29.62	111.18	140.80	10.8677				10.8677		
	(39.70)	(132.46)	(172.16)	(13.2412)				(13.2412)		

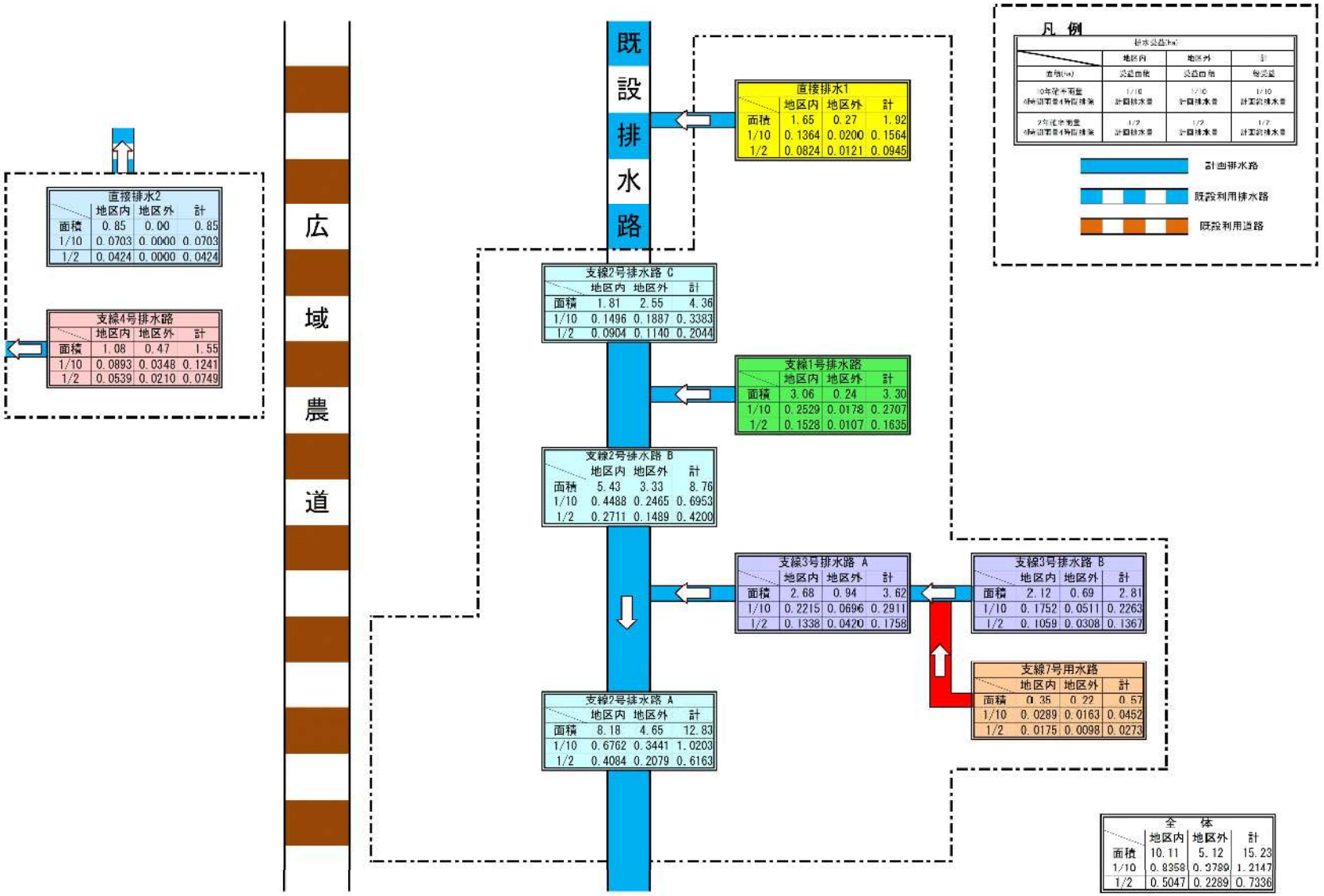
塔の本工区（当初）

計画排水模式図

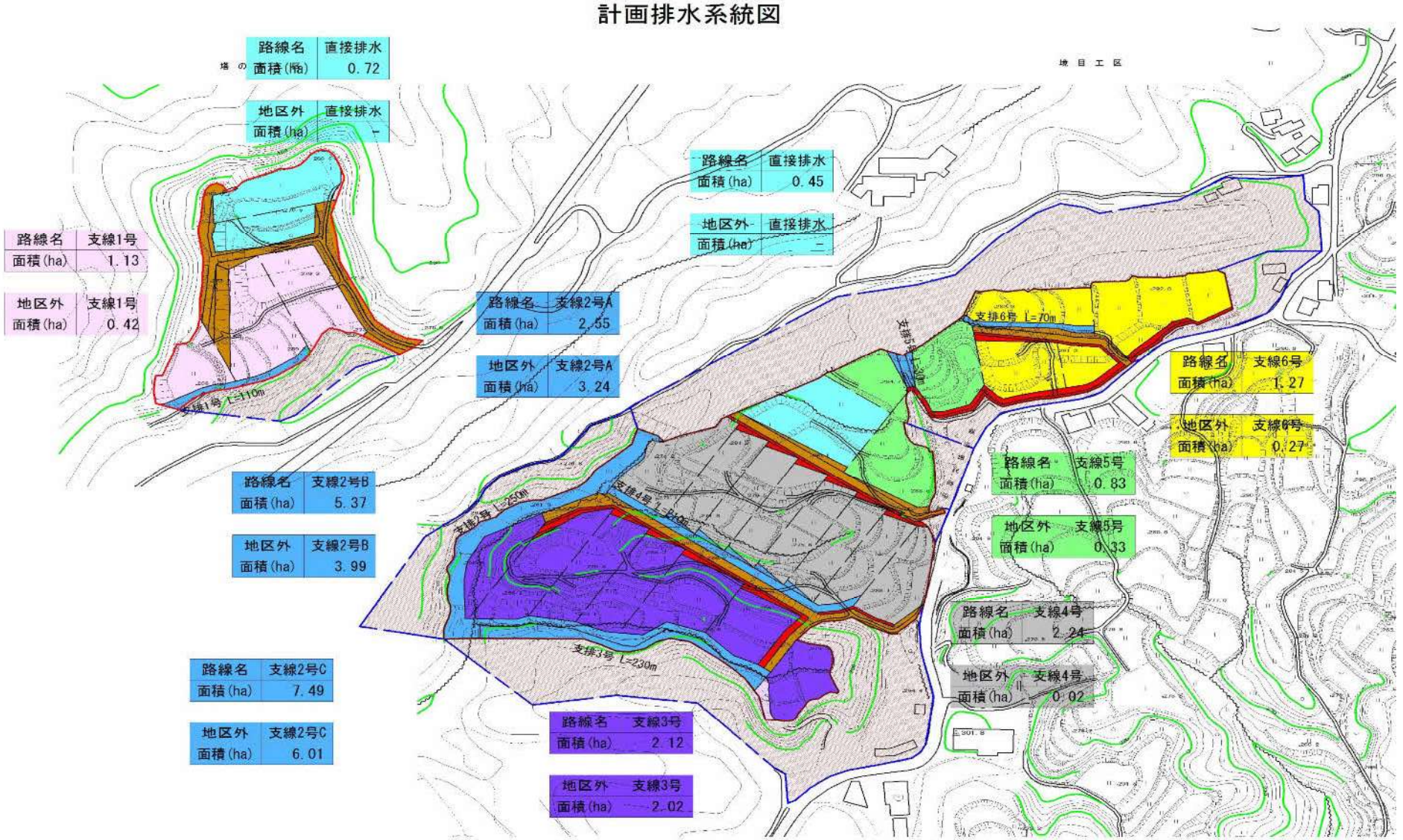


塔の本工区（変更）

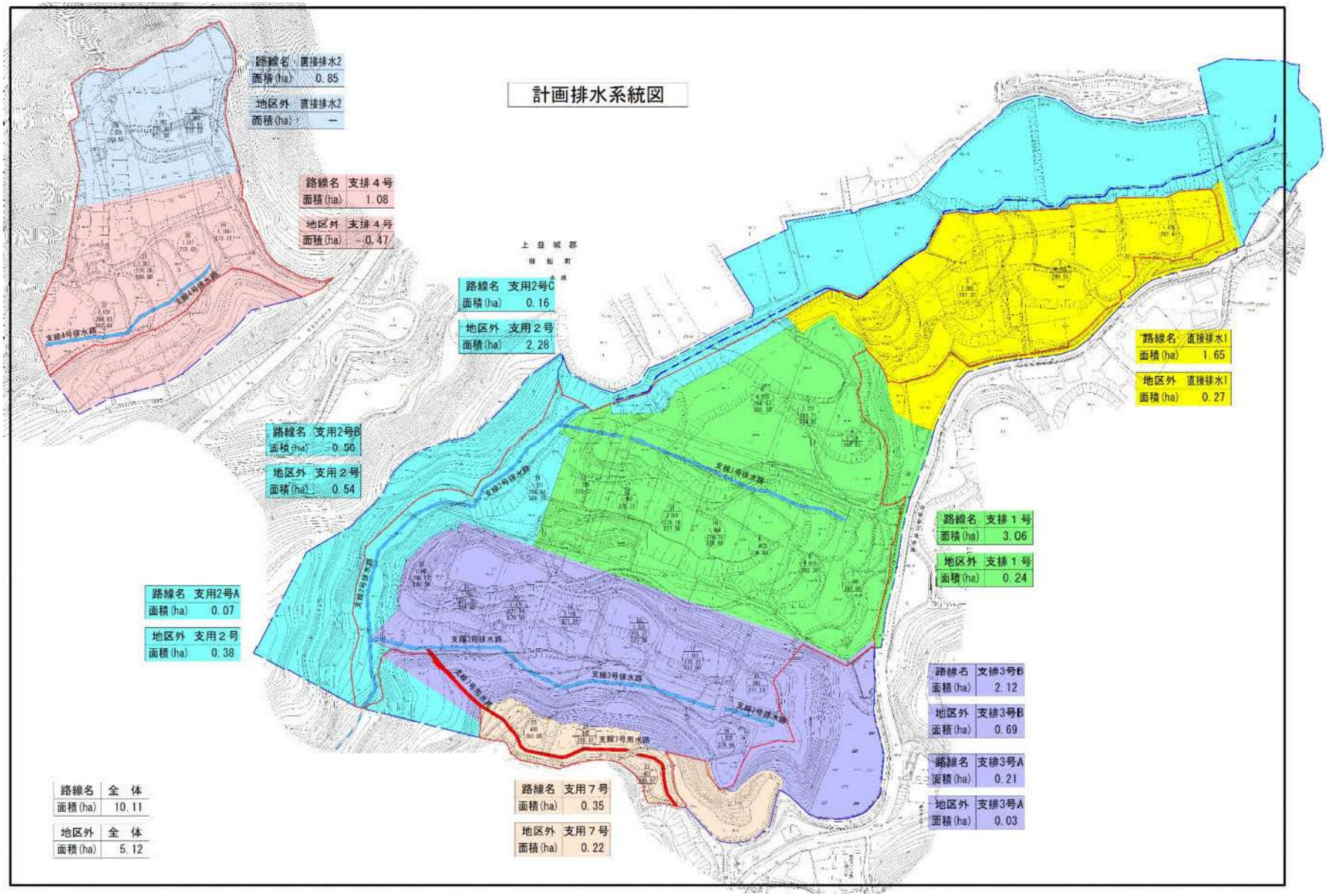
計画排水模式図



塔の本工区（当初）

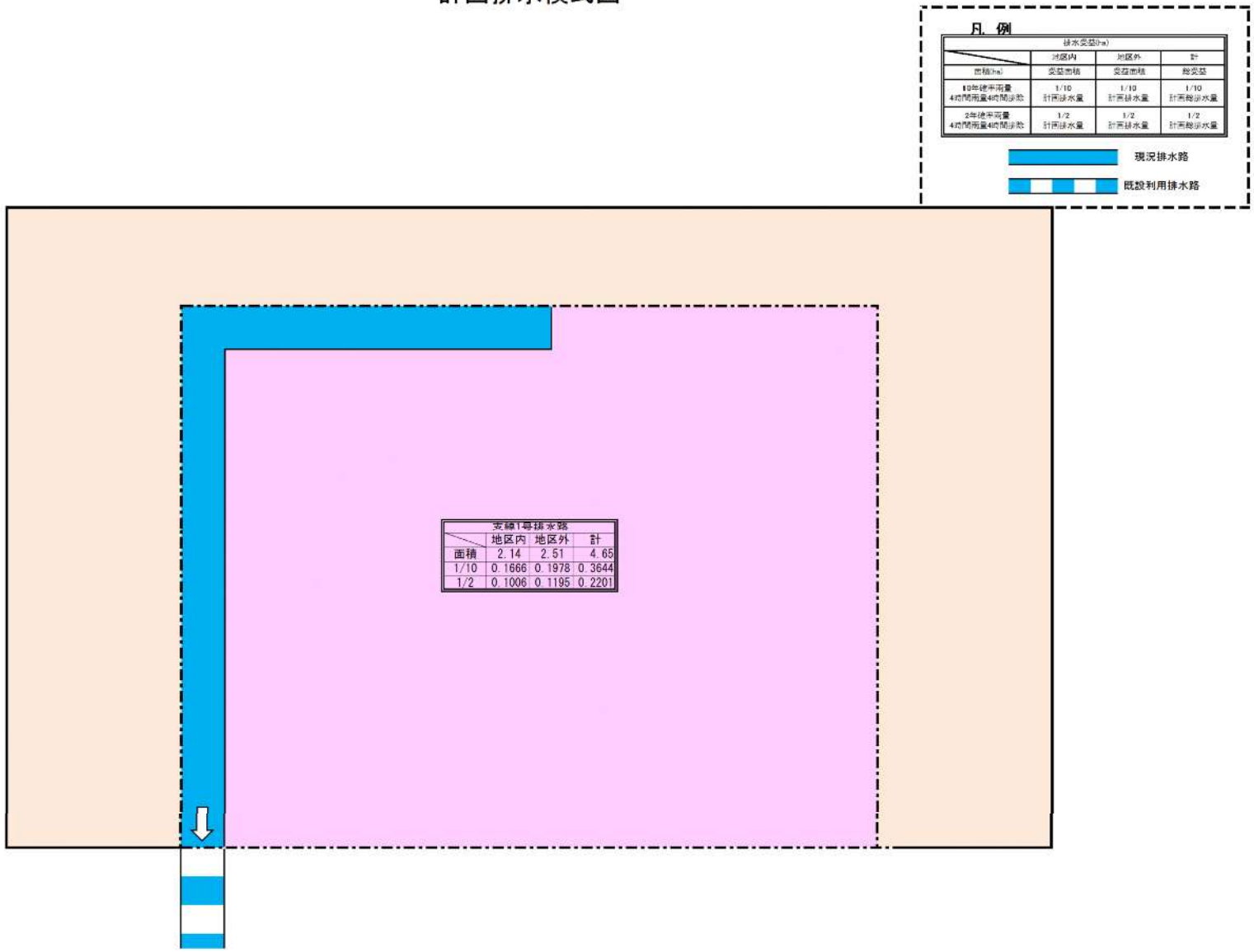

計画排水系統図
塔の本工区
路線名 直接排水
面積(ha) 0.72
地区外 直接排水
面積(ha) －
路線名 支線1号
面積(ha) 1.13
地区外 支線1号
面積(ha) 0.42
支排1号 L=110m
路線名 支線2号A
面積(ha) 2.55
地区外 支線2号A
面積(ha) 3.24
路線名 支線2号B
面積(ha) 5.37
地区外 支線2号B
面積(ha) 3.99
支排2号 L=250m
支排4号 L=240m
支排3号 L=230m
路線名 支線2号C
面積(ha) 7.49
地区外 支線2号C
面積(ha) 6.01
路線名 支線3号
面積(ha) 2.12
地区外 支線3号
面積(ha) 2.02
路線名 直接排水
面積(ha) 0.45
地区外 直接排水
面積(ha) －
支排6号 L=70m
支排5号 L=90m
路線名 支線6号
面積(ha) 1.27
地区外 支線6号
面積(ha) 0.27
路線名 支線5号
面積(ha) 0.83
地区外 支線5号
面積(ha) 0.33
路線名 支線4号
面積(ha) 2.24
地区外 支線4号
面積(ha) 0.02

塔の本工区（変更）


計画排水系統図
路線名 直接排水2
面積(ha) 0.85
地区外 直接排水2
面積(ha) －
路線名 支排４号
面積(ha) 1.08
地区外 支排４号
面積(ha) 0.47
支線4号排水路
路線名 支用2号C
面積(ha) 0.16
地区外 支用２号
面積(ha) 2.28
路線名 直接排水1
面積(ha) 1.65
地区外 直接排水1
面積(ha) 0.27
路線名 支用2号B
面積(ha) 0.56
地区外 支用２号
面積(ha) 0.54
支線2号排水路
支線1号排水路
路線名 支排１号
面積(ha) 3.06
地区外 支排１号
面積(ha) 0.24
路線名 支用2号A
面積(ha) 0.07
地区外 支用２号
面積(ha) 0.38
支線7号排水路
支線3号排水路
路線名 支排3号B
面積(ha) 2.12
地区外 支排3号B
面積(ha) 0.69
路線名 支排3号A
面積(ha) 0.21
地区外 支排3号A
面積(ha) 0.03
路線名 全 体
面積(ha) 10.11
地区外 全 体
面積(ha) 5.12
路線名 支用７号
面積(ha) 0.35
地区外 支用７号
面積(ha) 0.22

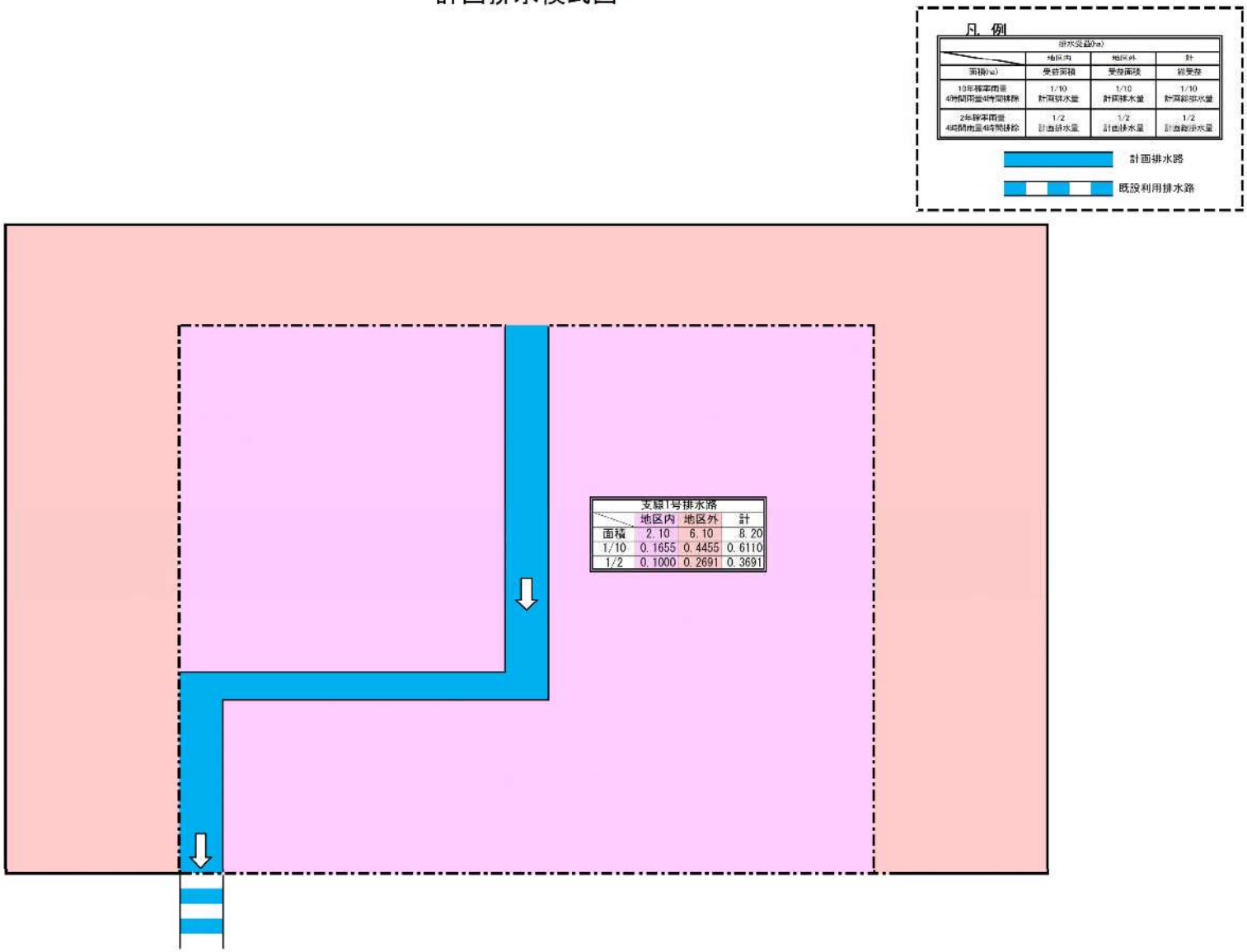
堤の本工区（当初）

計画排水模式図



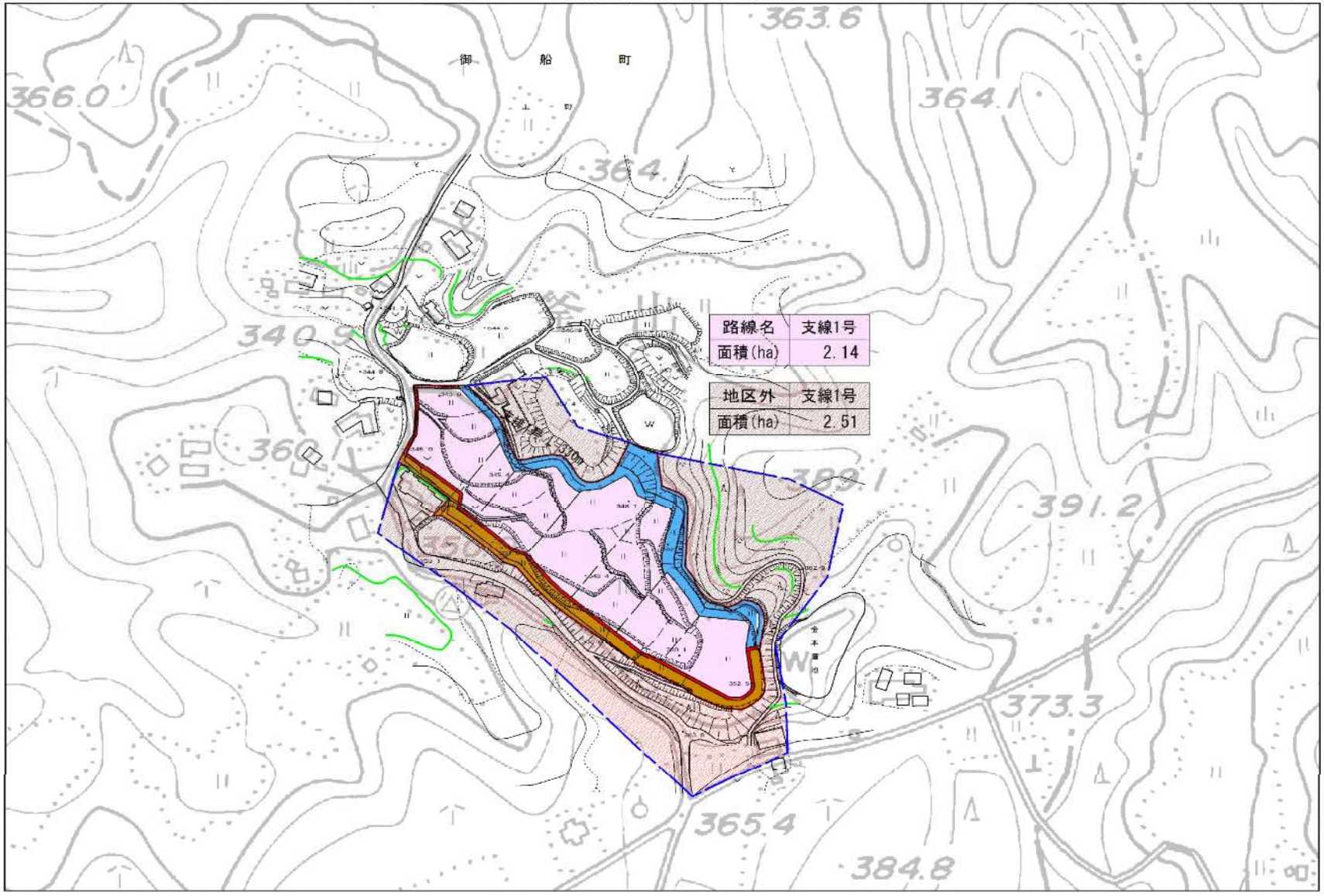
堤の本工区（変更）

計画排水模式図



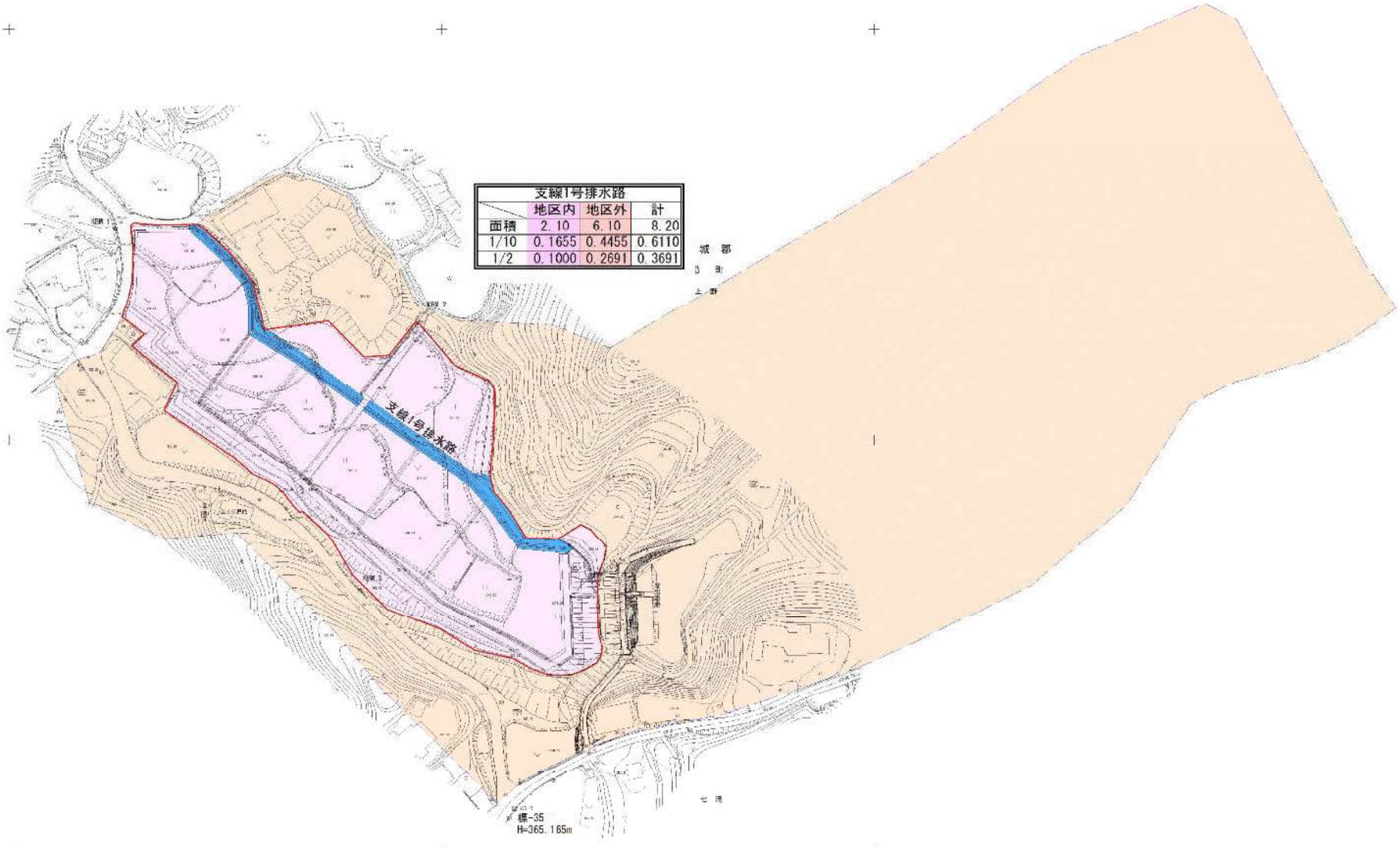
堤の本工区（当初）

計画排水系統図



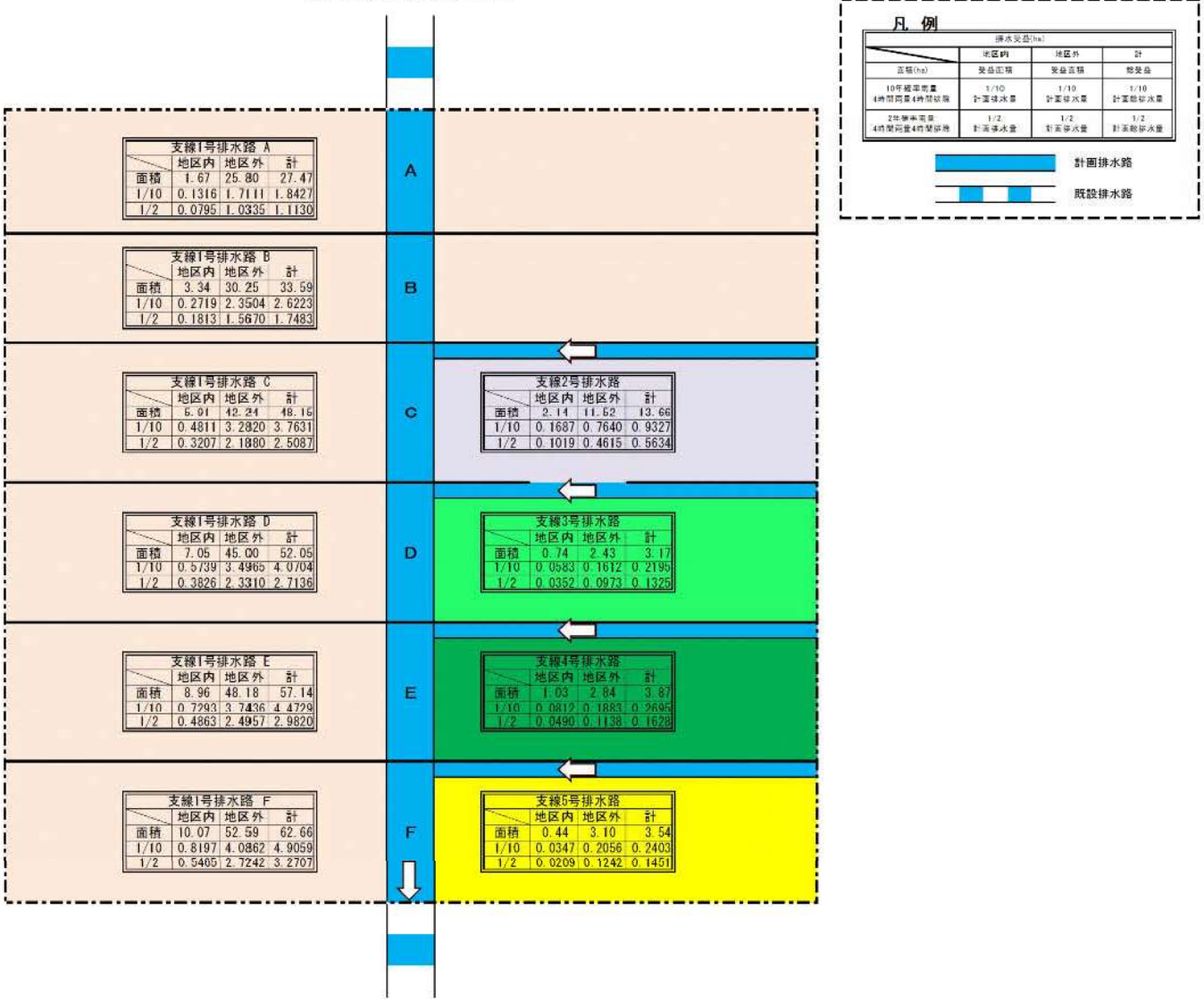
堤の本工区（変更）

計画排水系統図



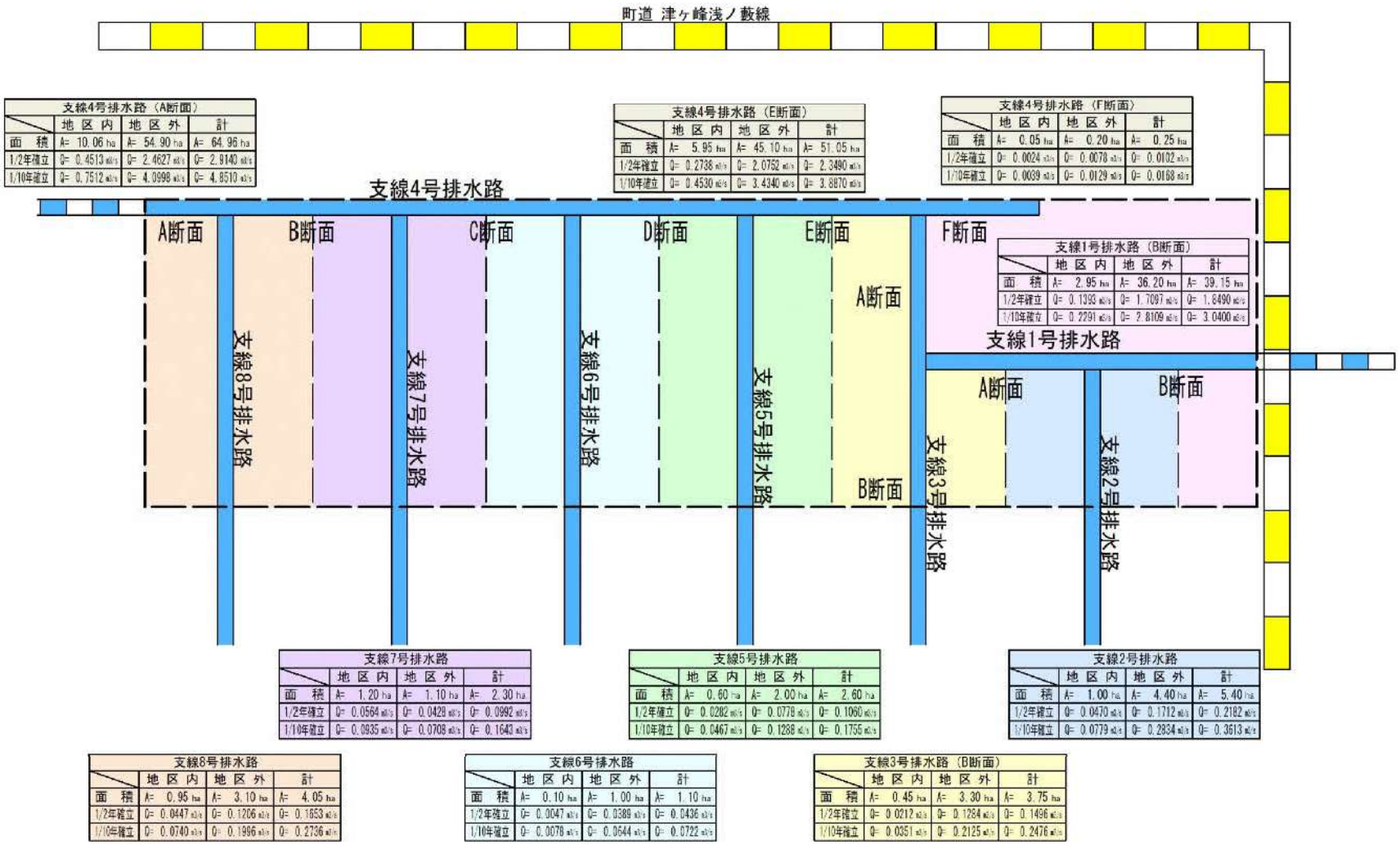
樺迫工区（当初）

計画排水模式図



樺迫工区（変更）

計画排水模式図　　樺 迫 工 区



支線4号排水路（A断面）	地区内	地区外	計
面積	A= 10.06 ha	A= 54.90 ha	A= 64.96 ha
1/2年確立	Q= 0.4513 m3/s	Q= 2.4627 m3/s	Q= 2.9140 m3/s
1/10年確立	Q= 0.7512 m3/s	Q= 4.0998 m3/s	Q= 4.8510 m3/s

支線4号排水路（E断面）	地区内	地区外	計
面積	A= 5.95 ha	A= 45.10 ha	A= 51.05 ha
1/2年確立	Q= 0.2738 m3/s	Q= 2.0752 m3/s	Q= 2.3490 m3/s
1/10年確立	Q= 0.4530 m3/s	Q= 3.4340 m3/s	Q= 3.8870 m3/s

支線4号排水路（F断面）	地区内	地区外	計
面積	A= 0.05 ha	A= 0.20 ha	A= 0.25 ha
1/2年確立	Q= 0.0024 m3/s	Q= 0.0078 m3/s	Q= 0.0102 m3/s
1/10年確立	Q= 0.0039 m3/s	Q= 0.0129 m3/s	Q= 0.0168 m3/s

支線1号排水路（B断面）	地区内	地区外	計
面積	A= 2.95 ha	A= 36.20 ha	A= 39.15 ha
1/2年確立	Q= 0.1393 m3/s	Q= 1.7097 m3/s	Q= 1.8490 m3/s
1/10年確立	Q= 0.2291 m3/s	Q= 2.8109 m3/s	Q= 3.0400 m3/s

支線7号排水路	地区内	地区外	計
面積	A= 1.20 ha	A= 1.10 ha	A= 2.30 ha
1/2年確立	Q= 0.0564 m3/s	Q= 0.0428 m3/s	Q= 0.0992 m3/s
1/10年確立	Q= 0.0935 m3/s	Q= 0.0708 m3/s	Q= 0.1643 m3/s

支線5号排水路	地区内	地区外	計
面積	A= 0.60 ha	A= 2.00 ha	A= 2.60 ha
1/2年確立	Q= 0.0282 m3/s	Q= 0.0778 m3/s	Q= 0.1060 m3/s
1/10年確立	Q= 0.0467 m3/s	Q= 0.1288 m3/s	Q= 0.1755 m3/s

支線2号排水路	地区内	地区外	計
面積	A= 1.00 ha	A= 4.40 ha	A= 5.40 ha
1/2年確立	Q= 0.0470 m3/s	Q= 0.1712 m3/s	Q= 0.2182 m3/s
1/10年確立	Q= 0.0779 m3/s	Q= 0.2834 m3/s	Q= 0.3613 m3/s

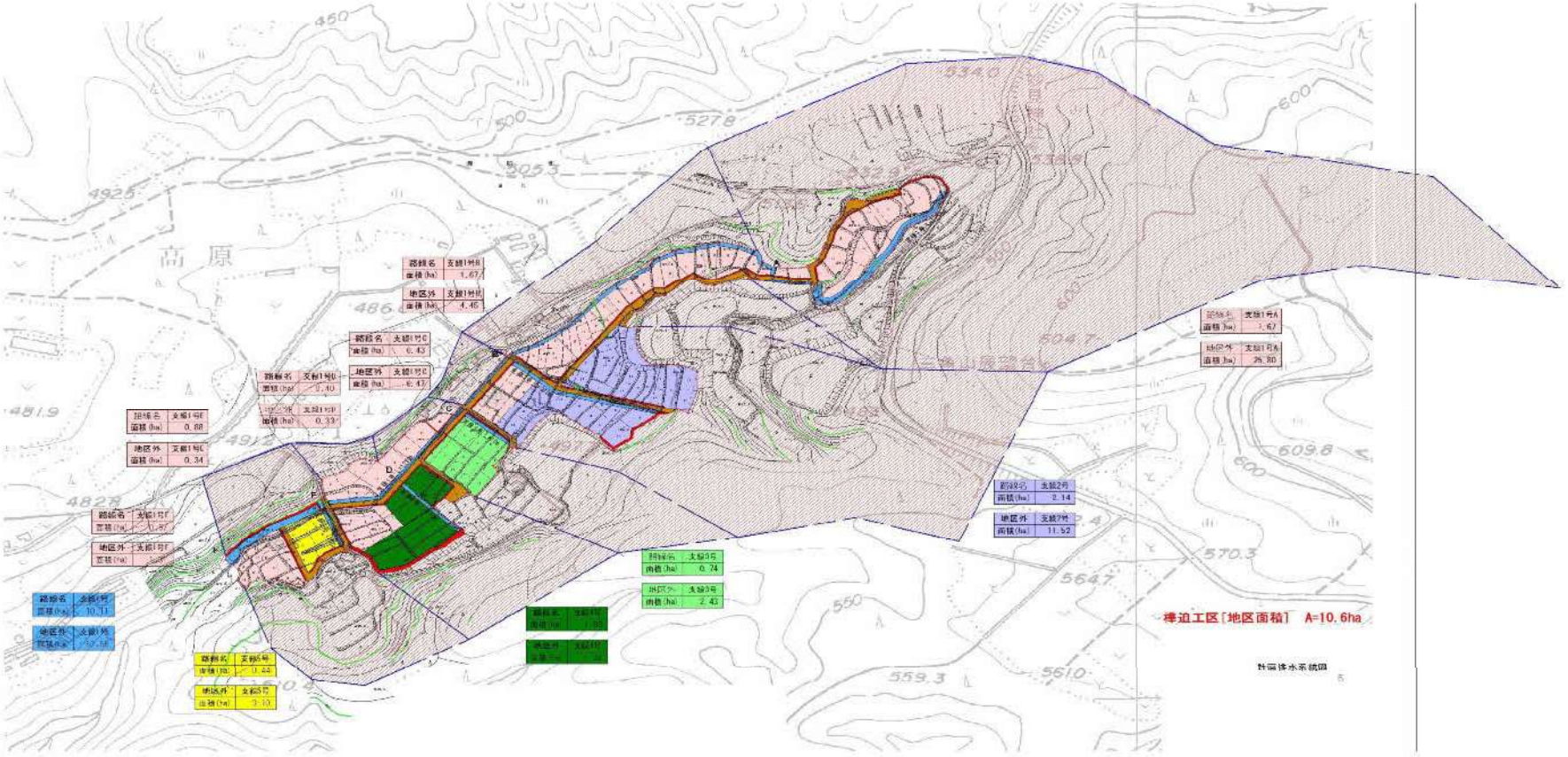
支線8号排水路	地区内	地区外	計
面積	A= 0.95 ha	A= 3.10 ha	A= 4.05 ha
1/2年確立	Q= 0.0447 m3/s	Q= 0.1206 m3/s	Q= 0.1653 m3/s
1/10年確立	Q= 0.0740 m3/s	Q= 0.1996 m3/s	Q= 0.2736 m3/s

支線6号排水路	地区内	地区外	計
面積	A= 0.10 ha	A= 1.00 ha	A= 1.10 ha
1/2年確立	Q= 0.0047 m3/s	Q= 0.0389 m3/s	Q= 0.0436 m3/s
1/10年確立	Q= 0.0078 m3/s	Q= 0.0644 m3/s	Q= 0.0722 m3/s

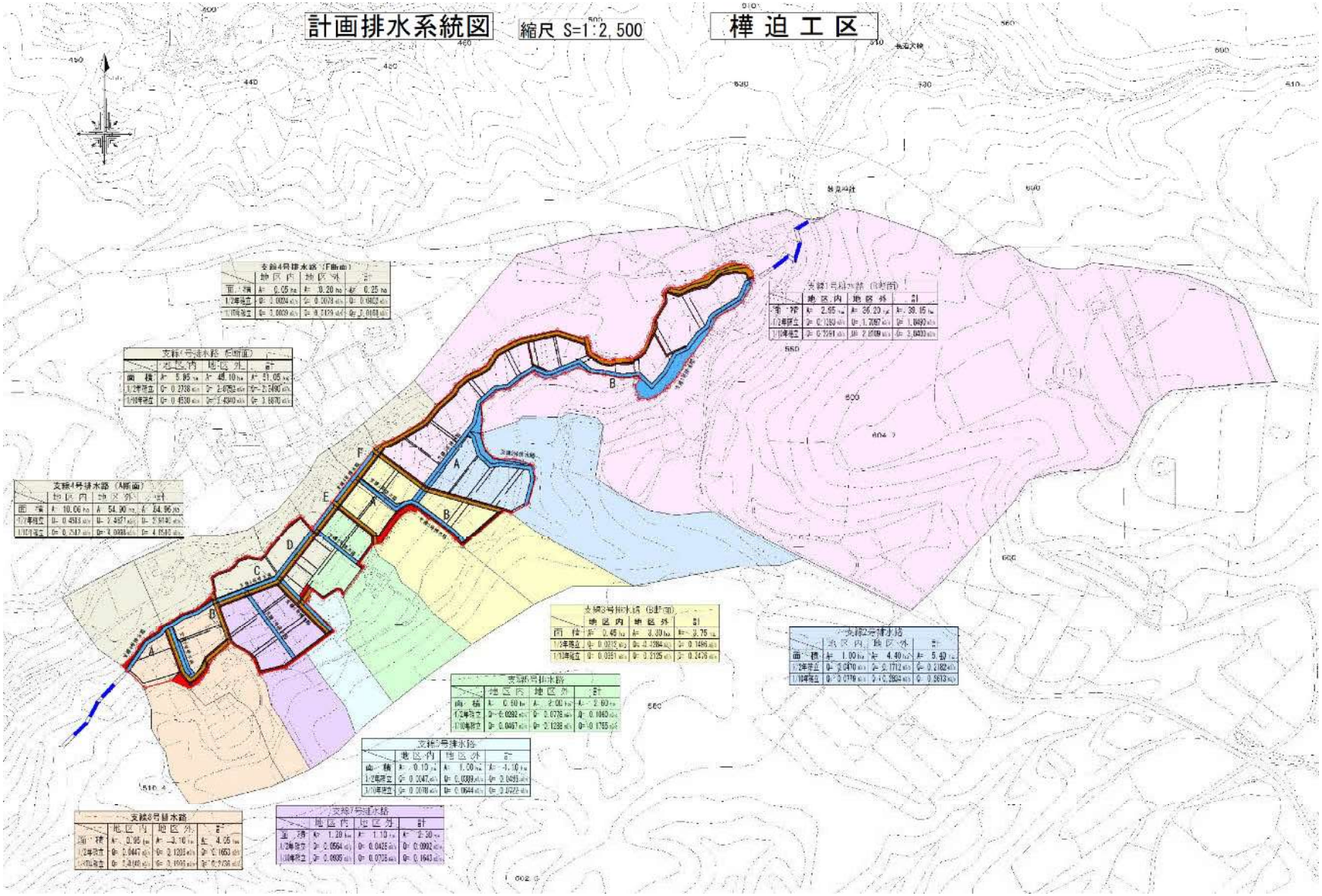
支線3号排水路（B断面）	地区内	地区外	計
面積	A= 0.45 ha	A= 3.30 ha	A= 3.75 ha
1/2年確立	Q= 0.0212 m3/s	Q= 0.1284 m3/s	Q= 0.1496 m3/s
1/10年確立	Q= 0.0351 m3/s	Q= 0.2125 m3/s	Q= 0.2476 m3/s

樺迫工区（当初）

計画排水系統図

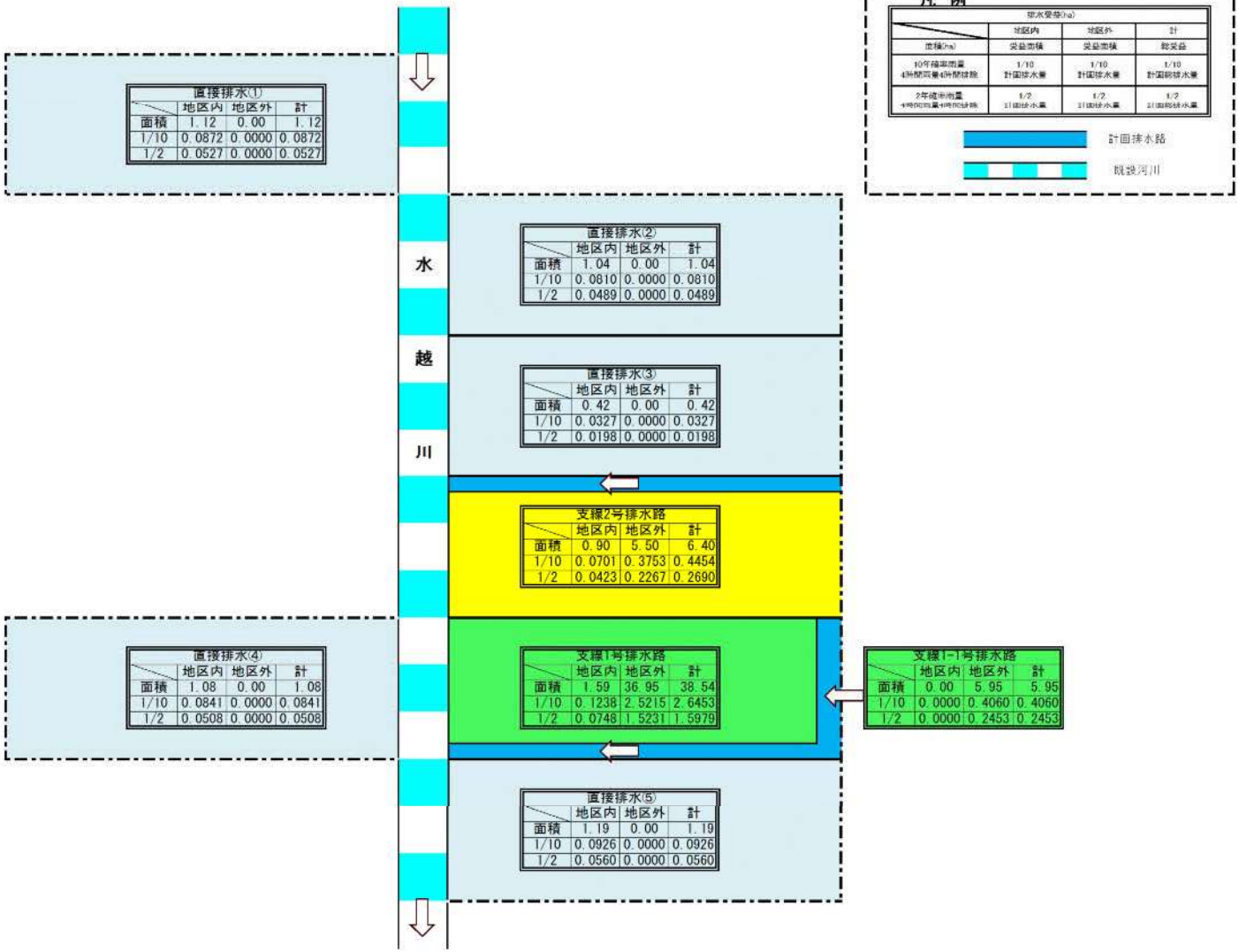


樺迫工区（変更）



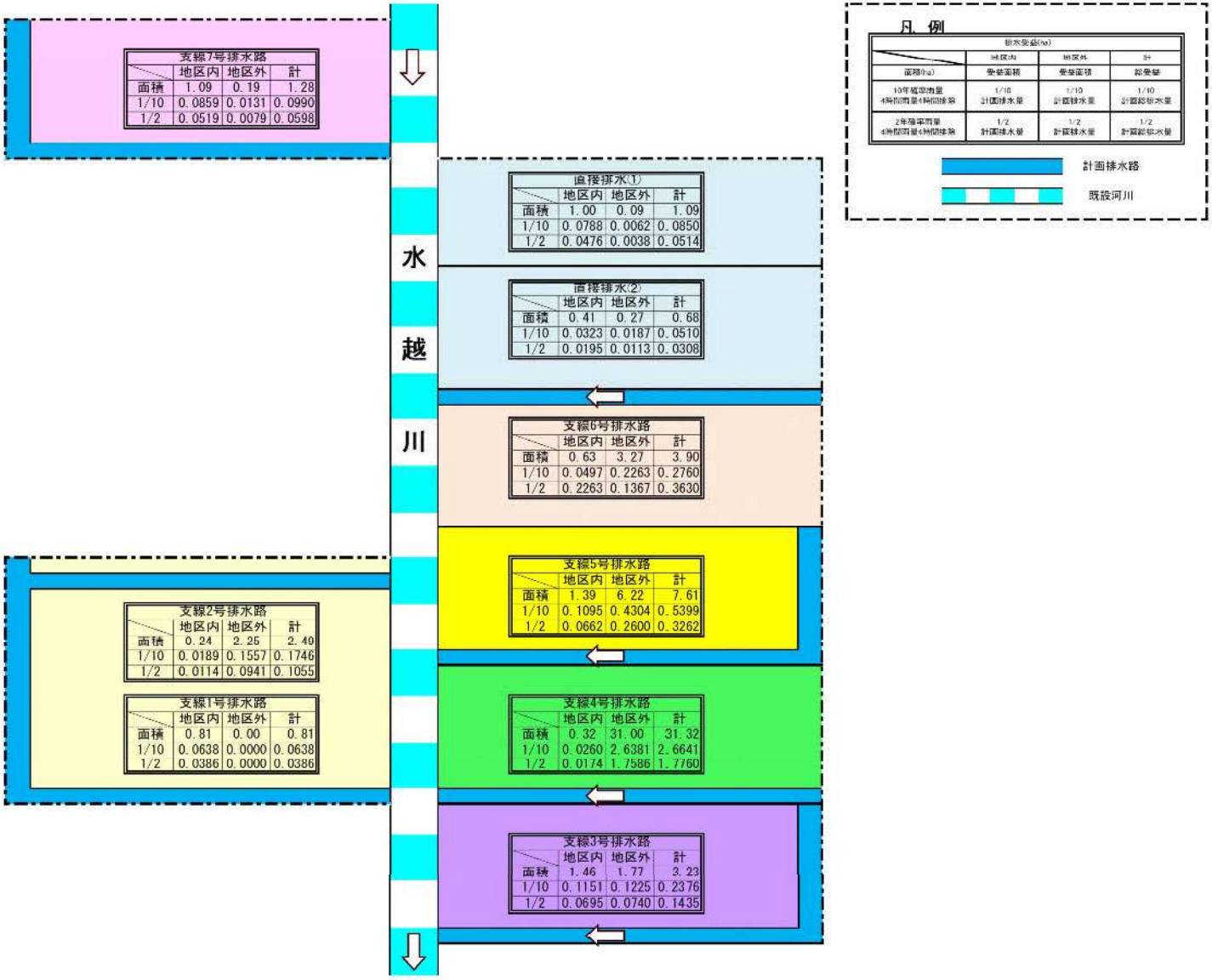
有水工区（当初）

計画排水模式図



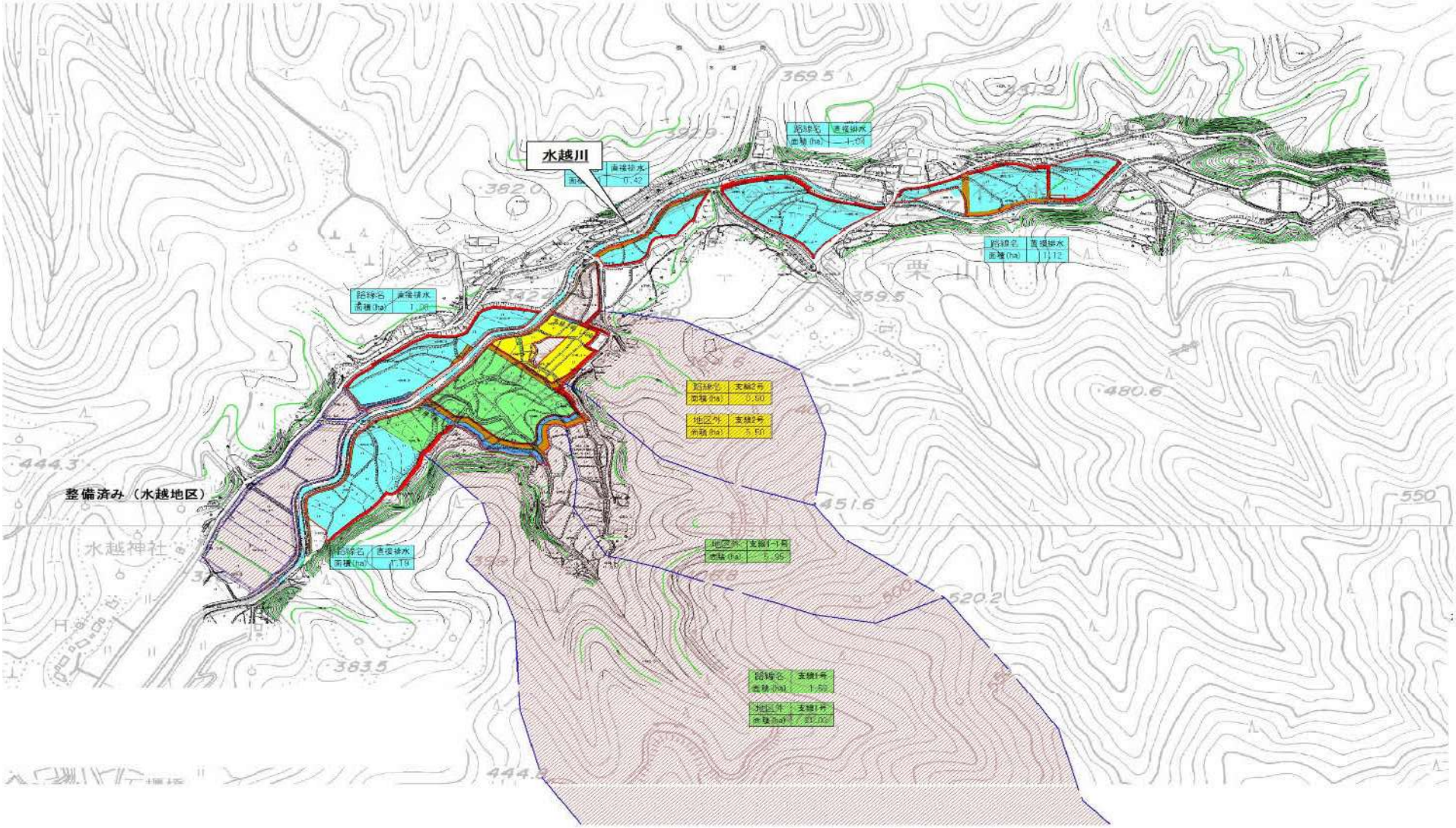
有水工区（変更）

計画排水模式図

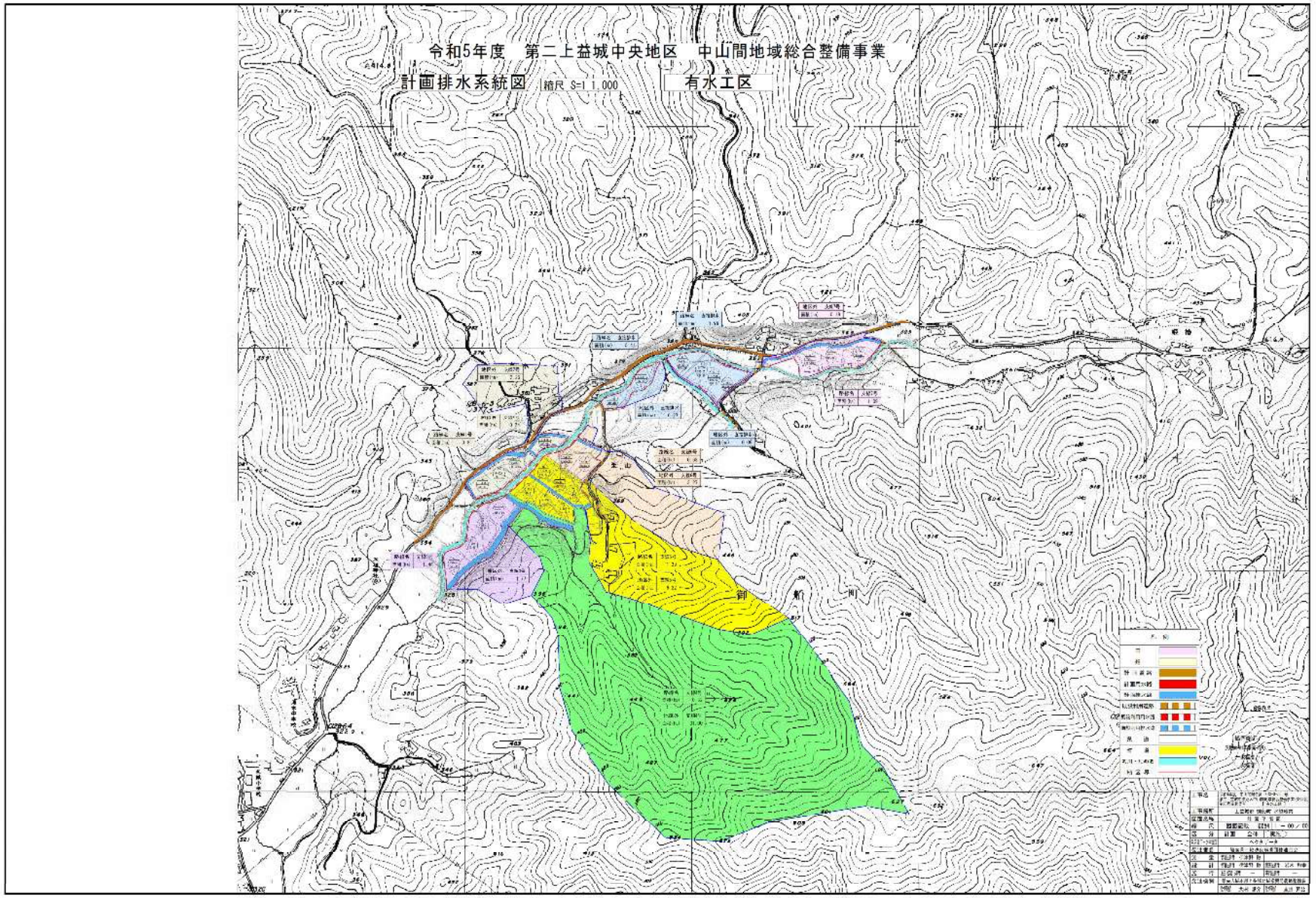


有水工区（当初）

計画排水系統図



有水工区(変更)



1. 幅員

支線道路・・・全幅(3.0～4.0m),有効幅員(2.5～3.0m)
(支線道路・・・全幅(4.0m),有効幅員(3.0m))

耕作道路・・・全幅(3.0m),有効幅員(2.5m)
(耕作道路・・・全幅(3.0m),有効幅員(2.5m))

2. 舗装

支線道路・・・ｺﾝｸﾘｰﾄ舗装、砂利舗装
(支線道路・・・ｺﾝｸﾘｰﾄ舗装、砂利舗装)

耕作道路・・・砂利舗装
(耕作道路・・・砂利舗装)

3. 接続

(塔の本工区)県道221号線(田代御船線)・広域農道(マミコゥロード)と接続
((塔の本工区)県道221号線(田代御船線)・広域農道(マミコゥロード)と接続)

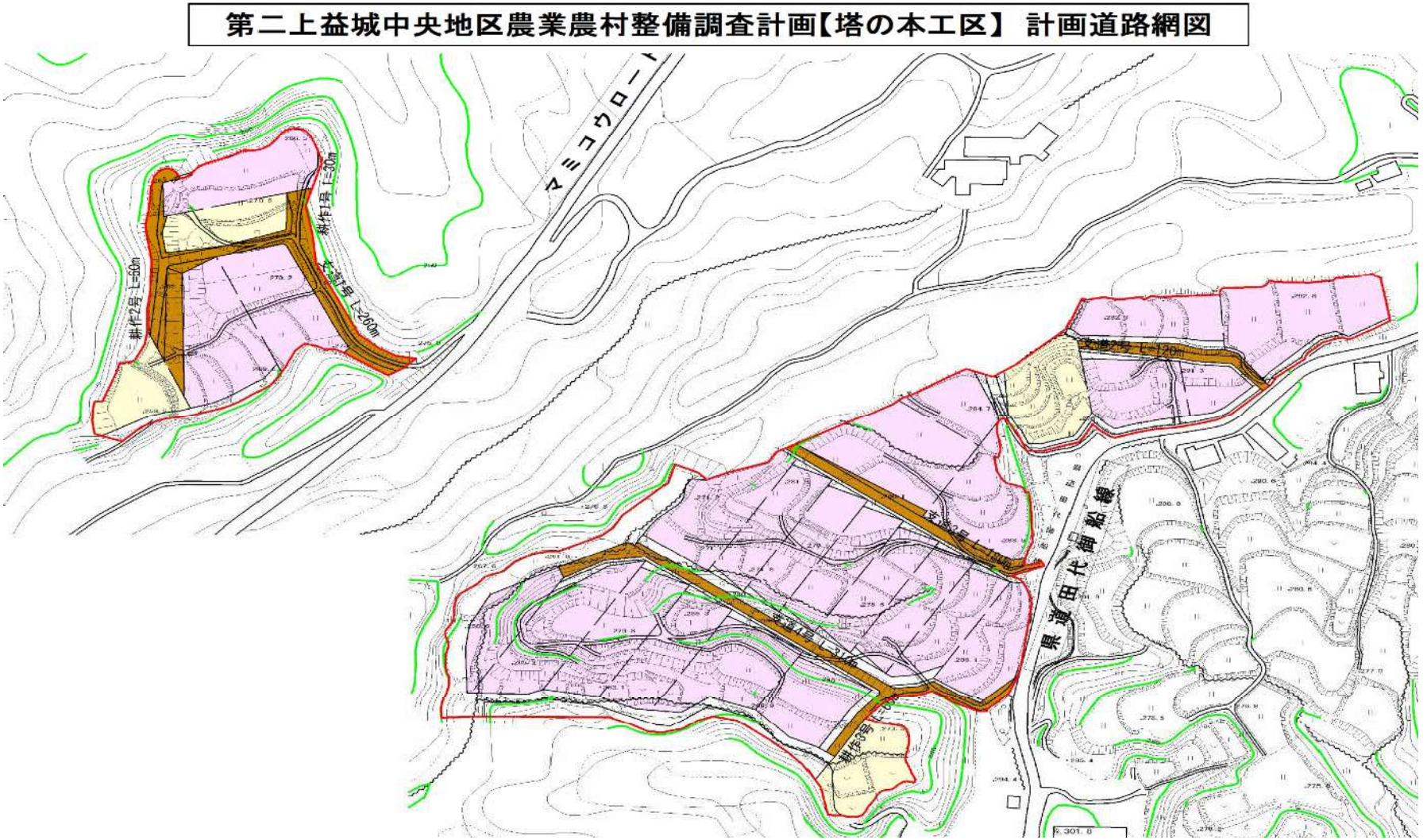
(堤の本工区)　町道　八勢釜出線と接続
((堤の本工区)　町道　八勢釜出線と接続)

(樺迫工区)　町道津ケ峰線(薮線)と接続
((樺迫工区)　町道津ケ峰線(薮線)と接続)

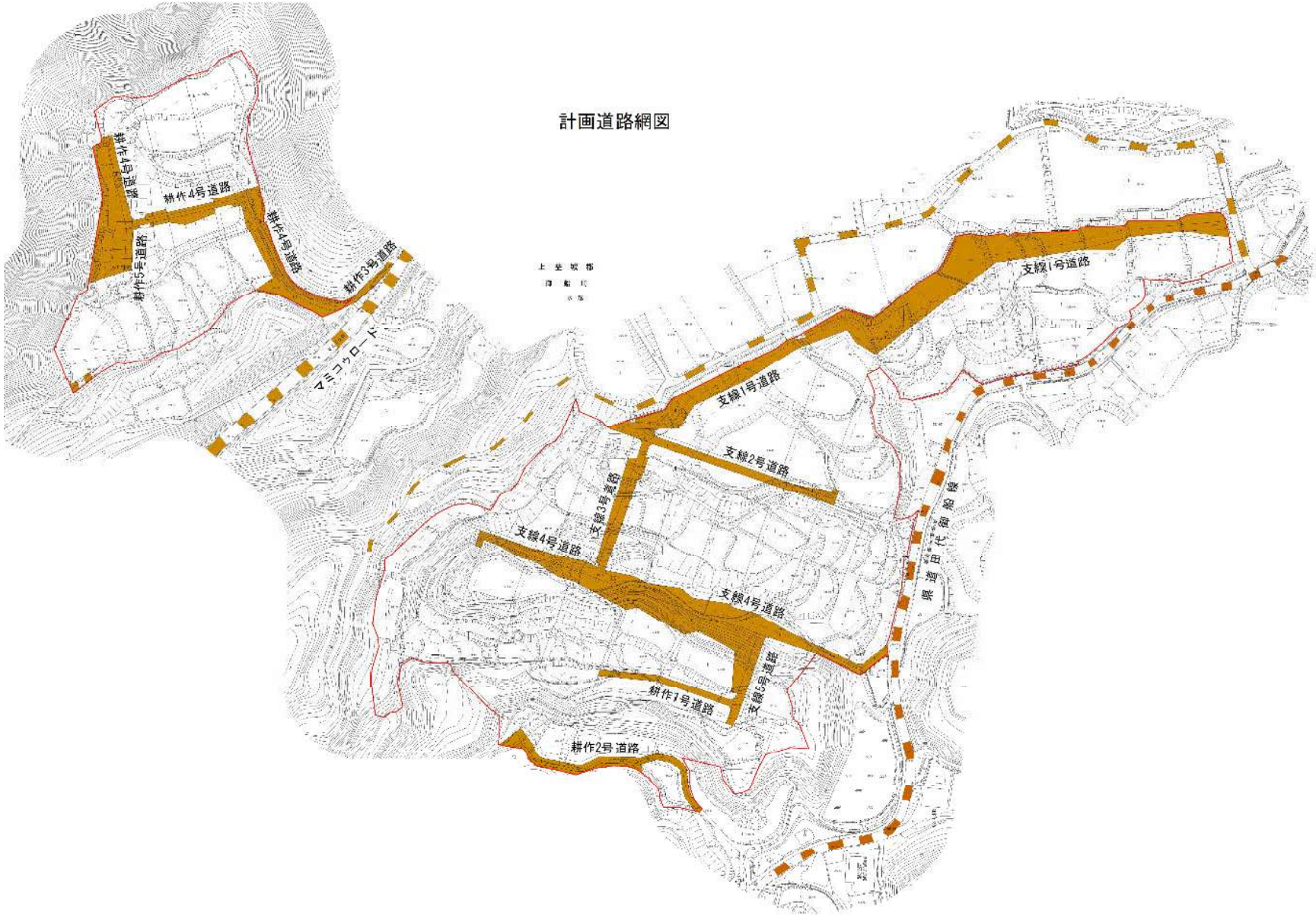
(有水工区)　県道152号稲生野甲佐線・水越川河川管理道路と接続
((有水工区)　県道152号稲生野甲佐線・水越川河川管理道路と接続)

※(P17-1～P17-4)ページの計画道路網図を参照

塔の本工区（当初）

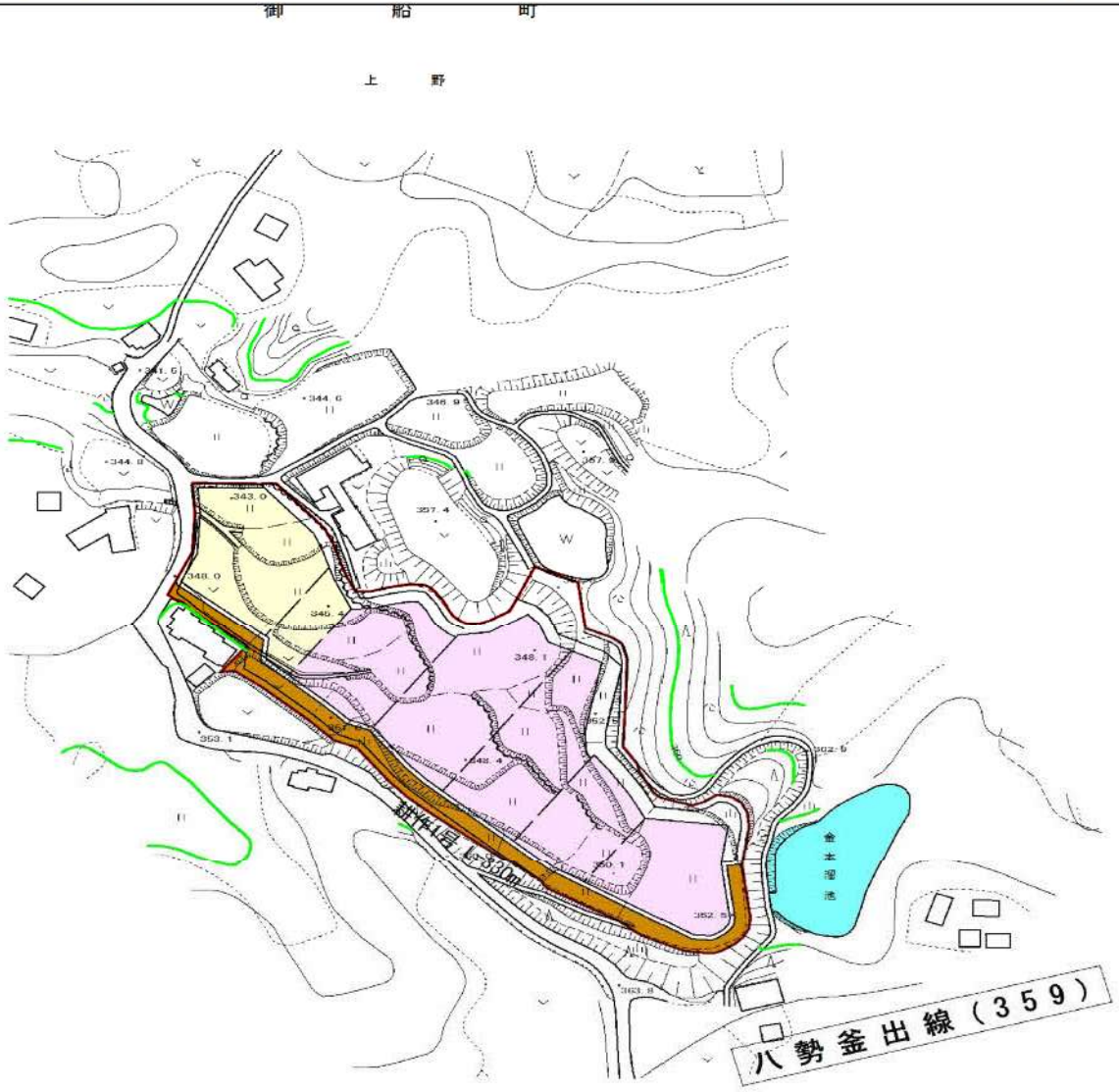

第二上益城中央地区農業農村整備調査計画【塔の本工区】 計画道路網図
マミヨウロード
林作1号 L=30m
林作2号 L=60m
林作3号 L=200m
林作4号 L=120m
林作5号 L=130m
林作6号 L=310m
林作7号
県道甲佐御船線

塔の本工区（変更）


計画道路網図
耕作4号道路
耕作3号道路
耕作5号道路
マミコウロード
支線1号道路
支線2号道路
支線3号道路
支線4号道路
耕作1号道路
耕作2号道路

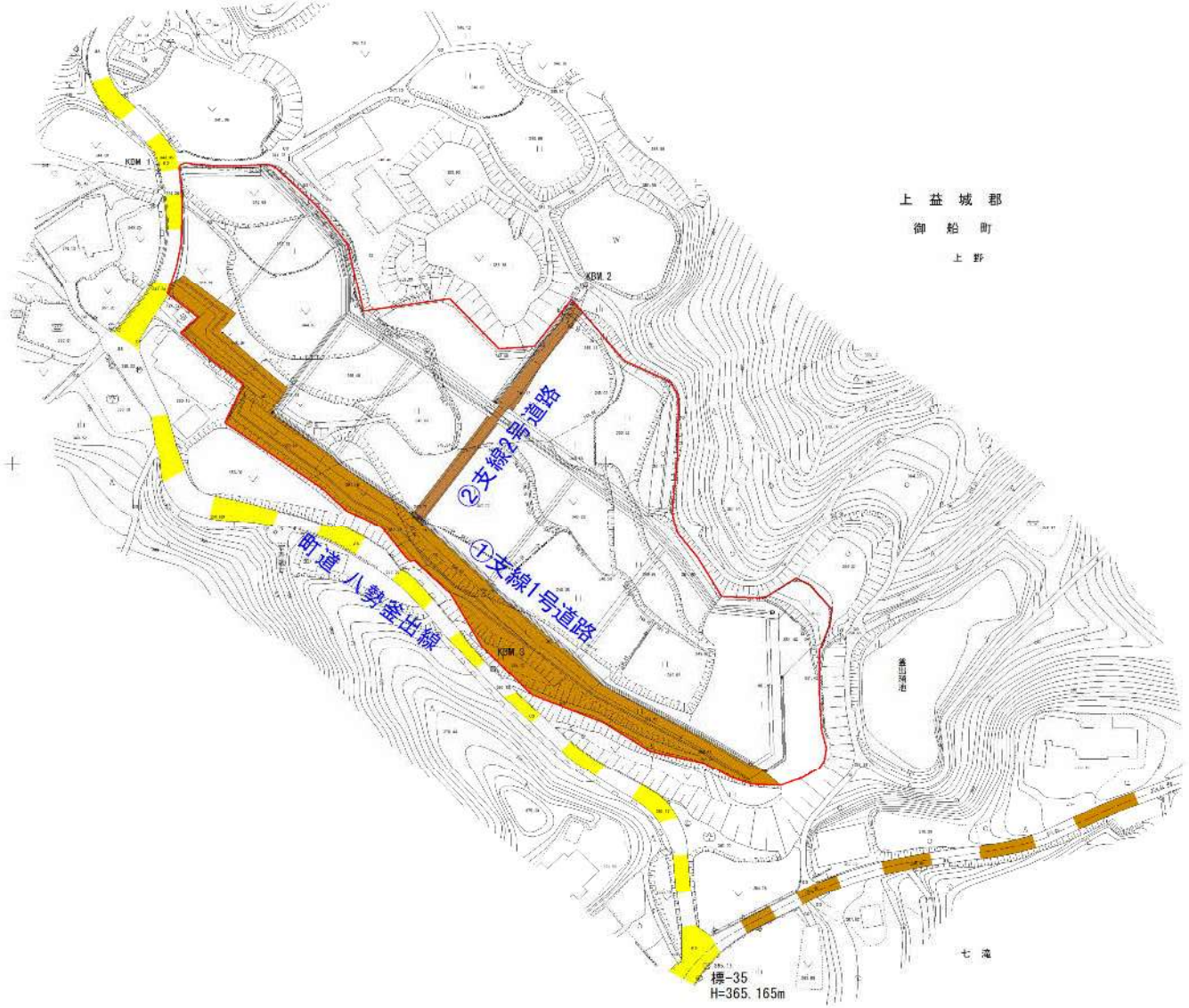
堤の本工区（当初）

第二上益城中央地区中山間地域総合整備事業【堤の本工区】　計画道路網図

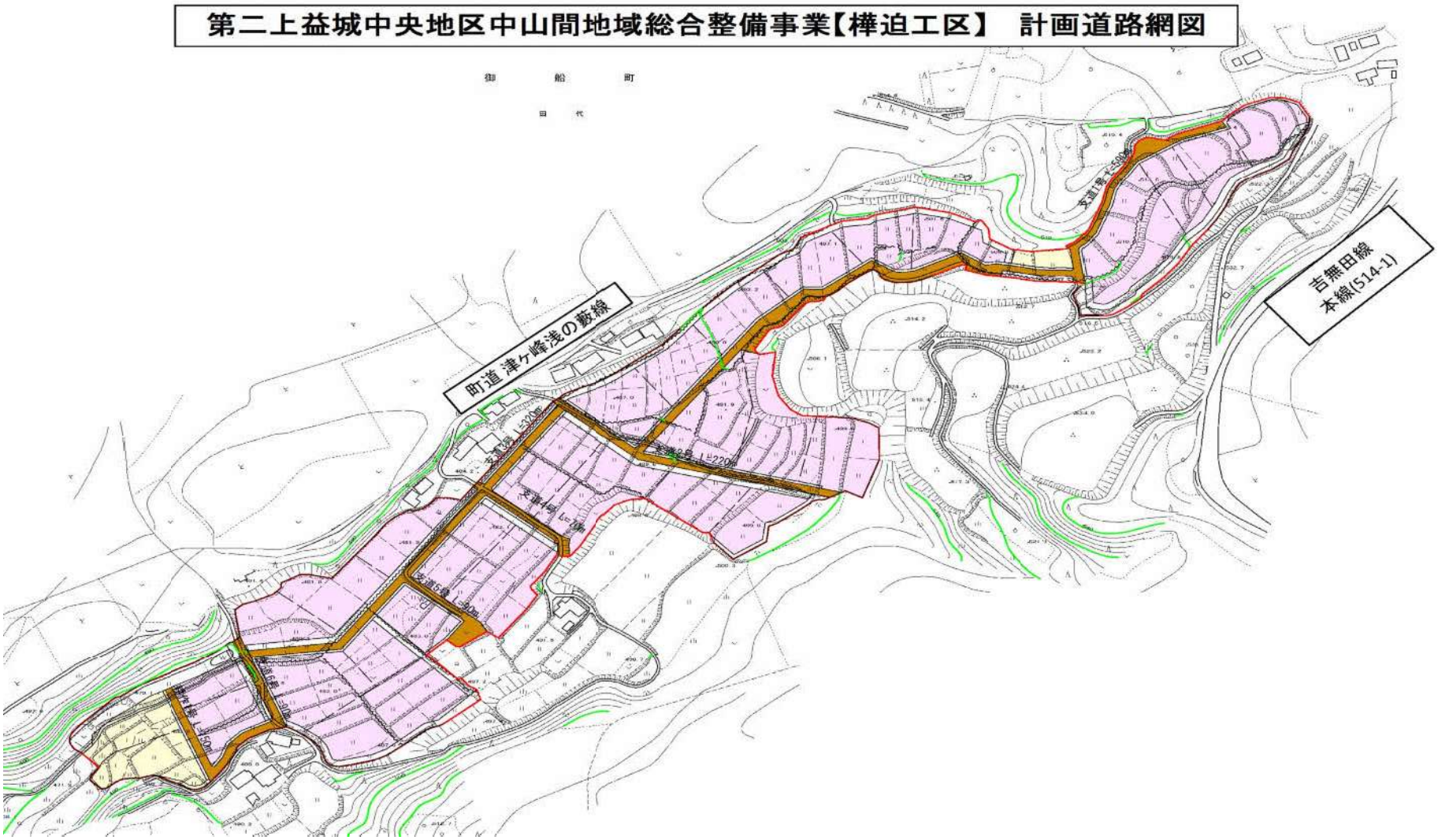


堤の本工区（変更）

計画道路網図



樺迫工区（当初）


第二上益城中央地区中山間地域総合整備事業【樺迫工区】　計画道路網図
御船町
町道 津ヶ峰浅の藪線
吉無田線
本線(S14-1)

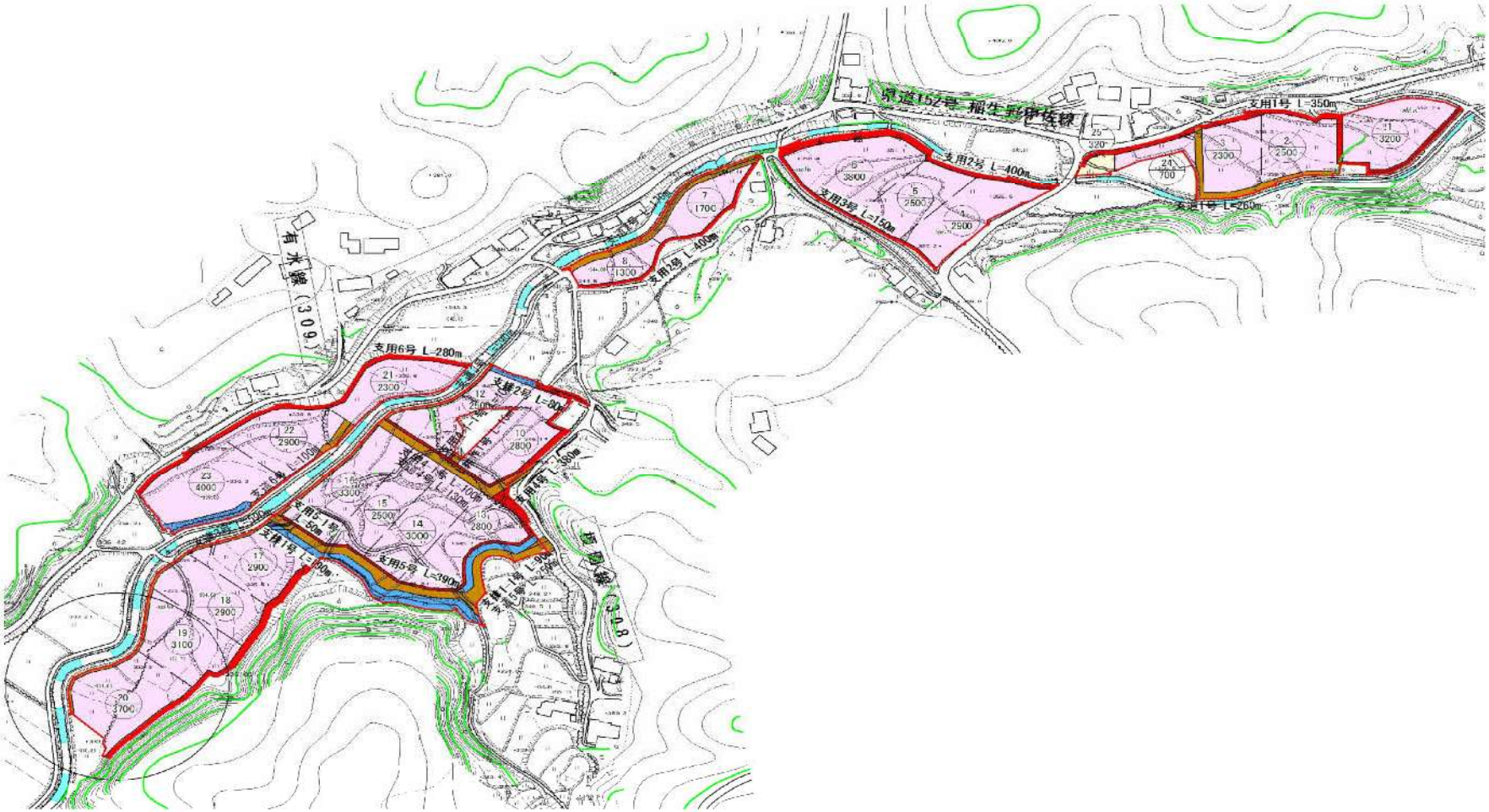
樺迫工区（変更）

計 画 道 路 網 図

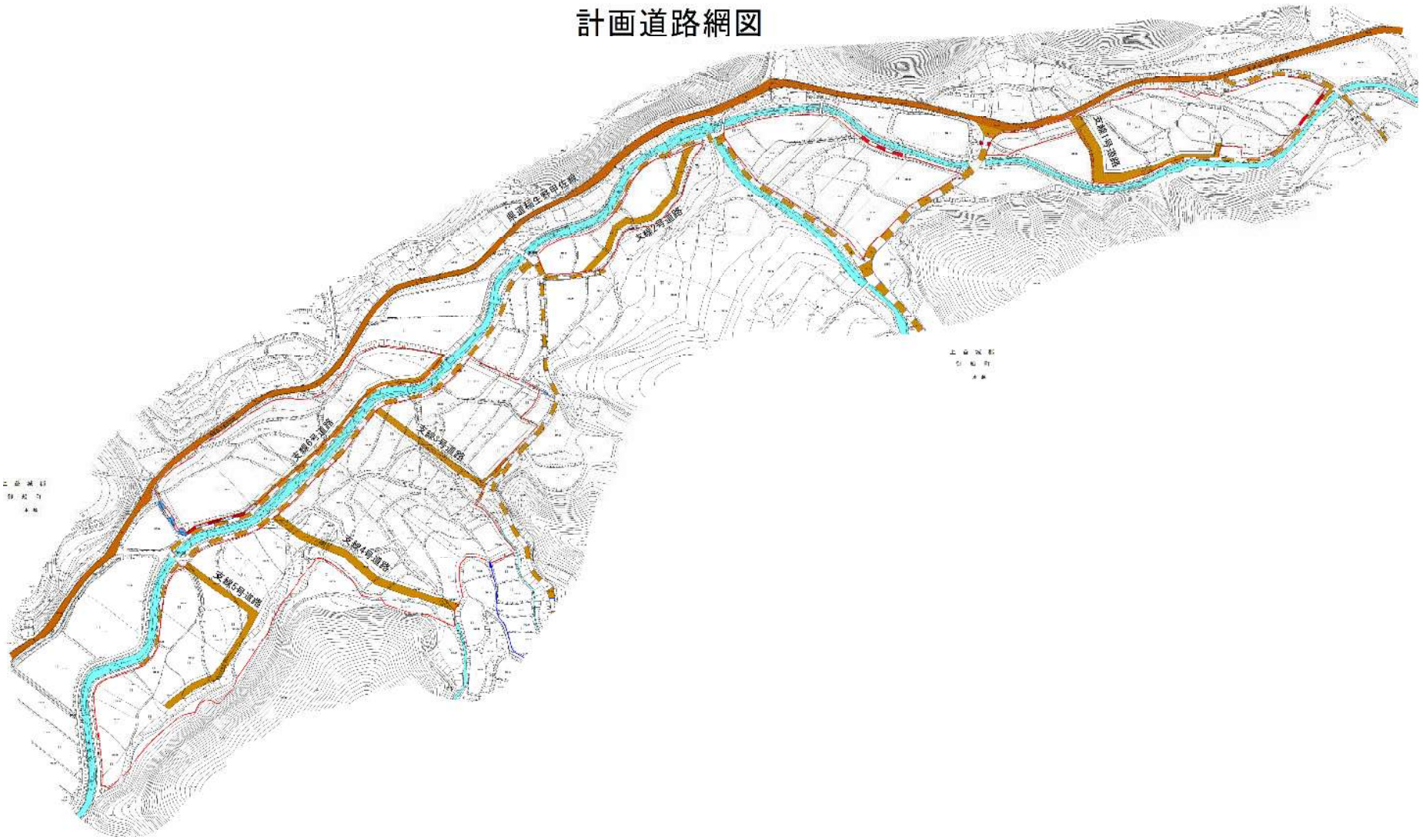


有水工区（当初）

第二上益城中央地区中山間地域総合整備事業【有水工区】　計画道路網図



有水工区（変更）



第6節　農用地整備計画

1. 区画整理

(1)区画の形状

標準区画：長辺（50～65）ｍ×短辺（35～40）ｍ　　0.20～0.23ｈａとする。
(標準区画：長辺（50～90）ｍ×短辺（30～40）ｍ　　0.20～0.27ｈａとする。)

20a以上の割合　85.7%
(20a以上の割合　84.2%)

(2)表土扱い

表土扱い:要(地力維持のため)
(表土扱い:要(地力維持のため))

表土扱い面積:A=19.3ha(受益面積全体)　表土扱い厚:t=20cm　表土扱い土量:V=38,600m3
(表土扱い面積:A=22.0ha(受益面積全体)　表土扱い厚:t=20cm　表土扱い土量:V=44,000m3)

2. 暗渠排水

塔の本工区	：　暗渠排水不要	黄褐色土壌粘土型　I82	該当なし
	：(暗渠排水不要	黄褐色土壌粘土型　I82	該当なし)
堤の本工区	：　暗渠排水不要	黄褐色土壌強粘土型　I82	該当なし
	：(暗渠排水不要	黄褐色土壌強粘土型　I82	該当なし)
樺迫工区	：　暗渠排水必要	グライ土壌壌土型　E43	A=6.70ha
	：(暗渠排水必要	グライ土壌壌土型　E43	A=7.44ha)
有水工区	：　暗渠排水必要	強グライ土壌粘土還元型　D32	A=5.56ha
	：(暗渠排水必要	強グライ土壌粘土還元型　D32	A=5.96ha)

3. 客　土　　該当なし

計画平均減水深　－　mm／日

計　画　作　土　厚　－　cm(平均)

10a当たりの客土量　　m^3

第7節　老朽ため池改修計画

1. 洪水吐改修計画　　該当なし

計画洪水量

2. 堤体補強計画　　該当なし

3. 取水施設改修計画　　該当なし

第5章　主要工事計画

第1節　用水施設

1. 貯水池

該当なし

（第9表－1）

名称	所在地	構　造			有効貯水量	かんがい面積	維持管理の方法	耐用年数
		型式	堰長 (m)	堰高 (m)	(千m³)	(ha)		

2. 頭首工

該当なし

（第9表－2）

名称	所在地	取　水	構　造			取　水　量		かんがい面積(ha)	維持管理の方法	耐用年数
		河川名	型式	堰長	堰高	代掻期	普通期			

3. 揚水機

該当なし

（第9表－3）

名称	所在地	水源及びその状況	揚水機			原動機			揚水量(m3/min/台)	かんがい面積	建物等附帯施設	維持管理方法	耐用年数
			種類	口径(mm)	台数	種類	動力(kw)	台数					

4. 用水路

（第9表－4）

水路名	延長 (m)	通水量 (m^3／s)	構　造	規　格	附帯構造物	維持管理の方法	耐用年数
塔の本工区							
支線1号用水路	159	0.0090	ｺﾝｸﾘｰﾄ二次製品	ND250型		御船町	40年
(　支線1号用水路　)	(　280　)	(　0.0200　)	(　ｺﾝｸﾘｰﾄ二次製品　)	(　ND250型　)		(　御船町　)	(　40年　)
支線2号用水路	269	0.0034	ｺﾝｸﾘｰﾄ二次製品	ND250型		御船町	40年
(　支線1-1号用水路　)	(　120　)	(　0.0039　)	(　ｺﾝｸﾘｰﾄ二次製品　)	(　ND250型　)		(　御船町　)	(　40年　)
支線3号用水路	202	0.0145	ｺﾝｸﾘｰﾄ二次製品	ND300型		御船町	40年
(　支線2号用水路　)	(　170　)	(　0.0413　)	(　ｺﾝｸﾘｰﾄ二次製品　)	(　ND300型　)		(　御船町　)	(　40年　)
支線4号用水路	368	0.0206	ｺﾝｸﾘｰﾄ二次製品	ND250型		御船町	40年
(　支線3号用水路　)	(　290　)	(　0.0267　)	(　ｺﾝｸﾘｰﾄ二次製品　)	(　ND250型　)		(　御船町　)	(　40年　)
支線5号用水路	83	0.0010	ｺﾝｸﾘｰﾄ二次製品	ND250型		御船町	40年
(　支線3-1号用水路　)	(　60　)	(　0.0045　)	(　ｺﾝｸﾘｰﾄ二次製品　)	(　ND250型　)		(　御船町　)	(　40年　)
支線6号用水路	299	0.0167	ｺﾝｸﾘｰﾄ二次製品	ND250型		御船町	40年
(　支線4号用水路　)	(　300　)	(　0.0172　)	(　硬質塩化ﾋﾞﾆﾙ管　)	(　VPφ150　)		(　御船町　)	(　40年　)
支線7号用水路	210	0.0452	ｺﾝｸﾘｰﾄ二次製品	ND300型		御船町	40年
(　－　)	(　－　)	(　－　)	(　－　)	(　－　)		(　－　)	(　－　)
支線8号用水路	280	0.0203	ｺﾝｸﾘｰﾄ二次製品	VPφ125		御船町	40年
(　－　)	(　－　)	(　－　)	(　－　)	(　－　)		(　－　)	(　－　)
支線9号用水路	30	0.0008	硬質塩化ﾋﾞﾆﾙ管	VPφ75		御船町	40年
(　－　)	(　－　)	(　－　)	(　－　)	(　－　)		(　－　)	(　－　)
既設1号用水路	130	0.0003				御船町	
(　－　)	(　－　)	(　－　)				(　－　)	
塔の本工区計	2,030						
(　)	(　1,220　)						
堤の本工区							
支線1号用水路	290	0.0160	ｺﾝｸﾘｰﾄ二次製品	ND250型		御船町	40年
(　支線1号用水路　)	(　400　)	(　0.0217　)	(　ｺﾝｸﾘｰﾄ二次製品　)	(　ND250型　)		(　御船町　)	(　40年　)
支線2号用水路	42	0.0009				御船町	
(　－　)	(　－　)	(　－　)				(　－　)	
堤の本工区計	332						
(　)	(　400　)						

4. 用水路

（第9表－4）

水路名	延長 (m)	通水量 (m^3／s)	構　造	規　格	附帯構造物	維持管理の方法	耐用年数
樺迫工区							
支線1号用水路 (支線1号用水路)	1,016 (670)	0.0366 (0.0367)	ｺﾝｸﾘｰﾄ二次製品 (ｺﾝｸﾘｰﾄ二次製品)	ND250～ND350型 (ND300型)		御船町 (御船町)	40年 (40年)
支線1-1号用水路 支線2号用水路	55 (810)	補給水 (0.0697)	ｺﾝｸﾘｰﾄ二次製品 (ｺﾝｸﾘｰﾄ二次製品)	ND250型 (ND350型)		御船町 (御船町)	40年 (40年)
支線1-2号用水路 支線3号用水路	69 (70)	補給水 (0.0056)	ｺﾝｸﾘｰﾄ二次製品 (ｺﾝｸﾘｰﾄ二次製品)	ND250型 (ND350型)		御船町 (御船町)	40年 (40年)
支線2号用水路 支線4号用水路	208 (90)	0.0226 (0.0028)	ｺﾝｸﾘｰﾄ二次製品 (ｺﾝｸﾘｰﾄ二次製品)	ND250型 (ND250型)		御船町 (御船町)	40年 (40年)
支線2-1号用水路 支線5号用水路	14 (230)	0.0226 (0.0225)	ｺﾝｸﾘｰﾄ二次製品 (ｺﾝｸﾘｰﾄ二次製品)	ND250型 (ND300型)		御船町 (御船町)	40年 (40年)
支線3号用水路 支線5-1号用水路	235 (160)	0.0578 (0.0065)	ｺﾝｸﾘｰﾄ二次製品 (ｺﾝｸﾘｰﾄ二次製品)	ND350型 (ND250型)		御船町 (御船町)	40年 (40年)
支線4号用水路 (－)	119 (－)	0.0578 (－)	－ (－)	ND350型 (－)		御船町 (－)	40年 (－)
支線5号用水路 (－)	93 (－)	0.0047 (－)	－ (－)	ND250型 (－)		御船町 (－)	40年 (－)
支線6号用水路 (－)	100 (－)	0.0075 (－)	－ (－)	ND250型 (－)		御船町 (－)	40年 (－)
支線7号用水路 (－)	248 (－)	0.0150 (－)	－ (－)	ND250型 (－)		御船町 (－)	40年 (－)
支線8号用水路 (－)	393 (－)	0.0476 (－)	－ (－)	ND300型 (－)		御船町 (－)	40年 (－)
支線9号用水路 (－)	93 (－)	補給水 (－)	－ (－)	ND250型 (－)		御船町 (－)	40年 (－)
支線10号用水路 (－)	92 (－)	0.0052 (－)	－ (－)	ND250型 (－)		御船町 (－)	40年 (－)
樺迫工区計	2,735 (2,030)						

4. 用水路

（第9表－4）

水路名	延長 (m)	通水量 (㎥／s)	構　造	規　格	附帯構造物	維持管理の方法	耐用年数
有水工区							
支線1号用水路	220	0.0171	ｺﾝｸﾘｰﾄ二次製品	ND250型		御船町	40年
(　支線1号用水路　)	(　350　)	(　0.0197　)	(　ｺﾝｸﾘｰﾄ二次製品　)	(　ND250型　)		(　御船町　)	(　40年　)
支線2号用水路	250	0.0088	ｺﾝｸﾘｰﾄ二次製品	ND250型		御船町	40年
(　支線2号用水路　)	(　400　)	(　0.0049　)	(　ｺﾝｸﾘｰﾄ二次製品　)	(　ND250型　)		(　御船町　)	(　40年　)
支線3号用水路	100	補給水	ｺﾝｸﾘｰﾄ二次製品	ND250型		御船町	40年
(　支線3号用水路　)	(　150　)	(　0.0150　)	(　ｺﾝｸﾘｰﾄ二次製品　)	(　ND250型　)		(　御船町　)	(　40年　)
支線4号用水路	140	0.0090	ｺﾝｸﾘｰﾄ二次製品	ND250型		御船町	40年
(　支線4号用水路　)	(　380　)	(　0.0139　)	(　ｺﾝｸﾘｰﾄ二次製品　)	(　ND250型　)		(　御船町　)	(　40年　)
支線5号用水路	70	0.0082	ｺﾝｸﾘｰﾄ二次製品	ND250型		御船町	40年
(　支線4-1号用水路　)	(　100　)	(　0.0051　)	(　ｺﾝｸﾘｰﾄ二次製品　)	(　ND250型　)		(　御船町　)	(　40年　)
支線6号用水路	170	0.0174	ｺﾝｸﾘｰﾄ二次製品	ND250型		御船町	40年
(　支線5号用水路　)	(　390　)	(　0.0405　)	(　ｺﾝｸﾘｰﾄ二次製品　)	(　ND300型　)		(　御船町　)	(　40年　)
支線7号用水路	200	0.0106	ｺﾝｸﾘｰﾄ二次製品	ND250型		御船町	40年
(　支線5-1号用水路　)	(　50　)	(　0.0101　)	(　ｺﾝｸﾘｰﾄ二次製品　)	(　ND250型　)		(　御船町　)	(　40年　)
支線8号用水路	190	0.0170	ｺﾝｸﾘｰﾄ二次製品	ND250型		御船町	40年
(　支線6号用水路　)	(　280　)	(　0.0150　)	(　ｺﾝｸﾘｰﾄ二次製品　)	(　ND250型　)		(　御船町　)	(　40年　)
支線9号用水路	200	0.0034	ｺﾝｸﾘｰﾄ二次製品	ND250型		御船町	40年
(　支線4-1-1号用水路　)	(　10　)	(　0.0010　)	(　ｺﾝｸﾘｰﾄ二次製品　)	(　ND250型　)		(　御船町　)	(　40年　)
－	－	－	－	－		－	－
(　支線4-1-2号用水路　)	(　40　)	(　0.4454　)	(　ｺﾝｸﾘｰﾄ二次製品　)	(　大型水路800×800　)		(　御船町　)	(　40年　)
有水工区計	1,540 (　2,150　)						
地区合計	6,637 (　5,800　)						

5. 計画用水系統

(P14-1～P14-8)ページの計画用水系統図を参照

第2節　排水施設

1. 排水樋門

該当なし

（第10表－1）

項目 / 名称	所在地	型　式	構　造	内水位 (m)	外水位 (m)	排水量 (m3/s)	備　考
計							

2. 排水機

該当なし

（第10表－2）

名称	所在地	原動機 種類口径台数 種類台数能力	実揚程 (m)	排水量 (㎥/S)	吐き出し 河川名	流域面積 (ha)	建物等の 附帯施設	維持管理 の方法	耐用年数

3. 排水路

（第10表－3）

水路名	延長 (m)	排水量 (㎥／s)	構　造	規　格 B × H	附帯構造物	維持管理の方法	耐用年数
塔の本工区							
支線1号排水路	195	0.271	コンクリート二次製品	排水トラフ400型	－	御船町	40年
支線1号排水路	(110)	(0.118)	(コンクリート二次製品)	(排水トラフ300型)	(－)	(御船町)	(40年)
支線2号排水路	272	1.020	コンクリート二次製品	排水トラフ400～600型	－	御船町	40年
支線2号排水路	(250)	(1.011)	(コンクリート二次製品)	(排水トラフ500型)	(－)	(御船町)	(40年)
支線3号排水路	270	0.291	コンクリート二次製品	排水トラフ400型	－	御船町	40年
支線3号排水路	(230)	(0.309)	(コンクリート二次製品)	(排水トラフ400型)	(－)	(御船町)	(40年)
支線4号排水路	123	0.124	コンクリート二次製品	排水トラフ300型	－	御船町	40年
支線4号排水路	(210)	(0.176)	(コンクリート二次製品)	(排水トラフ300型)	(－)	(御船町)	(40年)
－	－	－	－	－	－	－	－
支線5号排水路	(30)	(0.088)	(コンクリート二次製品)	(排水トラフ300型)	(－)	(御船町)	(40年)
－	－	－	－	－	－	－	－
支線6号排水路	(100)	(0.118)	(コンクリート二次製品)	(排水トラフ300型)	(-)	(御船町)	(40年)
塔の本工区計	860 930						
堤の本工区							
支線1号排水路	245 (330)	0.611 (0.364)	コンクリート二次製品 (コンクリート二次製品)	排水トラフ500型 (排水トラフ400型)	－ (－)	御船町 (御船町)	40年 (40年)
樋迫工区							
支線1号排水路	660	3.502	コンクリート二次製品	大型水路1100～1200×1000	－	御船町	40年
支線1号排水路	(1,210)	(4.906)	(コンクリート二次製品)	(組立柵渠1800×1000)	(－)	(御船町)	(40年)
支線2号排水路	177	0.361	コンクリート二次製品	排水トラフ400型	－	御船町	40年
支線2号排水路	(210)	(0.933)	(コンクリート二次製品)	(排水トラフ600型)	(－)	(御船町)	(40年)
支線3号排水路 (支線3号排水路)	193 (160)	3.829 (0.220)	コンクリート二次製品 (コンクリート二次製品)	大型水路1200×1000 排水トラフ400型 (排水トラフ400型)	－ (－)	御船町 (御船町)	40年 (40年)
支線4号排水路 (支線4号排水路)	481 (110)	4.851 (0.270)	コンクリート二次製品 (コンクリート二次製品)	大型水路1700×1200 大型水路1200～1400×1000 排水トラフ300型 (排水トラフ400型)	－ (－)	御船町 (御船町)	40年 (40年)
支線5号排水路 (支線5号排水路)	78 (60)	0.176 (0.240)	コンクリート二次製品 (コンクリート二次製品)	排水トラフ300型 (排水トラフ400型)	－ (－)	御船町 (御船町)	40年 (40年)

3. 排水路

（第10表－3）

水路名	延長 (m)	排水量 (㎥／s)	構　造	規　格 B × H	附帯構造物	維持管理の方法	耐用年数
支線6号排水路	109	0.072	コンクリート二次製品	排水トラフ300型	－	御船町	40年
(支線3-1号排水路)	(80)	(0.220)	(コンクリート二次製品)	(排水トラフ300型)	(－)	(御船町)	(40年)
支線7号排水路	119	0.164		排水トラフ300型	－	御船町	40年
(－)	(－)	(－)	－	(－)	(－)	(－)	(－)
支線8号排水路	75	0.274		排水トラフ400型	－	御船町	40年
(－)	(－)	(－)	－	(－)	(－)	(－)	(－)
	1,892						
樺迫工区計	(1,830)						
有水工区							
支線1号排水路	300	0.064	コンクリート二次製品	排水トラフ300型	－	御船町	40年
支線1号排水路	(190)	(3.203)	(コンクリート二次製品)	(組立柵渠1500×900)	(－	(御船町)	(40年)
支線2号排水路	20	0.175	コンクリート二次製品	排水トラフ300型	－	御船町	40年
支線1-1号排水路	(90)	(0.405)	(コンクリート二次製品)	(排水トラフ500型)	(－	(御船町)	(40年)
支線3号排水路	250	0.238	コンクリート二次製品	排水トラフ400型	－	御船町	40年
支線2号排水路	(80)	(0.445)	(コンクリート二次製品)	(排水トラフ500型)	(－	(御船町)	(40年)
支線4号排水路	170	2.664	コンクリート二次製品	組立柵渠1500×900	－	御船町	40年
(－)	(－)	(－)	(－)	(－)	(－)	(－)	(－)
支線5号排水路	170	0.540	コンクリート二次製品	排水トラフ500型	－	御船町	40年
(－)	(－)	(－)	(－)	(－)	(－)	(－)	(－)
支線6号排水路	70	0.276	コンクリート二次製品	排水トラフ400型	－	御船町	40年
(－)	(－)	(－)	(－)	(－)	(－)	(－)	(－)
支線7号排水路	290	0.099	コンクリート二次製品	排水トラフ300型	－	御船町	40年
(－)	(－)	(－)	(－)	(－)	(－)	(－)	(－)
	1,270						
有水工区計	(360)						
	4,267						
地区合計	(3,450)						

4. 計画排水系統

(P16-3～P16-10)ページの計画排水系統図を参照

第3節 道 路

1. 道 路

（第11表）

路線名	延長（m）	全幅（m）（幅員）	路面構造	附帯構造物			維持管理の方法	耐用年数
				橋梁	暗渠	その他		
（塔の本工区）								
支線1号道路	431	4.0(3.0)	ｺﾝｸﾘｰﾄ舗装,砂利舗装	―	―	―	御船町	15年
（支線1号道路）	（260）	（4.0(3.0)）	（砂利舗装）	（―）	（―）	（―）	（御船町）	（15年）
支線2号道路	124	4.0(3.0)	ｺﾝｸﾘｰﾄ舗装,砂利舗装	―	―	―	御船町	15年
（支線2号道路）	（120）	（4.0(3.0)）	（砂利舗装）	（―）	（―）	（―）	（御船町）	（15年）
支線3号道路	100	4.0(3.0)	砂利舗装	―	―	―	御船町	15年
（支線3号道路）	（180）	（4.0(3.0)）	（ｺﾝｸﾘｰﾄ舗装）	（―）	（―）	（―）	（御船町）	（15年）
支線4号道路	281	4.0(3.0)	ｺﾝｸﾘｰﾄ舗装	―	―	―	御船町	15年
（支線4号道路）	（310）	（4.0(3.0)）	（ｺﾝｸﾘｰﾄ舗装）	（―）	（―）	（―）	（御船町）	（15年）
支線5号道路	64	4.0(3.0)	ｺﾝｸﾘｰﾄ舗装	―	―	―	御船町	15年
（耕作1号道路）	（30）	（3.0(2.5)）	（砂利舗装）	（―）	（―）	（―）	（御船町）	（15年）
耕作1号道路	89	3.0(2.5)	ｺﾝｸﾘｰﾄ舗装,砂利舗装	―	―	―	御船町	15年
（耕作2号道路）	（60）	（3.0(2.5)）	（砂利舗装）	（―）	（―）	（―）	（御船町）	（15年）
耕作2号道路	150	3.0(2.5)	ｺﾝｸﾘｰﾄ舗装,砂利舗装	―	―	―	御船町	15年
（耕作3号道路）	（60）	（3.0(2.5)）	（砂利舗装）	（―）	（―）	（―）	（御船町）	（15年）
耕作3号道路	43	3.0(2.5)	ｺﾝｸﾘｰﾄ舗装	―	―	―	御船町	15年
（―）	（―）	（―）	（―）	（―）	（―）	（―）	（―）	（―）
耕作4号道路	238	3.0(2.5)	ｺﾝｸﾘｰﾄ舗装,砂利舗装	―	―	―	御船町	15年
（―）	（―）	（―）	（―）	（―）	（―）	（―）	（―）	（―）
耕作5号道路	30	3.0(2.5)	ｺﾝｸﾘｰﾄ舗装	―	―	―	御船町	15年
（―）	（―）	（―）	（―）	（―）	（―）	（―）	（―）	（―）
既設1号道路	20	3.0(2.5)	砂利舗装	―	―	―	御船町	15年
（―）	（―）	（―）	（―）	（―）	（―）	（―）	（―）	（―）
塔の本工区計	1,570 （1,020）							

第3節 道 路

1. 道 路

（第11表）

路線名	延長 (m)	全幅(m) (幅員)	路面構造	附帯構造物			維持管理の方法	耐用年数
				橋梁	暗渠	その他		
(堤の本工区)								
耕作1号道路	334	4.0(3.0)	砂利舗装	―	―	―	御船町	15年
(支線1号道路)	(330)	(4.0(3.0))	(砂利舗装)	(―)	(―)	(―)	(御船町)	(15年)
耕作2号道路	94	4.0(3.0)	砂利舗装	―	―	―	御船町	15年
(―)	(―)	(―)	(―)	(―)	(―)	(―)	(―)	(―)
堤の本工区計	428 (330)							
(樺迫工区)								
支線1号道路	120	4.0(3.0)	砂利舗装	―	―	―	御船町	15年
(支線1号道路)	(590)	(4.0(3.0))	(砂利舗装)	(―)	(―)	(―)	(御船町)	(15年)
支線2号道路	207	4.0(3.0)	砂利舗装	―	―	―	御船町	15年
(支線2号道路)	(220)	(4.0(3.0))	(砂利舗装)	(―)	(―)	(―)	(御船町)	(15年)
支線3号道路	356	4.0(3.0)	砂利舗装	―	―	―	御船町	15年
(支線3号道路)	(320)	(4.0(3.0))	(砂利舗装)	(―)	(―)	(―)	(御船町)	(15年)
支線4号道路	204	4.0(3.0)	砂利舗装	―	―	―	御船町	15年
(支線4号道路)	(70)	(4.0(3.0))	(コンクリート舗装)	(―)	(―)	(―)	(御船町)	(15年)
支線5号道路	369	4.0(3.0)	砂利舗装	―	―	―	御船町	15年
(支線5号道路)	(90)	(4.0(3.0))	(砂利舗装)	(―)	(―)	(―)	(御船町)	(15年)
支線6号道路	90	4.0(3.0)	コンクリート舗装	―	―	―	御船町	15年
(支線6号道路)	(90)	(4.0(3.0))	(コンクリート舗装)	(―)	(―)	(―)	(御船町)	(15年)
支線7号道路	100	4.0(3.0)	砂利舗装	―	―	―	御船町	15年
(耕作1号道路)	(150)	(3.0(2.5))	(砂利舗装)	(―)	(―)	(―)	(御船町)	(15年)
支線8号道路	75	4.0(3.0)	コンクリート舗装	―	―	―	御船町	15年
(―)	(―)	(―)	(―)	(―)	(―)	(―)	(―)	(―)
支線9号道路	157	4.0(3.0)	砂利舗装	―	―	―	御船町	15年
(―)	(―)	(―)	(―)	(―)	(―)	(―)	(―)	(―)

第3節 道 路

1. 道 路

（第11表）

路線名	延長 (m)	全幅(m) (幅員)	路面構造	附帯構造物			維持管理の方法	耐用年数
				橋梁	暗渠	その他		
耕作1号道路	24	3.0(2.5)	砂利舗装	－	－	－	御船町	15年
（ － ）	（ － ）	（ － ）	（ － ）	（ － ）	（ － ）	（ － ）	（ － ）	（ － ）
樺迫工区計	1,702 （ 1,530 ）							
（有水工区）								
支線1号道路	160	3.0(2.5)	ｺﾝｸﾘｰﾄ舗装,砂利舗装	－	－	－	御船町	15年
（ 支線1号道路 ）	（ 160 ）	（ 3.0(2.5) ）	（ 砂利舗装 ）	（ － ）	（ － ）	（ － ）	（ 御船町 ）	（ 15年 ）
支線2号道路	140	3.0(2.5)	砂利舗装	－	－	－	御船町	15年
（ 支線2号道路 ）	（ 170 ）	（ 3.0(2.5) ）	（ 砂利舗装 ）	（ － ）	（ － ）	（ － ）	（ 御船町 ）	（ 15年 ）
支線3号道路	130	4.0(3.0)	ｺﾝｸﾘｰﾄ舗装,砂利舗装	－	－	－	御船町	15年
（ 支線3号道路 ）	（ 450 ）	（ 3.0(2.5) ）	（ 砂利舗装 ）	（ － ）	（ － ）	（ － ）	（ 御船町 ）	（ 15年 ）
支線4号道路	170	4.0(3.0)	砂利舗装	－	－	－	御船町	15年
（ 支線4号道路 ）	（ 130 ）	（ 3.0(2.5) ）	（ 砂利舗装 ）	（ － ）	（ － ）	（ － ）	（ 御船町 ）	（ 15年 ）
支線5号道路	170	3.0(2.5)	砂利舗装	－	－	－	御船町	15年
（ 支線5号道路 ）	（ 250 ）	（ 3.0(2.5) ）	（ 砂利舗装 ）	（ － ）	（ － ）	（ － ）	（ 御船町 ）	（ 15年 ）
支線6号道路	200	3.0(2.5)	ｺﾝｸﾘｰﾄ舗装	－	－	－	御船町	15年
（ 支線6号道路 ）	（ 100 ）	（ 3.0(2.5) ）	（ 砂利舗装 ）	（ － ）	（ － ）	（ － ）	（ 御船町 ）	（ 15年 ）
－	－	－	－	－	－	－	－	－
（ 耕作1号道路 ）	（ 10 ）	（ 3.0(2.5) ）	（ 砂利舗装 ）	（ － ）	（ － ）	（ － ）	（ 御船町 ）	（ 15年 ）
有水工区計	970 （ 1,270 ）							
地区合計	4,670 （ 4,150 ）							

第4節　農用地整備施設

1．区画整理

（第12表－1）

工　区　名	面積　(ha)	整　地　工 標準区画(m)	表土扱い 厚さ(cm)	備　　考
塔の本工区	5.7 (7.1)	65　×　35 (80　×　30)	20 (20)	
堤の本工区	1.3) (1.5)	50　×　40 (50　×　40)	20 (20)	
樺迫工区	6.7) (7.4)	50　×　40 (80　×　30)	20 (20)	
有水工区	5.6) (6.0)	50　×　40 (90　×　30)	20 (20)	
計	19.3 (22.0)			

2. 暗渠排水

(1)暗渠排水

(第12表－2－1)

項目／区分	面積 (ha)	集水渠				排水渠						集水渠出口以下の排水施設	備考
		勾配	管種	管径 (mm)	延長 (m/ha)	勾配	管種	管径 (mm)	深さ (m)	間隔 (m)	延長 (m/ha)		
樺迫	6.7 (7.4)	1/350 (1/500)	塩ビ管 (塩ビ管)	50～100 (75)	40 (40)	1/500 (1/500)	波状管 (波状管)	50～100 (60)	0.7 (0.7)	10 (10)	960 (960)	支線排水路(新設) (支線排水路(新設))	
有水	5.6 (6.0)	1/500 (1/500)	塩ビ管 (塩ビ管)	75 (75)	40 (40)	1/500 (1/500)	波状管 (波状管)	60 (60)	0.7 (0.7)	10 (10)	960 (960)	支線排水路(新設) (支線排水路(新設))	
計	12.3 (13.4)												

(2)心土破砕

該当なし

(第12表－2－2)

項目／区分	面積 (ha)	改良深 (m)	破砕間隔 (m)	工法	備考

3. 客　土

該当なし

（第12表－3）

区分＼項目	面　積 (ha)	客土量 (m3)	土取場土量 (m3)	運搬距離 (km)	運搬方法	備　考
計						

4. 除　礫

該当なし

（第12表－4）

区分＼項目	対象土層の厚さ (cm)	ha当たり標準除礫量 (m3/ha)	面　積 (ha)	工　法	備　考

第5節　老朽ため池改修施設

1. 貯水池

該当なし

（第12－5表）

名　　称					位　　置			
堤　　体	型　　式	流　　域 (k㎡)	堤　　高 (m)	堤　　長 (m)	堤 体 積 (m^3)	貯 水 量（千m3）		備　　考
						総貯水量	有効貯水量	
洪 水 吐	型　　式	洪 水 量 (m^3/s)	取 水 施 設	型　　式	取 水 量 (m3/s)	放 流 施 設	型　　式	放 流 量 (m3/s)

2. 堤体補強施設

(1)のり面保護施設

該当なし

(2)漏水防止工

該当なし

第6節　農用地の造成

1. 地目変換

該当なし

（第12－6表）

項　　目 / 区　　分	面　積（ha）	工　法 （主要機械名）	備　　考

第6章　附帯工事計画

該当なし

第7章　工事の着手及び完了の予定時期

着手		令和　2年　10月
	（	令和　2年　10月 ）
完了		令和　11年　3月
	（	令和　8年　3月 ）

第8章　環境との調和への配慮

◆環境保全の基本方針

御船町の豊かな自然環境や文化的な風土を大切にしながら、「人が躍動し、緑輝く町」を創造することは、最も御船らしい町づくりのあり方であり、山裾に広がる里山や田畑、御船川から小川にいたるまで、ふるさとの原風景が広がり、町全体が自然の中に溶け込んでいるように美しく、文化の香り高いまちづくりを目指す。

◆地域の農業農村整備事業における環境への対応方策

本町では、農業を基幹産業として位置付けている。この基幹産業の農業については、生産基盤としての農地をより効率的に利用し、農地を招かないように後継者の育成や省力化並びに施設栽培の団地化等を推進していく。

①農薬・化学肥料による自然環境汚染の防止、②自然公園区域の自然環境の保全、③緑地空間の有効利用

④開発による自然破壊の防止、⑤歴史的文化の保存及び地域文化の継承、⑥遊休農地の有効利用、⑦優良農地の保全・確保

⑧有機減農薬農業の推進

◆本地区における環境配慮対策

(1) 生態系の配慮について

工事期間中、貴重な生物等が確認された場合、捕獲・採取し移植を行い生態系への影響の軽減を計る。

(2) 工事施工時における配慮について

工事期間中の汚濁水が河川へ直接流出しないよう防止対策に努める。

また、周辺家屋等に影響がないよう低振動、低騒音及び排出ガス対策型の施工機械の使用に努める。

第9章　換地計画の概要

第1節　換地計画を作成する上での基本的な考え方

地　積　の　基　準　：　換地交付の基準とする従前の地積は、事業主体の行う実測（空中写真測量）による。
但し、本人確認の日から3カ月以内に測量士・測量士補又は、土地家屋調査士の測量した実測図及び隣接所有者の同意書を添付して申出があった場合は、その申出のあった地積とする。

経営調査の方法　：　農家の意向調査等

土地評価の定め方　：　項目別配点方式による。（換地委員会において土地評価基準を作成し、土地の評価を行う。）

清　算　の　方　法　：　比例地積清算方式

第2節　換地区の設定

1．換地区の名称、所在及び面積

（第13表－1）

換地区名	換地区の所在	面積(ha)
塔の本換地区 （　塔の本換地区　）	熊本県上益城郡御船町 （　熊本県上益城郡御船町　）	10.1 （　9.4　）
堤の本換地区 （　堤の本換地区　）	熊本県上益城郡御船町 （　熊本県上益城郡御船町　）	2.1 （　2.1　）
樺迫換地区 （　樺迫換地区　）	熊本県上益城郡御船町 （　熊本県上益城郡御船町　）	10.1 （　10.1　）
有水換地区 （　有水換地区　）	熊本県上益城郡御船町 （　熊本県上益城郡御船町　）	7.4 （　7.3　）
計		29.7 （　28.9　）

2．換地区を設定する理由

本地区の土地所有状況及び土地利用の計画等を勘案した合理的な換地計画の策定及び工事の実施に合わせた計画的な換地処分を行うため、4つの換地区を設定する。

第3節　換地計画樹立の基本方針

1. 従前の土地の地積の基準

（第13表－2）

換　地　区　名	地　　積　　の　　基　　準
塔の本換地区 堤の本換地区 樺迫換地区 有水換地区	換地交付の基準とする従前の土地の地積は、事業主体の行う実測（空中写真測量）による地積とする。 但し、本人確認の日から3ヵ月以内に測量士、測量士補又は土地家屋調査士の測量した実測図及び隣接所有者の同意書を添付して申出があった場合は、その申出のあった地積とする。 （換地交付の基準とする従前の土地の地積は、事業主体の行う実測（空中写真測量）による地積とする。 但し、本人確認の日から3ヵ月以内に測量士、測量士補又は土地家屋調査士の測量した実測図及び隣接所有者の同意書を添付して申出があった場合は、その申出のあった地積とする。）

2. 用途別予定地積

（単位:ha）（第13表－3）

換地区名	項目（取得予定者）	非農用地地区域外に換地する土地												非農用地区域に換地する土地											機能交換に係る土地				一般国公有地	総合計
		田	畑	山林・原野	その他	通常事業施工地域に含める土地（令第1条の9()書き）			計	本事業によって生ずる土地改良施設用地			創設農用地	合計	特定用途用地			異種目換地	創設非農用地					合計	国	県	市町村他	合計		
						土地改良施設	その他	小計		改良区	その他	計			宅地	その他	計		農業施設用地	必要施設用地	公共用地	宅地等	計								
塔の本	従前の土地	8.6 (7.8)	0.9 (1.1)						9.5 (8.9)					9.5 (8.9)													0.6 (0.5)	0.6 (0.5)		10.1 (9.4)
	換地	5.2 (6.2)	0.5 (0.9)						5.7 (7.1)		2.3 (0.6)	2.3 (0.6)		8.0 (7.7)													2.1 (1.7)	2.1 (1.7)		10.1 (9.4)
堤の本	従前の土地	1.6 (1.6)	0.5 (0.5)						2.1 (2.1)					2.1 (2.1)													0.0 (0.0)	0.0 (0.0)		2.1 (2.1)
	換地	0.8 (1.2)	0.5 (0.3)						1.3 (1.5)		0.7 (0.3)	0.7 (0.3)		2.0 (1.8)													0.1 (0.3)	0.1 (0.3)		2.1 (2.1)
樺迫	従前の土地	9.1 (9.0)	0.6 (0.6)						9.7 (9.6)					9.7 (9.6)													0.4 (0.5)	0.4 (0.5)		10.1 (10.1)
	換地	6.6 (6.9)	0.1 (0.5)						6.7 (7.4)		2.4 (1.5)	2.4 (1.5)		9.1 (8.9)				0.2 ( )						0.2 ( )			0.8 (1.2)	0.8 (1.2)		10.1 (10.1)
有水	従前の土地	7.0 (7.0)	0.1 (0.0)						7.1 (7.0)					7.1 (7.0)													0.3 (0.3)	0.3 (0.3)		7.4 (7.3)
	換地	5.5 (6.0)	0.1 (0.0)						5.6 (6.0)		0.8 (0.5)	0.8 (0.5)		6.4 (6.5)													1.0 (0.8)	1.0 (0.8)		7.4 (7.3)
	従前の土地																													
	換地																													
	従前の土地																													
	換地																													
合計	従前の土地	26.3 (25.4)	2.1 (2.2)						28.4 (27.6)					28.4 (27.6)													1.3 (1.3)	1.3 (1.3)		29.7 (28.9)
	換地	18.1 (20.3)	1.2 (1.7)						19.3 (22.0)		6.2 (2.9)	6.2 (2.9)		25.5 (24.9)													4.0 (4.0)	4.0 (4.0)		29.7 (28.9)

※「異種目換地」の「従前の土地」には、異種目換地の原資となる土地の面積（内諾・同意の面積）を記入する。

3. 農用地集団化の方針

（第13表－4）

区分 / 換地区名	地帯別、グループ別団地の設定	個人別換地の方法		
		位置の選択方法	1戸当たり目標団地数	区画畦畔の取扱い
塔の本換地区 堤の本換地区 樺迫換地区 有水換地区	集落別集団化	換地は、各人の従前地が最も密集した位置を中心に定める。	1～3団地	畦畔は、配分面積に応じて移動して定めるものとする。
	（集落別集団化）	（換地は、各人の従前地が最も密集した位置を中心に定める。）	（1～3団地）	（畦畔は、配分面積に応じて移動して定めるものとする。）

4. 非農用地の換地方法

該当なし

（第13表－5）

区分 / 換地区名	種類	非農用地区域の位置の概略	面積（㎡）	換地の手法	換地取得予定者	その他

第4節　土地の評価及び清算の方法

1. 評価の方法

項目別配点(採点)方式

2. 清算の方法

比例地積清算方式

第5節　換地計画樹立の年度計画

（第13表－6）

区分 / 換地区名	一時利用地の指定予定年度	換地計画の決定予定年度	換地処分の予定年度	備考
塔の本換地区	令和7年	令和9年	令和11年	
(塔の本換地区)	(令和5年)	(令和7年)	(令和9年)	
堤の本換地区	令和5年	令和7年	令和8年	
(堤の本換地区)	(令和4年)	(令和6年)	(令和8年)	
樺迫換地区	令和6年	令和8年	令和10年	
(樺迫換地区)	(令和4年)	(令和6年)	(令和8年)	
有水換地区	令和7年	令和9年	令和11年	
(有水換地区)	(令和6年)	(令和8年)	(令和10年)	

第6節　換地処分の時期に関する特則

換地区毎に、区画変更工事が完了し、確定測量が行われたときは、土地改良法第89条の2第10項で準用する同法第54条第2項ただし書の規定に基づき、換地処分を行うことができる。

第10章　事業費の総額及び内訳

（第14表－1）

単位;千円

主 要 工 事 費	1,223,600 (607,000)
測量及び設計費	112,200 (53,000)
用地費及び補償費	22,000 (11,000)
換　地　費	75,200 (61,000)
附 帯 工 事	
小　　計	1,433,000 (732,000)
地 方 事 務 費(5%)	71,650 (36,600)
計	1,504,650 (768,600)

事業費の負担区分及び地元負担の基準

（第14表－2）

	事業費	事務費
国庫負担予定額	788,150 千円 55.0% (402,600)	
県費負担予定額	429,900 千円 30.0% (219,600)	71,650 千円 5.0% (36,600)
市町村負担予定額	143,300 千円 10.0% (73,200)	
機構集積推進費 (地元負担予定額)	71,650 千円 5.0% (36,600)	
計	1,433,000 千円 (732,000)	71,650 千円 (36,600)

第11章 効　用

（第15表）

区分＼項目	年総効果(便益)額（千円）	現況年総農業所得額（千円）	年総増加農業所得額（千円）	備　考
食料の安定供給の確保に関する効果	17,765 (17,217)		4,240 (6,671)	作物生産効果
食料の安定供給の確保に関する効果	9,528 (10,807)		11,362 (12,387)	営農経費節減効果
食料の安定供給の確保に関する効果	△ 2,332 △ 1,935		1,201 (1,393)	維持管理費節減効果
その他の効果	22 (22)			耕作放棄地防止効果
水源涵養効果	61,726 (47,717)			
国産農産物安定効果	3,300 (2,940)			
計	90,009 (76,768)		16,803 (20,451)	(令和 5 年度単価) (令和 1 年度単価)

総費用(現在価値)：1,433,845 千円 (674,481)

総便益(現在価値)：2,174,674 千円 (1,558,307)

総費用総便益比＝ 2,174,674 千円 (1,558,307) ／ 1,433,845 千円 (674,481) ＝ 1.51 (2.31)

第12章　関連する事業

該当なし

第13章　施設の管理

（第16表）

施設の種類	工事完了後の管理者	管理開始の手段	管理開始の時期
農業用道路 (　農業用道路　)	御船町 (　御船町　)	財産譲与又は、管理委託 (　財産譲与又は、管理委託　)	工事完了後 (　工事完了後　)
農業用用水路 (　農業用用水路　)	御船町 (　御船町　)	財産譲与又は、管理委託 (　財産譲与又は、管理委託　)	工事完了後 (　工事完了後　)
農業用排水路 (　農業用排水路　)	御船町 (　御船町　)	財産譲与又は、管理委託 (　財産譲与又は、管理委託　)	工事完了後 (　工事完了後　)

(1)管理開始の特例

ただし、財産譲与、換地処分前であっても、管理を委託された者は、ただちに管理を開始するものとする。

(2)財産譲与・換地処分の条件

なし

第14章　現況･計画図面

1. 現況平面図

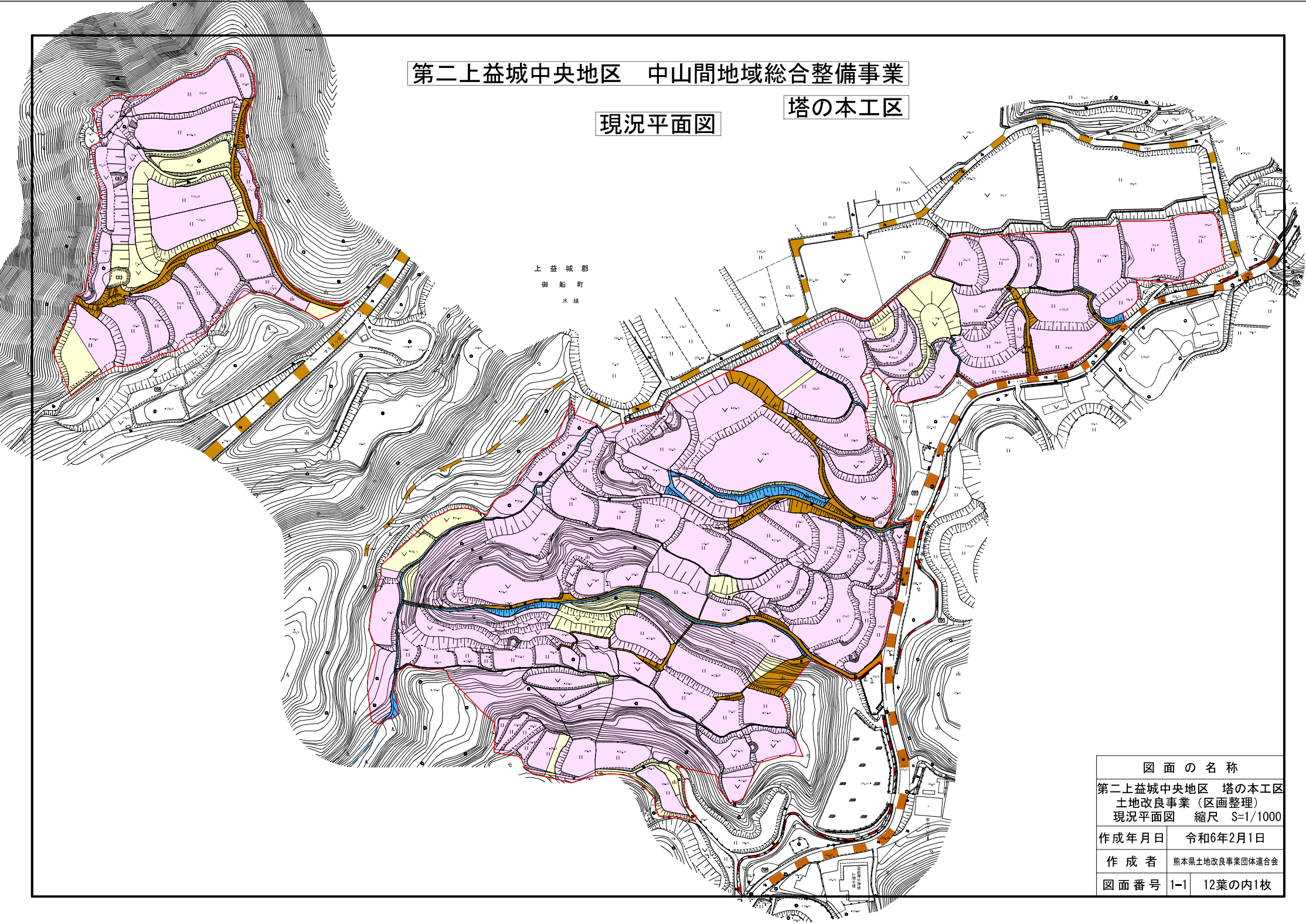
2. 計画平面図

3. 主要構造図

第二上益城中央地区　中山間地域総合整備事業

塔の本工区

現況平面図

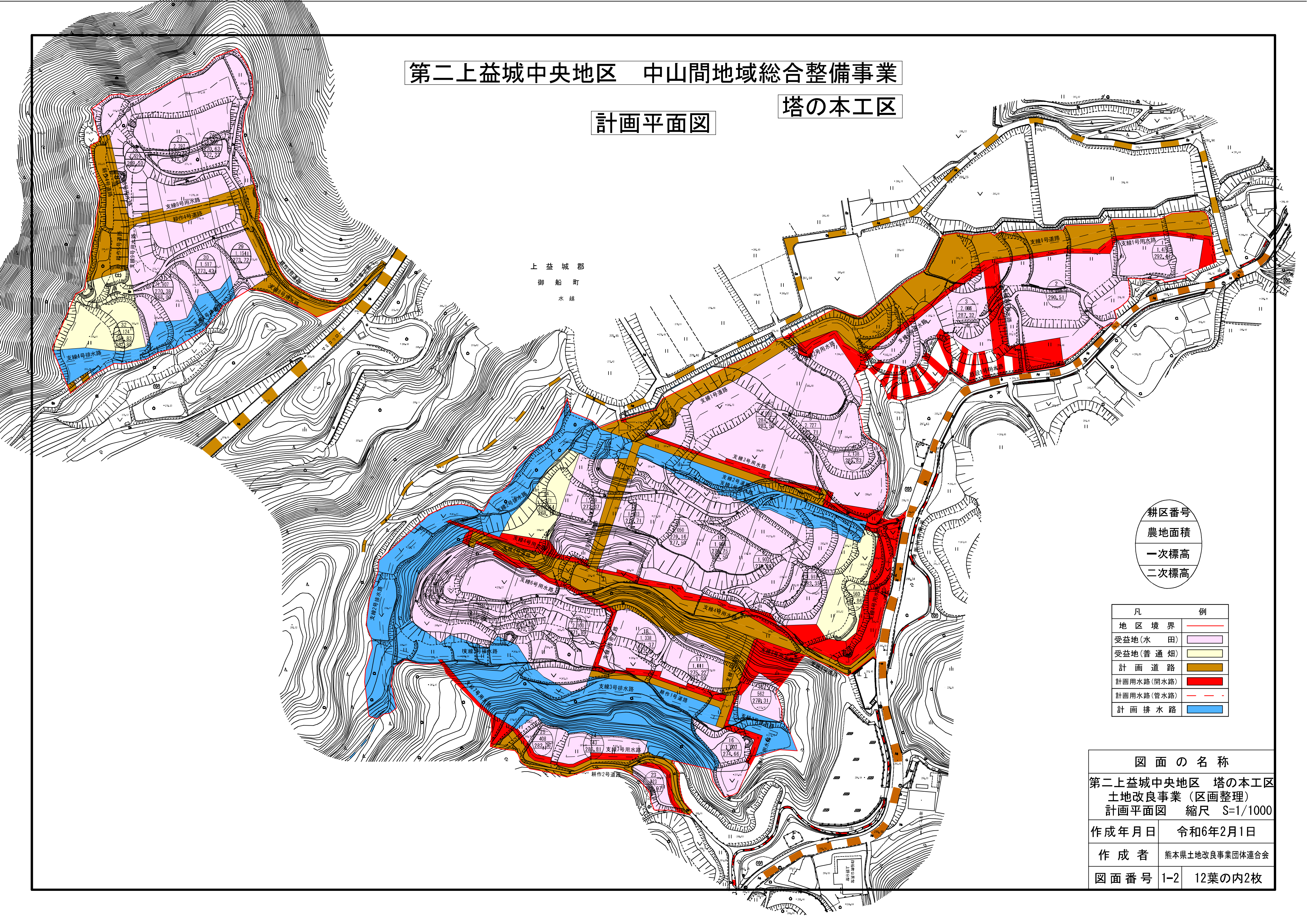


図面の名称		
第二上益城中央地区　塔の本工区 土地改良事業（区画整理） 現況平面図　縮尺　S=1/1000		
作成年月日	令和6年2月1日	
作成者	熊本県土地改良事業団体連合会	
図面番号	1-1	12葉の内1枚

第二上益城中央地区　中山間地域総合整備事業

塔の本工区

計画平面図

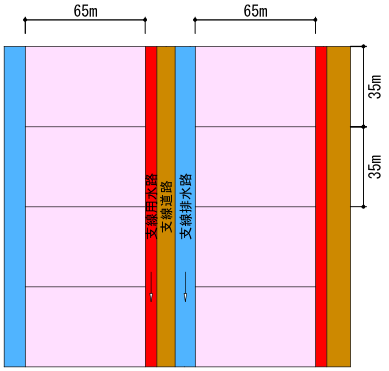


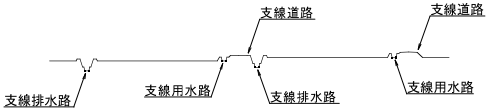
凡	例
地区境界	
受益地(水田)	
受益地(普通畑)	
計画道路	
計画用水路(開水路)	
計画用水路(管水路)	
計画排水路	

図面の名称		
第二上益城中央地区　塔の本工区 土地改良事業（区画整理） 計画平面図　縮尺　S=1/1000		
作成年月日	令和6年2月1日	
作成者	熊本県土地改良事業団体連合会	
図面番号	1-2	12葉の内2枚

第二上益城中央地区 塔の本工区 標準断面図

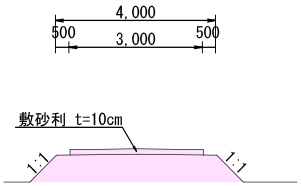
標準区画割図



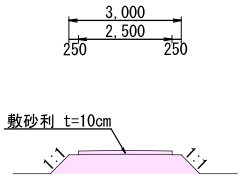


道　路　工

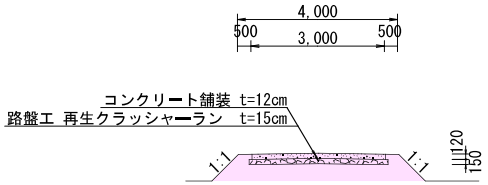
支線道路工



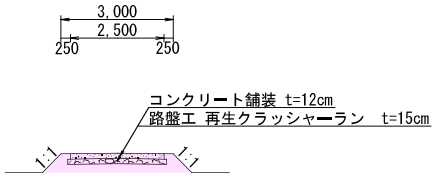
耕作道路工



支線道路工

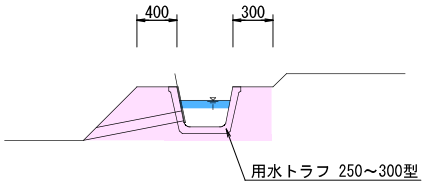


耕作道路工

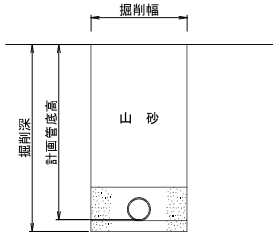


用 水 路 工

開 水 路



管 水 路



管 種	呼 径	管外径 mm
V P	φ 75	89
V P	φ100	114
V P	φ150	165
V P	φ200	216

排 水 路 工

支線排水路

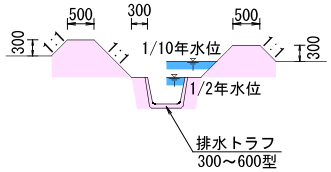


図 面 の 名 称		
第二上益城中央地区　塔の本工区 土地改良事業（区画整理） 計画平面図　縮尺　S=1/1000		
作成年月日	令和6年2月1日	
作 成 者	熊本県土地改良事業団体連合会	
図面番号	1-3	12葉の内3枚

第二上益城中央地区　中山間地域総合整備事業

堤の本工区

現況平面図

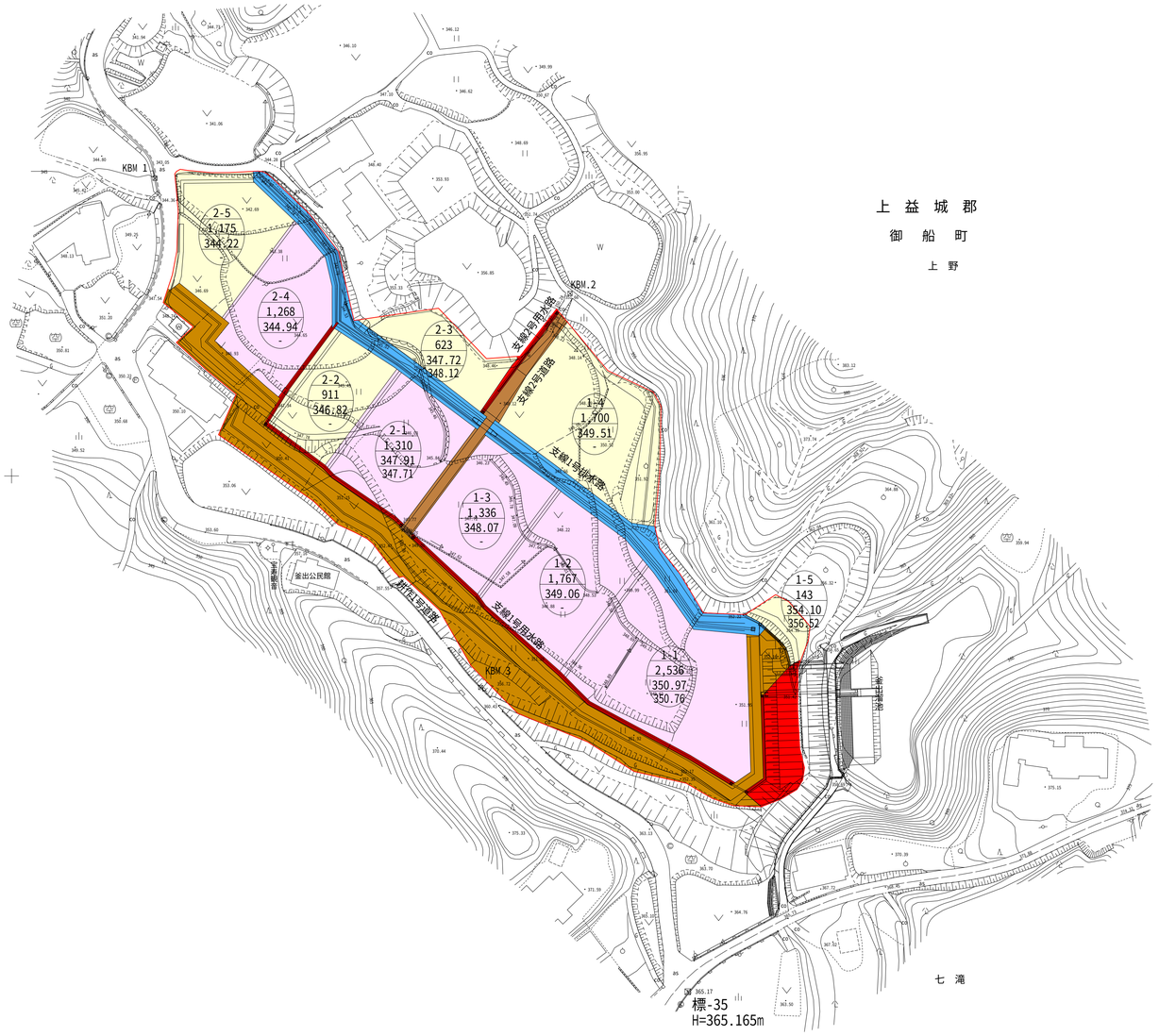


図 面 の 名 称		
第二上益城中央地区　堤の本工区 土地改良事業（区画整理） 現況平面図　縮尺　S=1/1000		
作成年月日	令和6年2月1日	
作 成 者	熊本県土地改良事業団体連合会	
図面番号	2-1	12葉の内4枚

第二上益城中央地区　中山間地域総合整備事業

堤の本工区

計画平面図



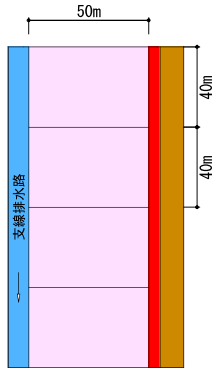
耕区番号
水張面積
(農地面積)
一次標高
二次標高

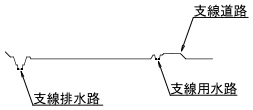
凡	例
地　区　境　界	
受益地(水　　田)	
受益地(普　通　畑)	
計　画　道　路	
計　画　用　水　路	
計　画　排　水　路	

図　面　の　名　称		
第二上益城中央地区　堤の本工区 土地改良事業（区画整理） 計画平面図　　縮尺　S=1/1000		
作成年月日	令和6年2月1日	
作　成　者	熊本県土地改良事業団体連合会	
図面番号	2-2	12葉の内5枚

第二上益城中央地区 堤の本工区 標準断面図

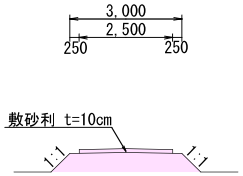
標準区画割図





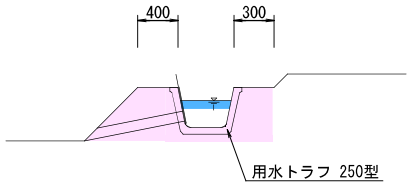
道　路　工

耕作道路工



用 水 路 工

開 水 路



排水路工

支線排水路

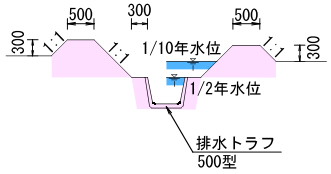
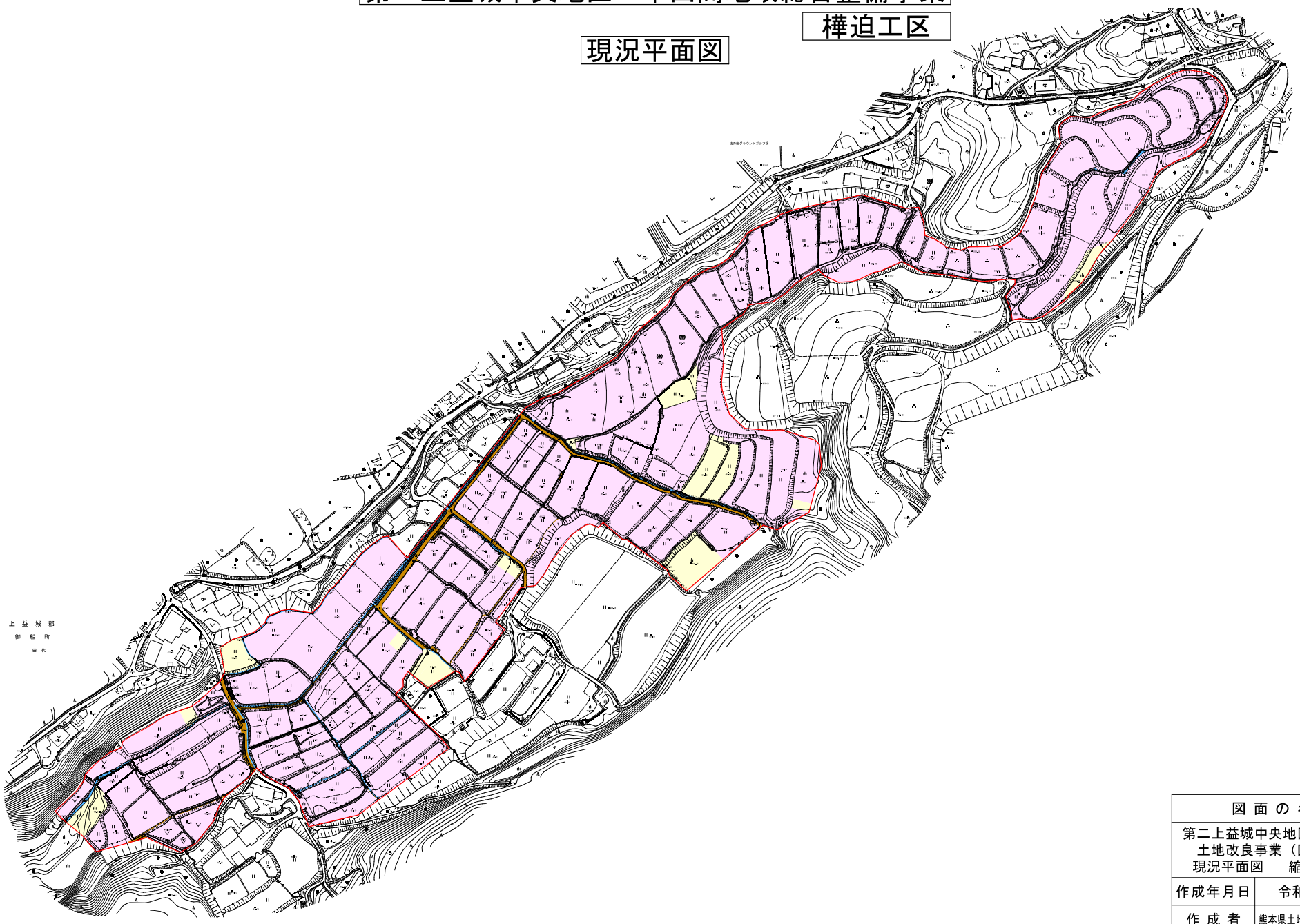


図 面 の 名 称		
第二上益城中央地区　堤の本工区 土地改良事業（区画整理） 計画平面図　　縮尺　S=1/1000		
作成年月日	令和6年2月1日	
作 成 者	熊本県土地改良事業団体連合会	
図面番号	2-3	12葉の内6枚

第二上益城中央地区　中山間地域総合整備事業

樺迫工区

現況平面図

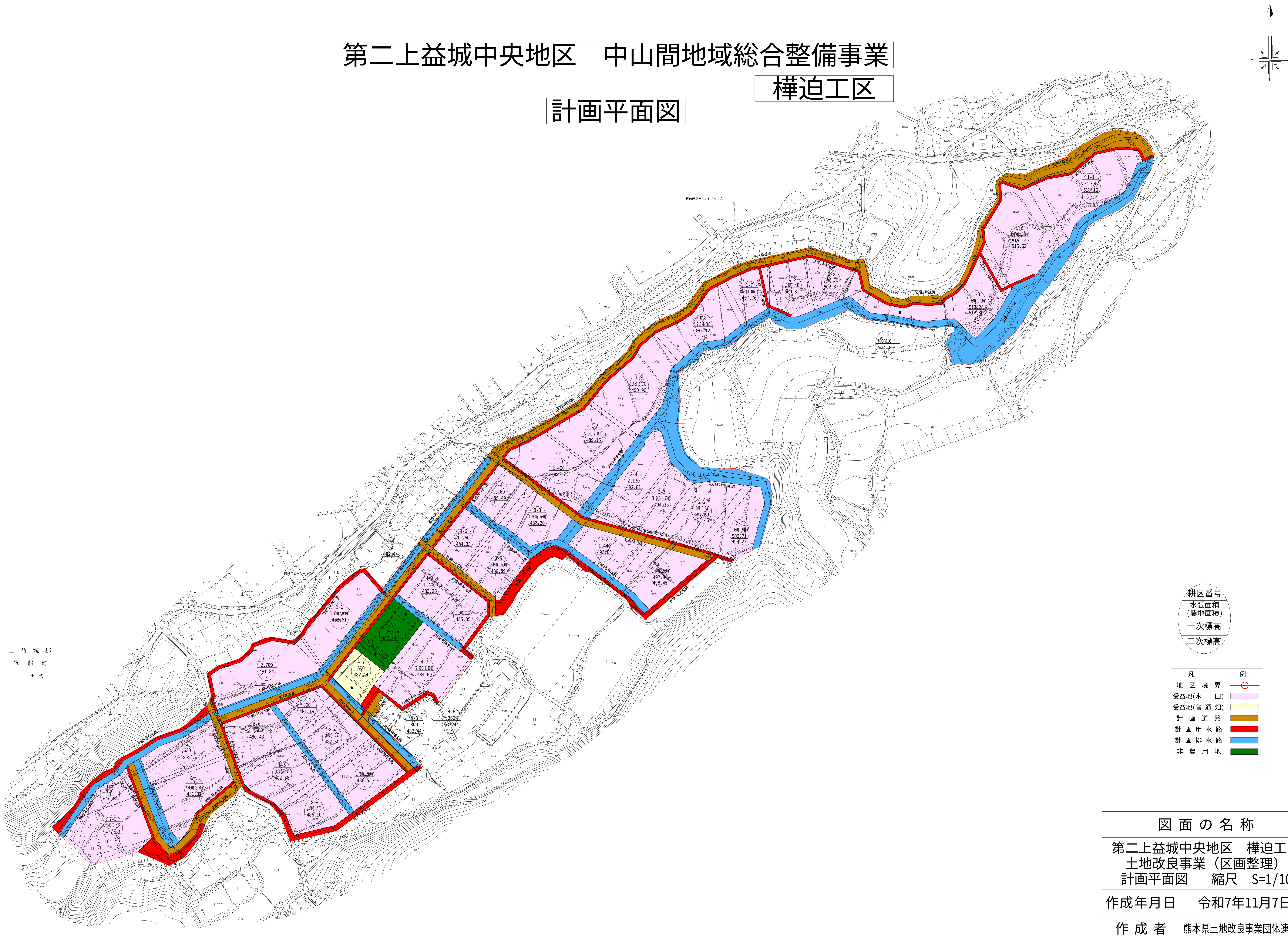


図面の名称		
第二上益城中央地区　樺迫工区 土地改良事業（区画整理） 現況平面図　　縮尺　S=1/1000		
作成年月日	令和6年2月1日	
作成者	熊本県土地改良事業団体連合会	
図面番号	3-1	12葉の内7枚

第二上益城中央地区　中山間地域総合整備事業

樺迫工区

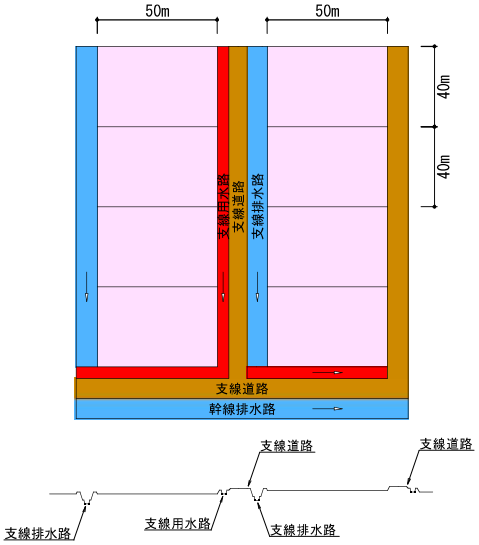
計画平面図



図面の名称	
第二上益城中央地区　樺迫工区 土地改良事業（区画整理） 計画平面図　　縮尺　S=1/1000	
作成年月日	令和7年11月7日
作成者	熊本県土地改良事業団体連合会
図面番号	3-2　　12葉の内8枚

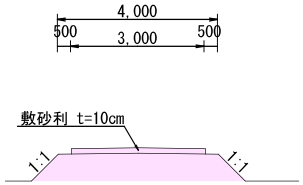
第二上益城中央地区 樺迫工区 標準断面図

標準区画割図

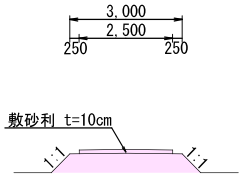


道　路　工

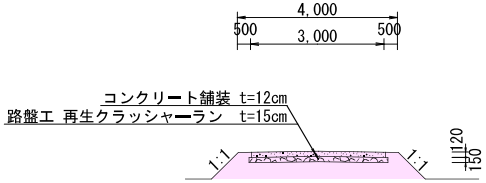
支線道路工



耕作道路工

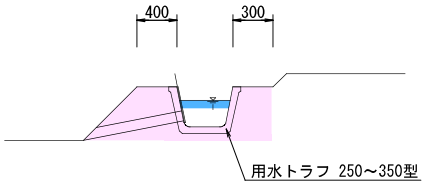


支線道路工



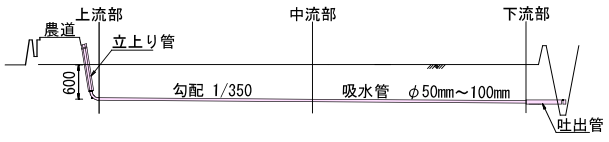
用 水 路 工

開 水 路

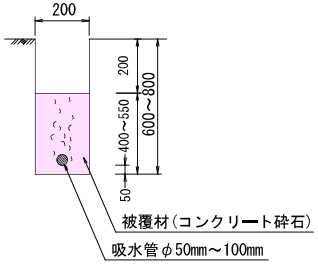


暗 渠 排 水 工

縦 断 図

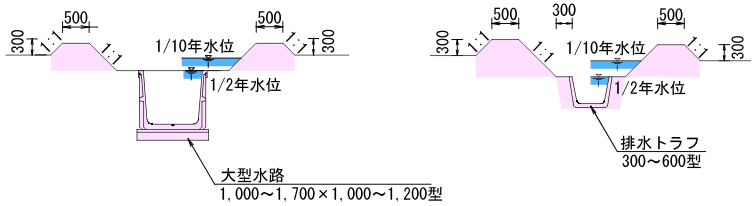


断 面 図



排 水 路 工

支線排水路

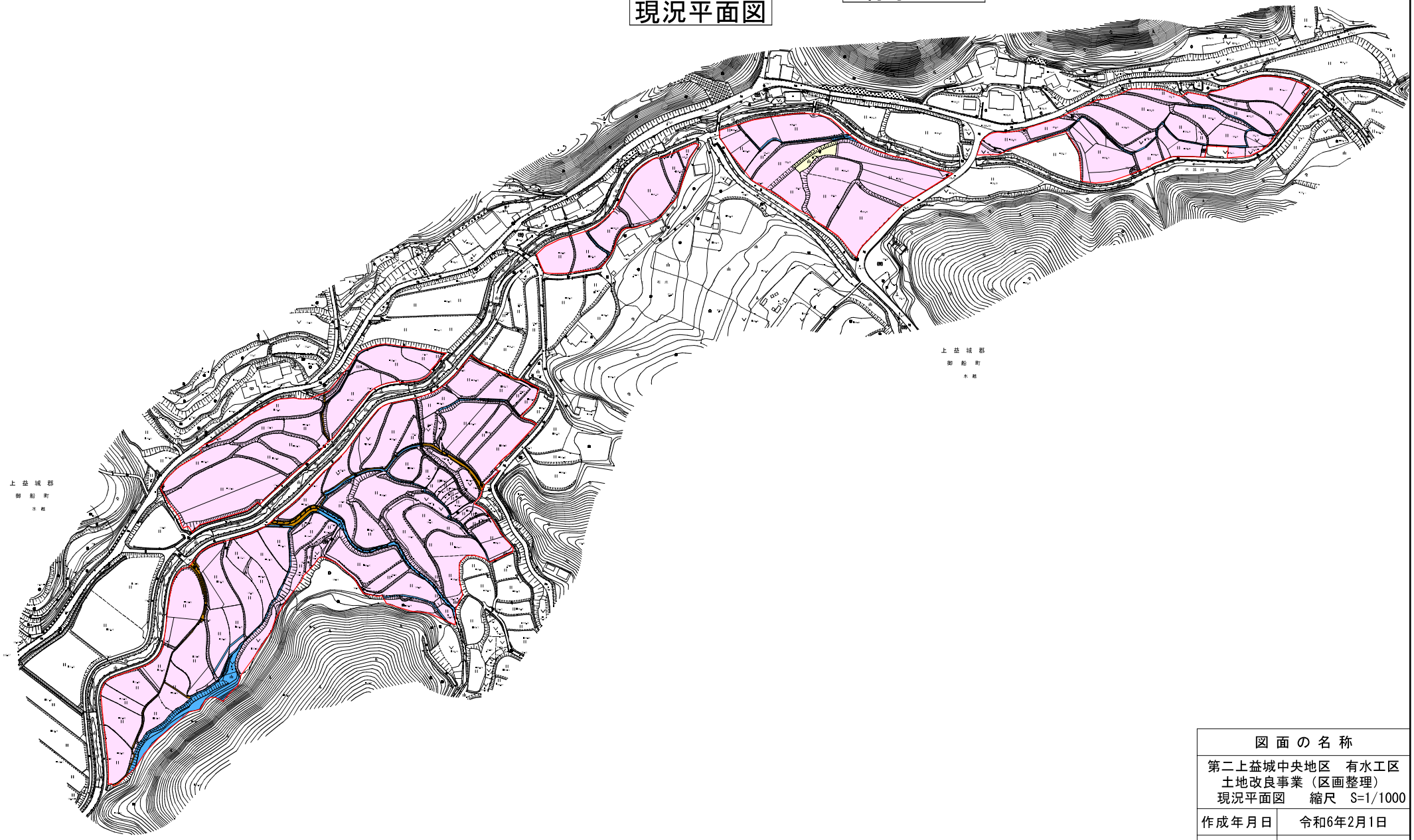


図面の名称	
第二上益城中央地区　樺迫工区 土地改良事業（区画整理） 計画平面図　縮尺　S=1/1000	
作成年月日	令和6年2月1日
作成者	熊本県土地改良事業団体連合会
図面番号	3-3　12葉の内9枚

第二上益城中央地区　中山間地域総合整備事業

有水工区

現況平面図

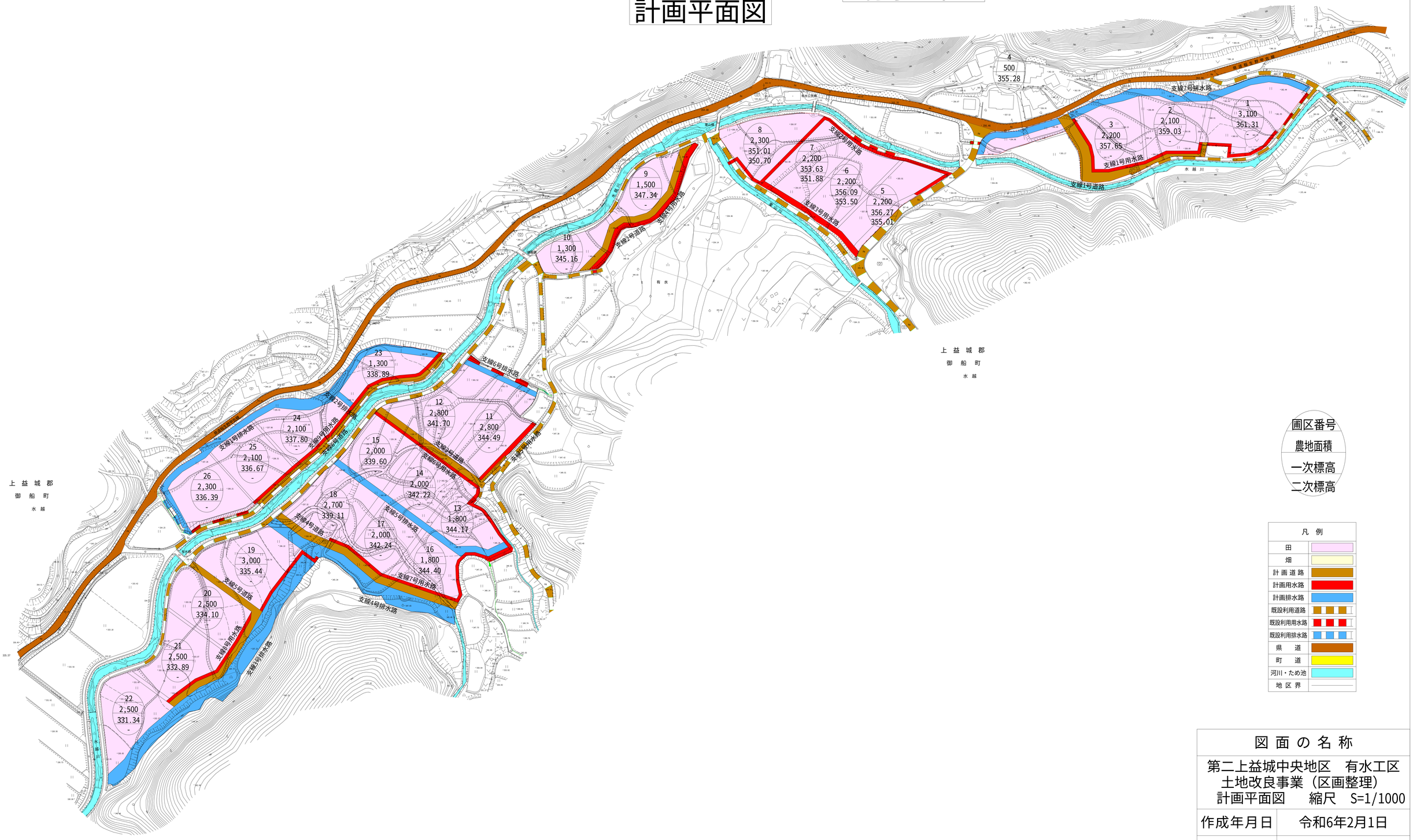


図面の名称		
第二上益城中央地区　有水工区 土地改良事業（区画整理） 現況平面図　　縮尺　S=1/1000		
作成年月日	令和6年2月1日	
作成者	熊本県土地改良事業団体連合会	
図面番号	4-1	12葉の内10枚

第二上益城中央地区　中山間地域総合整備事業

有水工区

計画平面図



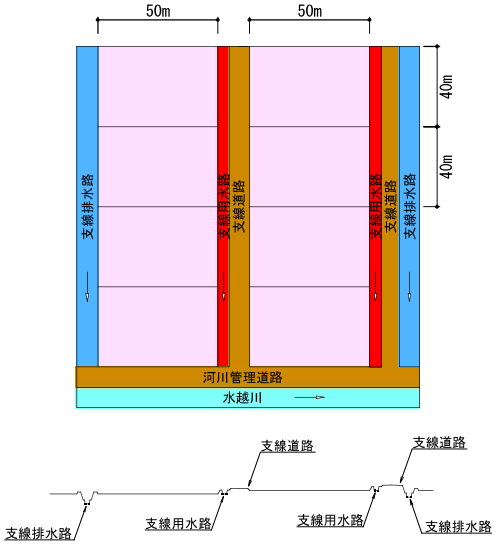
凡例	
田	
畑	
計画道路	
計画用水路	
計画排水路	
既設利用道路	
既設利用用水路	
既設利用排水路	
県道	
町道	
河川・ため池	
地区界	

圃区番号
農地面積
一次標高
二次標高

図面の名称		
第二上益城中央地区　有水工区 土地改良事業（区画整理） 計画平面図　　縮尺　S=1/1000		
作成年月日	令和6年2月1日	
作成者	熊本県土地改良事業団体連合会	
図面番号	4-2	12葉の内11枚

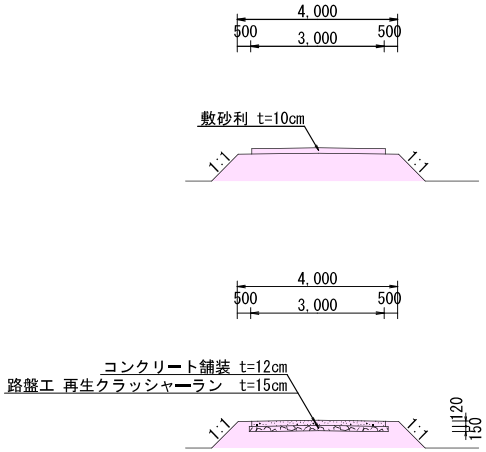
第二上益城中央地区 有水工区 標準断面図

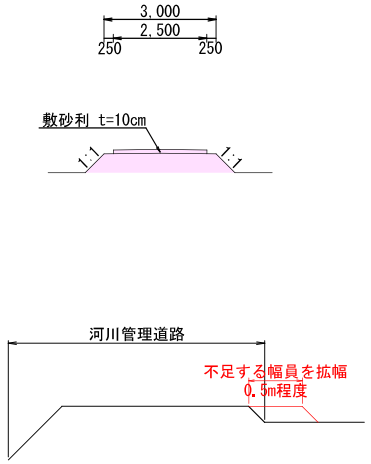
標準区画割図



道　路　工

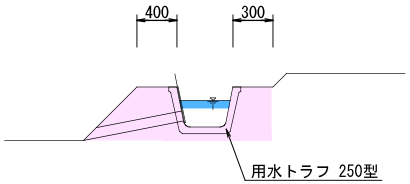
支線道路工





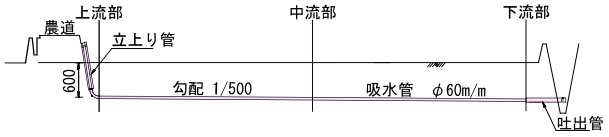
用 水 路 工

開 水 路

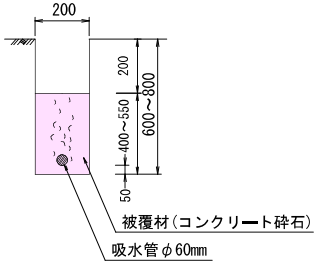


暗 渠 排 水 工

縦 断 図

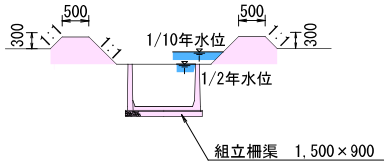


断 面 図



排 水 路 工

幹線排水路



支線排水路

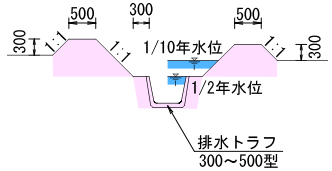


図 面 の 名 称		
第二上益城中央地区　有水工区 土地改良事業（区画整理） 計画平面図　縮尺　S=1/1000		
作成年月日	令和6年2月1日	
作 成 者	熊本県土地改良事業団体連合会	
図面番号	4-3	12葉の内12枚